

末石遺跡 中庄東遺跡

— 加茂第一地区堤防の事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 —

《第1分冊》

2 0 0 8

徳島県教育委員会
財団法人 徳島県埋蔵文化財センター
国土交通省 四国地方整備局

末石遺跡 中庄東遺跡

— 加茂第一地区堤防の事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 —

《第1分冊》

2 0 0 8

徳島県教育委員会
財団法人 徳島県埋蔵文化財センター
国土交通省 四国地方整備局



遺跡遠景（上流側から下流方向を望む）



遺跡遠景（下流側から上流方向を望む）

卷頭図版 2



中庄東遺跡IV-2区東側屋敷地全景（北から）



中庄東遺跡IV-3区出土鋳造関連遺物



中庄東遺跡III-1区 SA2001EP3出土
花卉双蝶八花鏡

序 文

本書は加茂第一地区堤防の事業に伴い平成11年度から平成15年度にかけて調査を実施した、三好郡東みよし町に所在する末石遺跡および中庄東遺跡の調査成果をまとめたものであります。

吉野川の中流域、県西部に位置する東みよし町は、国指定史跡の丹田古墳、県指定史跡の加茂谷川岩陰遺跡群や足代東原遺跡に代表されるように、県下有数の遺跡密集地となっています。末石遺跡および中庄東遺跡が所在する吉野川南岸は旧三加茂町に属する地域で、平野部には古代の土地区画である条里地割が今なお明瞭に看取できることができます。近年、県西部地域は徳島自動車道の建設に伴い、大柿遺跡など数多くの遺跡が発掘調査されたことで、地域史を解明するための考古学的資料は豊富になりました。また本地域は、文書や絵画、仏像、板碑、神社仏閣等の古建築といった史料のほか古地名や伝承が数多く残されており、郷土史料がたいへんに豊かな地域であるといえます。

今回、財団法人徳島県埋蔵文化財センターでは、旧三加茂町の平野北東部を延長約1.8kmにわたって発掘調査を行いました。その結果、8万点を超える遺物が出土し、約9,000基もの遺構を検出しました。これらの遺構・遺物の分析を通して古代の条里・官衙関連施設や、中世前半期の荘園、中世後半期の鉄製品生産に関して非常に重要な成果を得ることができました。

このたび、本書が刊行されることとなりましたが、多くの方々によって本書が活用され、学術研究および埋蔵文化財に対する意識の向上と文化財保護の一助となり、あわせて地元の方々が郷土の歴史に誇りをもっていただきっかけになれば幸いです。

なお、発掘調査および本報告書の作成にあたり、国土交通省及び関係機関並びに地元の皆様にはご援助、ご協力をいただきました。京都橘女子大学の五十川伸矢先生、岡山理科大学の白石純先生をはじめ、多くの方々や研究機関からご指導ご教示を賜りました。ここに深く感謝の意を表します。

平成21年3月

財団法人 徳島県埋蔵文化財センター
理事長 福家清司

例　　言

1. 本書は加茂第一地区堤防の事業に伴い平成11（1999）年度から平成15（2003）年度にかけて調査を実施した、三好郡東みよし町に所在する末石遺跡および中庄東遺跡の調査成果報告書である。
2. 発掘調査及び整理業務は、徳島県教育委員会文化財課より委託を受けた財団法人徳島県埋蔵文化財センターが実施した。
3. 発掘調査及び報告書作成についての実施期間は次の通りである。
 - ・発掘調査期間（末石遺跡） 平成11年4月2日～8月31日（本調査）
 - ・発掘調査期間（中庄東遺跡） 平成11年6月1日～平成11年8月31日（試掘調査）
平成12年4月1日～平成13年3月31日（本調査）
平成13年4月7日～平成13年9月30日（本調査）
平成13年5月28日～平成13年5月29日（試掘調査）
平成14年1月4日～平成14年2月28日（試掘調査）
平成14年4月9日～平成15年3月23日（本調査）
平成15年4月18日～平成16年3月26日（本調査）
 - ・整理業務及び報告書作成期間 平成16年10月1日～平成20年3月31日
4. 遺構の表示は財団法人徳島県埋蔵文化財センターが定める標準記号を用いた。

SA	掘立柱建物	SB	竪穴住居	SD	溝	SG	横列	SH	炉跡	SK	土坑
SP	柱穴・小穴	SR	自然流路	ST	土壤墓	SU	集石遺構	SX	不明遺構		

遺構内遺構は SD・SP の S に替えて E を付けて ED・EP と表記する。
アルファベットに続く4桁の数字は4桁目の数字が遺構面を、以下の3桁が遺構の番号を示す。
5. 方位は国土座標（旧座標）第IV座標系を用いた。現在、世界測地系座標（新座標）が主流であるが、隣接する県道部分の報告書『徳島県埋蔵文化財センター調査報告書第54集 中庄東遺跡 緊急地方道路整備事業一県道出口太刀野線-に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』（平成17年刊行）において旧座標を用いているため、本書においても旧座標を用いる。標高は東京湾標準潮位(T.P)を基準とした。
6. 本書で用いた土壌及び土器の色調は小山正忠・竹原秀雄編『新版標準土色帖』1997年度版に掲った。釉の色調は細野尚志編『標準色彩図表 A』に掲った。色調は、日中の十分な照度もしくは昼白色ライトの下で目視による観察によって決定した。
7. 地区・調査区名・遺構番号はすべて振り替えた。したがって調査時における仮調査区名や仮遺構番号とは一致しない。遺構番号は地区ごとに1から始まる通し番号とした。挿図・図版番号・遺物番号

は遺跡ごとの通し番号とした。

8. 本報告書の土器実測図で断面白抜きは弥生土器・土師器・黒色土器・土師質土器、網掛けは瓦器・瓦質土器、黒塗りは須恵器・須恵質土器・陶器を表す。
9. 遺物実測図の縮尺は溶解炉壺・石臼1／4、土器・土製品・瓦1／3、金属製品（銭貨除く）・小型土製品2／3、銭貨1／1を原則としたが、若干の例外がある。遺構実測図は、遺構半・断面図1／40、遺物出土状況図は1／20、掘立柱建物は1／80を原則として掲載したが、若干の例外がある。遺物図・遺構図ともすべての実測図にスケールを添付した。
10. 断面図において、●は土器、○は縦羽口、△は石、■はその他（銭貨・鉄製品等）を表す。
11. 掘立柱建物の計測に関しては、次のように行った。
 - ①建物規模は東西の間数・長さ、南北の間数・長さ、面積、主軸方向の順で記載する。
 - ②東西・南北それぞれで間数が異なる場合、数が多い方を記す。
 - ③四隅のいずれかの柱穴を欠く場合でも、想定線を延ばして建物の復元を行った。ただし、想定線のみによって復元した隅部は柱穴数に加えない。よって間数は現存部を記載する。
 - ④東西・南北それぞれの長さは、両端に位置する柱穴の中心間の平均値を記す。
 - ⑤面積は東西・南北の長さを乗じて算出した。
 - ⑥庇付き建物は庇部分を除いた計測値を記し、次いで庇を含めた計測値を〈 〉内に記入する。
 - ⑦主軸方向は長軸方向を主軸とする。短軸両辺をそれぞれ二等分した点を結んで中心線とし、真北からの角度を計測した。
12. 出土遺物に関して土師器・土師質土器は、古代の製品を土師器、中世以降のものを土師質土器とし、可能な限り分類を行った。同様に須恵器は古代の製品を指し、中世のものは須恵質土器と表記した。
13. 本書における遺物の分類や編年、および年代の決定は下記の文献に拠った。

弥生土器：菅原康夫他 2000「阿波地域」『弥生土器の様式と編年 四国編』木耳社

古代の土器：古代の土器研究会編 1998『古代の土器5－2 7世紀の土器（近畿西部編）』

　　古代の土器研究会編 1992『古代の土器1 都域の土器集成』

縄釉陶器（高橋編年）：高橋照彦 2003『平安京近郊の縄釉陶器生産』『古代の土器研究 平安時代の縄釉陶器一生産地の様相を中心に』古代の土器研究会第7回シンポジウム資料

楠井産土師質土器：香川県教育委員会他 1995『国分寺楠井遺跡』

吉備系土師質土器：山本悦世「吉備系土師器梶の成立と展開」『鹿田遺跡3』岡山大学埋蔵文化財調査研究センター

中世煮炊具：吉成承三 2007「四国の土製壺・羽釜・鍋—古代末から中世の土製煮炊具の様相—」『中世土器の基礎研究 土製煮炊具の様相』日本中世土器研究会

島田豊彰 2008「徳島県における中世羽釜の様相」『青藍』第5号 考古フォーラム蔵

本

火鉢・風炉：坪之内徹 1990「中世南都の瓦器・瓦質土器」「中近世土器の基礎研究VI」日本中世土器研究会

亀山焼壺〈草戸編年〉：篠原芳秀 1987「草戸千軒町遺跡の亀山焼壺」「中近世土器の基礎研究III」

和泉型瓦器椀：森島康雄 1995「6. 瓦器椀」『概説 中世の土器・陶磁器』中世土器研究会

畿内産瓦質煮炊具〈奥井分類〉：奥井智子 2007「畿内における土製煮炊具の様相」「中近世土器の基礎研究21 土製煮炊具の諸様相」日本中世土器研究会

十瓶山産須恵質土器〈佐藤編年〉：佐藤竜馬 1993「香川県十瓶山窯跡群における須恵器編年」「関西大学考古学研究室開設四十周年記念 考古学論叢」

西村産（系）須恵器椀〈佐藤編年〉：佐藤竜馬 2000「西村系土器椀の系譜」「研究紀要Ⅲ」財団法人香川県埋蔵文化財調査センター

東播系須恵質土器〈森山編年〉：森山稔 1995「8. 中世須恵器」「概説中世の土器・陶磁器」中世土器研究会

備前焼〈重根編年〉：重根弘和 2003「中世備前焼に関する考察」「山口大学考古学論集」

備前焼水屋妻〈北野編年〉：北野隆亮 2006「備前焼水屋妻の分類と変遷」「吉岡康輔先生占稀記念論集 陶磁器の社会史」桂書房

常滑焼〈中野編年〉：中野晴久 1995「9. 中世陶器（常滑・渥美）」「概説中世の土器・陶磁器」中世土器研究会

古瀬戸陶器：財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター編 1997「財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター研究紀要」第5輯

愛知県教育委員会編 1985『愛知県古窯跡群分布調査報告（IV）瀬戸・藤岡（瀬戸古窯跡群）』

青磁・白磁〈大宰府分類〉：森山勉・横田賢次郎 1978「大宰府出土の輸入陶磁器について—型式分類と編年を中心として—」「九州歴史資料館研究論集」4

青磁〈上田分類〉：上田秀夫 1982「14～16世紀の青磁碗の分類について」「貿易陶磁研究No.2」

白磁〈森山分類〉：森山勉 1982「14～16世紀の白磁の分類と編年」「貿易陶磁研究No.2」

染付〈小野分類〉：小野正敏 1982「14～16世紀の染付碗、皿の分類と年代」「貿易陶磁研究No.2」

岡本系焙烙：佐藤竜馬 2001「瀬戸内沿岸地域からみた讚岐の焙烙」「四国と周辺の土器—焙烙の生産と流通—」第3回四国城下町研究会発表要旨・資料集

肥前系陶磁器：九州近世陶磁学会 2000「九州陶磁の編年—九州近世陶磁学会10周年記念—」

滑石製石鍋〈木戸編年〉：木戸雅寿 1995「13. 石鍋」「概説中世の土器・陶磁器」中世土器研究会

14. 以下の遺物は下記の方よりご教示を得た。()内の数字は本書の掲載番号である。

花卉双蝶八花鏡（580）・蕨手状銅製品（963）は京都国立博物館の久保智康氏

鋳造関連遺物は京都橘女子大学の五十川伸矢氏

角礫凝灰岩製品は大川広域行政組合の松田朝由氏

15. 出土遺物の自然科学分析は次の方々にお願いし、報告をいただいた。

土器・土製品胎土分析は岡山理科大学の白石純氏

鍛冶・鋳造関連遺物の成分分析に関しては和銅博物館の三余木義博氏

銅鏡成分分析に関してはパリノ・サーヴェイ株式会社

16. 本書の執筆は第Ⅱ章1を辻伸伸、自然科学分析を上記の分析担当者、その他を島田豊彰が担当し、全体の編集は島田が行った。遺物写真は服部靖が、遺構写真はそれぞれの調査担当者が撮影した。

17. 調査にあたっては下記の機関の指導・援助を得た。

国土交通省四国地方整備局 徳島県教育委員会 三加茂町教育委員会（当時）三加茂町立歴史民俗資料館（当時）

18. 発掘調査・整理期間を通して次の方々にご協力・ご教示を得た。記して感謝いたします。

（五十音順・敬称略）

池澤 俊幸	五十川伸矢	井口 喜晴	大脇 潔	岡本 和彦	小野 正敏
片桐 孝浩	日下 正剛	久保 智康	重見 高博	柴山 圭子	下川 清
須藤 茂樹	首藤 久士	高島 芳弘	辻本 裕也	中野 良一	橋本 久和
長谷川賢二	前田 安夫	前田 洋子	松田 朝山	松村さとる	村川 義行
森島 康雄	吉成 承三				

本文目次

【第1分冊】

第Ⅰ章 遺跡の立地と環境

1. 地理的環境	1
2. 歴史的環境	1

第Ⅱ章 調査の経緯

1. 調査に至る経緯	6
2. 発掘調査および整理業務態勢	7
3. 調査の経過	8
4. 調査日誌抄	12

第Ⅲ章 末石遺跡の調査成果

1. 基本層序	17
2. 遺構と遺物	17
〈第1遺構面〉	
1区	
掘立柱建物（SA）	21
構列（SG）	25
竪穴住居（SB）	25
土坑（SK）	41
土壙墓（ST）	45
溝（SD）	45
不明遺構（SX）	47
小穴（SP）	47
2区	
土壙墓（ST）	48
自然流路（SR）	51
〈第1包含層出土遺物〉	51

第Ⅳ章 中庄東遺跡の調査成果

1. 基本層序	56
2. 遺構と遺物	57
〈I地区 第1遺構面〉	
I-1区	

掘立柱建物 (SA)	57
土坑 (SK)	61
焼土坑 (SH)	61
不明遺構 (SX)	65
小穴 (SP)	66
I - 2・3区	
土坑 (SK)	68
I - 4・5・6区	
掘立柱建物 (SA)	70
柵列 (SG)	79
土坑 (SK)	79
土壤墓 (ST)	95
溝 (SD)	107
不明遺構 (SX)	109
小穴 (SP)	109
< I 地区 第1包含層出土遺物>	111
< II 地区 第2遺構面>	
II - 2・4・5・7区	
掘立柱建物 (SA)	114
豎穴住居 (SB)	117
土坑 (SK)	118
焼土坑 (SH)	127
土壤墓 (ST)	129
集石遺構 (SU)	133
溝 (SD)	134
不明遺構 (SX)	134
小穴 (SP)	135
< II 地区 第2包含層出土遺物>	136
< II 地区 第1遺構面>	
II - 1・2・3区	
掘立柱建物 (SA)	136
柵列 (SG)	150
土坑 (SK)	152
焼土坑 (SH)	161
土壤墓 (ST)	165
溝 (SD)	169
不明遺構 (SX)	169
小穴 (SP)	175

II - 4 · 5 区	
掘立柱建物 (SA)	182
土坑 (SK)	184
溝 (SD)	199
不明遺構 (SX)	203
小穴 (SP)	203
II - 6 · 7 区	
掘立柱建物 (SA)	204
柵列 (SG)	205
土坑 (SK)	205
溝 (SD)	208
〈 II 地区 第 1 包含層出土遺物 〉	241
〈 III 地区 第 2 遺構面 〉	
III - 1 · 2 区	
掘立柱建物 (SA)	243
柵列 (SG)	248
土坑 (SK)	248
土壤墓 (ST)	248
溝 (SD)	253
不明遺構 (SX)	258
小穴 (SP)	258
III - 3 · 4 区	
掘立柱建物 (SA)	258
柵列 (SG)	265
土坑 (SK)	265
土壤墓 (ST)	280
溝 (SD)	292
小穴 (SP)	294
〈 III 地区 第 2 包含層出土遺物 〉	297
〈 III 地区 第 1 遺構面 〉	
III - 1 · 2 区	
掘立柱建物 (SA)	305
柵列 (SG)	307
土坑 (SK)	307
焼土坑 (SH)	315
溝 (SD)	315
小穴 (SP)	318
III - 3 · 4 区	

掘立柱建物 (SA)	319
上坑 (SK)	333
焼土坑 (SH)	355
溝 (SD)	355
不明遺構 (SX)	366
小穴 (SP)	375
自然流路 (SR)	381
〈Ⅲ地区 第1包含層出土遺物〉	381

【第2分冊】

〈IV地区 第1遺構面〉

IV-1・2区

掘立柱建物 (SA)	3
柵列 (SG)	15
土坑 (SK)	15
焼土坑 (SH)	44
土壤墓 (ST)	44
集石遺構 (SU)	48
溝 (SD)	61
小穴 (SP)	71

IV-3区

掘立柱建物 (SA)	76
柵列 (SG)	86
土坑 (SK)	89
土壤墓 (ST)	121
集石遺構 (SU)	122
溝 (SD)	136
不明遺構 (SX)	138
小穴 (SP)	140

IV-4区

掘立柱建物 (SA)	148
土坑 (SK)	150
土壤墓 (ST)	154
不明遺構 (SX)	161
小穴 (SP)	162

〈IV地区 第1包含層出土遺物〉

〈V地区 第2遺構面〉

V-1・2区	
掘立柱建物 (SA)	172
棚列 (SG)	177
土坑 (SK)	180
土壤墓 (ST)	182
集石遺構 (SU)	190
溝 (SD)	192
小穴 (SP)	194
V-3・4区	
掘立柱建物 (SA)	197
土坑 (SK)	199
土壤墓 (ST)	203
溝 (SD)	203
小穴 (SP)	203
自然流路 (SR)	205
〈V地区 第2包含層出土遺物〉	208
〈V地区 第1遺構面〉	
V-1・2区	
掘立柱建物 (SA)	208
土坑 (SK)	210
集石遺構 (SU)	273
溝 (SD)	273
不明遺構 (SX)	284
小穴 (SP)	287
V-3・4区	
掘立柱建物 (SA)	294
土坑 (SK)	296
集石遺構 (SU)	304
溝 (SD)	306
小穴 (SP)	309
V-5区	
掘立柱建物 (SA)	313
土坑 (SK)	313
溝 (SD)	313
不明遺構 (SX)	315
小穴 (SP)	316
〈V地区 第1包含層出土遺物〉	316

第V章	自然科学分析
中庄東遺跡出土遺物の胎土分析	321
中庄東遺跡出土銅鏡の自然科学分析	336
中庄東遺跡出土鉄製品生産関連遺物の分析調査	341
第VI章	まとめ
1. 弥生時代～飛鳥時代の様相	365
2. 奈良・平安時代の様相	367
3. 中世前半期の様相	368
4. 中世後半期の様相	371
5. 近世の様相	376
報告書抄録	471

挿 図 目 次

【第1分冊】

第1図	木石遺跡・中庄東遺跡と周辺の遺跡	2
第2図	調査区・グリッド配置図	9
第3図	調査区土層堆積状況図(1)	18
第4図	調査区土層堆積状況図(2)	19
第5図	I地区第1遺構面遺構配置図	20
第6図	SA1001遺構実測図	21
第7図	SG1001遺構実測図	21
第8図	SB1001遺構実測図	22
第9図	SB1001EH1遺構実測図	23
第10図	SB1001EH1下部構造実測図	23
第11図	SB1001遺物実測図	24
第12図	SB1002遺構実測図	24
第13図	SB1003遺構・遺物出土実測図	26
第14図	SB1003EH1遺構実測図	27
第15図	SB1003遺物実測図	28
第16図	SB1004遺構実測図	30
第17図	SB1004EH1遺構断面図	31
第18図	SB1001EH1遺構実測図(1)	31
第19図	SB1004EH1遺構実測図(2)	32
第20図	SB1001EH1下部構造実測図	32
第21図	SB1004EH1遺物実測図(1)	33
第22図	SB1004EH1遺物実測図(2)	34
第23図	SB1004遺構実測図	35
第24図	SB1005遺構実測図	37
第25図	SB1005EK-EP遺構断面図	38
第26図	SB1005遺物実測図(1)	38
第27図	SB1005遺物実測図(2)	39
第28図	SB1005遺物実測図(3)	40
第29図	SK1001遺構・遺物実測図	42
第30図	SK1003遺構・遺物実測図	43
第31図	SK1005遺構・遺物実測図	43
第32図	SK1014遺構・遺物実測図	44
第33図	SK1025遺構・遺物実測図	44
第34図	SK1047遺構・遺物実測図	44
第35図	ST1004遺構・遺物実測図	45
第36図	SD1001遺構・遺物実測図	46
第37図	SD1003遺構・遺物実測図	46
第38図	SX1001遺構・遺物実測図	47
第39図	SP1035遺構・遺物実測図	48
第40図	SP1056遺構・遺物実測図	48
第41図	SP1077遺構・遺物実測図	48
第42図	SP1149遺構・遺物実測図	49
第43図	SP1162遺構・遺物実測図	49
第44図	SP1199遺構・遺物実測図	50
第45図	2区第1遺構面遺構配置図	51
第46図	ST1013遺構・遺物実測図	52
第47図	ST1021遺構・遺物実測図	53
第48図	ST1030遺構・遺物実測図	53
第49図	SR1001遺構・遺物実測図	55
第50図	第1包含層遺物実測図	55
第51図	I-1区第1遺構面遺構配置図	57
第52図	I地区 SA1001遺構実測図	58
第53図	I地区 SA1001EP1遺構・遺物実測図	58
第54図	I地区 SA1002遺構実測図	59
第55図	I地区 SA1002EP1遺物実測図	59
第56図	I地区 SA1002EP4遺物実測図	59
第57図	I地区 SK1001遺構・遺物実測図	60
第58図	I地区 SK1007遺構・遺物実測図	60
第59図	I地区 SK1018遺構・遺物実測図	61
第60図	I地区 SH1001遺構・遺物実測図	62
第61図	I地区 SX1001遺構実測図	63
第62図	I地区 SX1001遺物実測図(1)	64
第63図	I地区 SX1001遺物実測図(2)	65
第64図	I地区 SX1002遺構・遺物実測図	66
第65図	I地区 SP1001遺構実測図	68
第66図	I地区 SP1034遺物実測図	68
第67図	I地区 SP1070遺物実測図	68
第68図	I地区 SP1071遺物実測図	68
第69図	I-2・3区第1遺構面遺構配置図	69
第70図	I地区 SK1053遺構・遺物実測図	69
第71図	I-4・5・6区第1遺構面構造配置図	70
第72図	I地区 SA1003遺構実測図	71
第73図	I地区 SA1004遺構実測図	71
第74図	I地区 SA1005遺構実測図	72
第75図	I地区 SA1006遺構実測図	73
第76図	I地区 SA1006EP6遺物実測図	73
第77図	I地区 SA1007遺構実測図	74
第78図	I地区 SA1007EP2遺構・遺物実測図	74
第79図	I地区 SA1008遺構実測図	75
第80図	I地区 SA1008EP2遺構・遺物実測図	75
第81図	I地区 SA1009遺構実測図	76
第82図	I地区 SA1010遺構実測図	76
第83図	I地区 SA1010EP1遺物実測図	77
第84図	I地区 SA1011遺構実測図	77
第85図	I地区 SA1012遺構実測図	78
第86図	I地区 SA1013遺構実測図	79
第87図	I地区 SA1014遺構実測図	80
第88図	I地区 SA1015遺構実測図	80
第89図	I地区 SA1016遺構実測図	81
第90図	I地区 SA1016EP2遺物実測図	81
第91図	I地区 SG1001遺構実測図	82
第92図	I地区 SK1082遺構・遺物実測図	83
第93図	I地区 SK1086遺構・遺物実測図	83
第94図	I地区 SK1091遺構・遺物実測図	84
第95図	I地区 SK1092遺構・遺物実測図	84
第96図	I地区 SK1127遺構・遺物実測図	85
第97図	I地区 SK1130遺構・遺物実測図	85
第98図	I地区 SK1132遺構・遺物実測図	85
第99図	I地区 SK1136遺構・遺物実測図	87
第100図	I地区 SK1142遺構実測図	87
第101図	I地区 SK1142遺物実測図	88
第102図	I地区 SK1169遺構・遺物実測図	89
第103図	I地区 SK1185遺構・遺物実測図	89

第104回	I 地区 SK1206遺構・遺物実測図	90	第160回	II 地区 SK2103遺構・遺物実測図	130
第105回	I 地区 SK1207遺構・遺物実測図	91	第161回	II 地区 SH2002遺構・遺物実測図	130
第106回	I 地区 SK1210遺構・遺物実測図	92	第162回	II 地区 ST2080遺構・遺物実測図	131
第107回	I 地区 SK1217遺構実測図（1）	93	第163回	II 地区 ST2100遺構・遺物実測図	132
第108回	I 地区 SK1217遺構実測図（2）	94	第164回	II 地区 ST2101遺構・遺物実測図	132
第109回	I 地区 SKL217遺構実測図	94	第165回	II 地区 SU2001遺構・遺物実測図	133
第110回	I 地区 SK1232遺構・遺物実測図	96	第166回	II 地区 SD2018遺構・遺物実測図	133
第111回	I 地区 SK1242遺構・遺物実測図	96	第167回	II 地区 SD2019遺構断面図	133
第112回	I 地区 SK1247遺構・遺物実測図	97	第168回	II 地区 SX2001遺構・遺物実測図	134
第113回	I 地区 SKL274遺構・遺物実測図	97	第169回	II 地区 SP2046遺構・遺物実測図	135
第114回	I 地区 ST1030遺構・遺物実測図	98	第170回	II 地区 SP2197遺構・遺物実測図	135
第115回	I 地区 ST1038遺構・遺物実測図	99	第171回	II 地区 第2 包含層遺物実測図	136
第116回	I 地区 ST1046遺構・遺物実測図	99	第172回	II - 1 - 2 - 3 [第1 遺構面構造配置図]	137
第117回	I 地区 ST1048遺構・遺物実測図	100	第173回	II 地区 SA1001遺構実測図	138
第118回	I 地区 ST1050遺構・遺物実測図	100	第174回	II 地区 SA1001EP2遺物実測図	138
第119回	I 地区 ST1053遺構・遺物実測図	101	第175回	II 地区 SA1001EP5遺物実測図	138
第120回	I 地区 ST1060遺構・遺物実測図	101	第176回	II 地区 SA1002遺構実測図	139
第121回	I 地区 ST1066遺構・遺物実測図	103	第177回	II 地区 SA1003遺構実測図	139
第122回	I 地区 ST1077遺構・遺物実測図	103	第178回	II 地区 SA1005遺構実測図	140
第123回	I 地区 ST1080遺構・遺物実測図	104	第179回	II 地区 SA1005遺構実測図	141
第124回	I 地区 ST1085遺構・遺物実測図	105	第180回	II 地区 SA1006遺構実測図	142
第125回	I 地区 ST1087遺構・遺物実測図	105	第181回	II 地区 SA1007遺構実測図	143
第126回	I 地区 ST1088遺構・遺物実測図	106	第182回	II 地区 SA1007EP7遺物実測図	143
第127回	I 地区 ST1011遺構・遺物実測図	106	第183回	II 地区 SA1008遺構実測図	144
第128回	I 地区 SD1012・SD1013遺構断面図	107	第184回	II 地区 SA1008EP6遺構・遺物実測図	144
第129回	I 地区 SD1012遺物実測図	107	第185回	II 地区 SA1009遺構実測図	145
第130回	I 地区 SD1013遺構・遺物実測図	108	第186回	II 地区 SA1009EP5遺物実測図	145
第131回	I 地区 SD1018・1023・1033・1037遺構断面図	108	第187回	II 地区 SA1010遺構実測図	146
第132回	I 地区 SX1004遺構・遺物実測図	110	第188回	II 地区 SA1011遺構実測図	147
第133回	I 地区 SP1281遺物実測図	111	第189回	II 地区 SA1012遺構実測図	148
第134回	I 地区 SP1480遺物実測図	111	第190回	II 地区 SA1013遺構実測図	149
第135回	I 地区 SP1544遺物実測図	111	第191回	II 地区 SA1013EP5遺構・遺物実測図	149
第136回	I 地区 SP1615遺物実測図	111	第192回	II 地区 SA1014遺構実測図	150
第137回	I 地区 SP1728遺物実測図	111	第193回	II 地区 SA1015遺構実測図	151
第138回	I 地区 SP1757遺物実測図	111	第194回	II 地区 SA1015EP5遺構・遺物実測図	151
第139回	I 地区 第1包含層遺物実測図	112	第195回	II 地区 SA1016遺構実測図	152
第140回	II - 4 - 5 - 7区2 遺構面構造配置図	113	第196回	II 地区 SG1001遺構実測図	153
第141回	II 地区 SA2001遺構実測図	114	第197回	II 地区 SG1002遺構実測図	153
第142回	II 地区 SA2002遺構実測図	115	第198回	II 地区 SG1003遺構実測図	153
第143回	II 地区 SA2003遺構実測図	116	第199回	II 地区 SK1007遺構・遺物実測図	154
第144回	II 地区 SA2004遺構実測図	117	第200回	II 地区 SK1015遺構・遺物実測図	154
第145回	II 地区 SA2005遺構実測図	118	第201回	II 地区 SK1018遺構・遺物実測図	156
第146回	II 地区 SA2006遺構実測図	119	第202回	II 地区 SK1028遺構・遺物実測図	156
第147回	II 地区 SB2001遺構実測図	120	第203回	II 地区 SK1030遺構・遺物実測図	156
第148回	II 地区 SB2001EH1 下部構造実測図	121	第204回	II 地区 SK1046遺構・遺物実測図	157
第149回	II 地区 SB2001EP遺構断面図	122	第205回	II 地区 SK1047遺構・遺物実測図	158
第150回	II 地区 SB2001遺物実測図	122	第206回	II 地区 SK1089遺構・遺物実測図	159
第151回	II 地区 SK2002遺構・遺物実測図	122	第207回	II 地区 SK1130遺構実測図	160
第152回	II 地区 SK2003遺構・遺物実測図	123	第208回	II 地区 SK1130遺構実測図	161
第153回	II 地区 SK2004遺構・遺物実測図	124	第209回	II 地区 SK1131遺構・遺物実測図	162
第154回	II 地区 SK2015遺構・遺物実測図	124	第210回	II 地区 SK1147遺構実測図（1）	163
第155回	II 地区 SK2019遺構実測図	125	第211回	II 地区 SK1147遺構実測図（2）	164
第156回	II 地区 SK2019遺物実測図	126	第212回	II 地区 SK1147遺構実測図	164
第157回	II 地区 SK2012遺構実測図	128	第213回	II 地区 SK1158遺構・遺物実測図	166
第158回	II 地区 SK2042遺物実測図	129	第214回	II 地区 SH1001遺構実測図	166
第159回	II 地区 SK2055遺構・遺物実測図	129	第215回	II 地区 SH1002遺構実測図	166

第216回	II 地区 ST1012遺構・遺物実測図167	第272回	II 地区 SX1007遺構・遺物実測図202
第217回	II 地区 ST1040遺構・遺物実測図167	第273回	II 地区 SP1585遺構・遺物実測図203
第218回	II 地区 ST1041遺構・遺物実測図168	第274回	II 地区 SP1602遺物実測図203
第219回	II 地区 ST1047遺構・遺物実測図168	第275回	II 地区 SP1613遺物実測図203
第220回	II 地区 ST1065遺構・遺物実測図170	第276回	II 地区 SP1681遺物実測図203
第221回	II 地区 ST1072遺構・遺物実測図170	第277回	II 地区 SP1685遺物実測図203
第222回	II 地区 ST1075遺構・遺物実測図171	第278回	II 地区 SP1688遺物実測図203
第223回	II 地区 ST1094遺構・遺物実測図171	第279回	II - 6・7 区第1遺構面遺構配置図204
第224回	II 地区 ST1104遺構・遺物実測図172	第280回	II 地区 SA1023遺構実測図206
第225回	II 地区 ST1111遺構・遺物実測図172	第281回	II 地区 SA1023EP2遺物実測図206
第226回	II 地区 SK1001遺構・遺物実測図173	第282回	II 地区 SA1024遺構実測図206
第227回	II 地区 SX1001遺構実測図174	第283回	II 地区 SG1004遺構断面図207
第228回	II 地区 SX1001遺構実測図176	第284回	II 地区 SG1005遺構断面図207
第229回	II 地区 SX1002遺構平面図176	第285回	II 地区 SG1006遺構断面図207
第230回	II 地区 SX1002遺構断面図177	第286回	II 地区 SG1007遺構断面図207
第231回	II 地区 SX1002遺物実測図178	第287回	II 地区 SK1225遺構・遺物実測図208
第232回	II 地区 SX1005遺構・遺物実測図179	第288回	II 地区 SK1227遺構実測図208
第233回	II 地区 SP1017遺物実測図180	第289回	II 地区 SD1024遺構断面図（1）209
第234回	II 地区 SP1057遺物実測図180	第290回	II 地区 SD1024遺構断面図（2）210
第235回	II 地区 SP1096遺物実測図180	第291回	II 地区 (II-6区) SD1024埋土上位遺物 実測図(1)212
第236回	II 地区 SP1195遺物実測図180	第292回	II 地区 (II-6区) SD1024埋土上位遺物 実測図(2)213
第237回	II 地区 SP1216遺物実測図180	第293回	II 地区 (II-6区) SD1024埋土上位遺物 実測図(3)214
第238回	II 地区 SP1263遺物実測図180	第294回	II 地区 (II-6区) SD1024埋土上位遺物 実測図(4)215
第239回	II 地区 SP1322遺構・遺物実測図180	第295回	II 地区 (II-6区) SD1024埋土上位遺物 実測図(5)216
第240回	II 地区 SP1366遺物実測図180	第296回	II 地区 (II-6区) SD1024埋土上位遺物 実測図(6)217
第241回	II 地区 SP1394遺物実測図180	第297回	II 地区 (II-6区) SD1024埋土上位遺物 実測図(7)218
第242回	II 地区 SP1466遺物実測図180	第298回	II 地区 (II-6区) SD1024埋土上位遺物 実測図(8)219
第243回	II - 4・5 区第1遺構面遺構配置図181	第299回	II 地区 (II-6区) SD1024埋土中位遺物 実測図(1)221
第244回	II 地区 SA1017遺構実測図182	第300回	II 地区 (II-6区) SD1024埋土中位遺物 実測図(2)222
第245回	II 地区 SA1018遺構・遺物実測図183	第301回	II 地区 (II-6区) SD1024埋土中位遺物 実測図(3)223
第246回	II 地区 SA1019遺構実測図183	第302回	II 地区 (II-6区) SD1024埋土下位遺物 実測図(1)225
第247回	II 地区 SA1019EP4遺物実測図183	第303回	II 地区 (II-6区) SD1024埋土下位遺物 実測図(2)226
第248回	II 地区 SA1020遺構実測図185	第304回	II 地区 (II-6区) SD1024埋土下位遺物 実測図(3)227
第249回	II 地区 SA1021遺構実測図185	第305回	II 地区 (II-6区) SD1024埋土下位遺物 実測図(4)228
第250回	II 地区 SA1022遺構実測図186	第306回	II 地区 (II-6区) SD1024埋土下位遺物 実測図(5)229
第251回	II 地区 SK1106遺構・遺物実測図186	第307回	II 地区 (II-6区) SD1024埋土下位遺物 実測図(6)230
第252回	II 地区 SK1161遺構・遺物実測図187	第308回	II 地区 (II-6区) SD1024埋土下位遺物 実測図(7)231
第253回	II 地区 SK1163遺構実測図188	第309回	II 地区 (II-6区) SD1024埋土下位遺物	
第254回	II 地区 SK1163遺物実測図(1)189			
第255回	II 地区 SK1163遺物実測図(2)190			
第256回	II 地区 SK1164遺構・遺物実測図192			
第257回	II 地区 SK1167遺構・遺物実測図192			
第258回	II 地区 SK1176遺構・遺物実測図193			
第259回	II 地区 SK1180遺構実測図193			
第260回	II 地区 SK1182遺構実測図194			
第261回	II 地区 SK1183遺構・遺物実測図194			
第262回	II 地区 SK1186遺構・遺物実測図195			
第263回	II 地区 SK1191遺構・遺物実測図196			
第264回	II 地区 SK1203遺構・遺物実測図198			
第265回	II 地区 SK1209遺構・遺物実測図199			
第266回	II 地区 SK1211遺構・遺物実測図200			
第267回	II 地区 SD1008遺構・遺物実測図201			
第268回	II 地区 SD1009遺構・遺物実測図201			
第269回	II 地区 SD1011遺構・遺物実測図201			
第270回	II 地区 SD1017遺構・遺物実測図201			
第271回	II 地区 SD1020遺構・遺物実測図201			

Ⅲ 地区	实测园（8）	232
第310图	Ⅱ 地区（Ⅱ—6区）SD1024埋下位遗物 实测园（9）	233
第311图	Ⅱ 地区（Ⅱ—6区）SD1024埋下位遗物 实测园（10）	234
第312图	Ⅱ 地区（Ⅱ—6区）SD1024埋土遗物实测园	235
第313图	Ⅱ 地区（Ⅱ—7区）SD1024埋土上·中位遗物 实测园	236
第314图	Ⅱ 地区（Ⅱ—7区）SD1024埋土下位遗物 实测园	237
第315图	Ⅱ 地区 SD1025遗構·遗物实测园	237
第316图	Ⅱ 地区 SD1026遗構断面园	238
第317图	Ⅱ 地区 第1包含層遗物实测园（1）	239
第318图	Ⅱ 地区 第1包含層遗物实测园（2）	240
第319图	Ⅲ—1·2区第2遗構面遗構配置园	242
第320图	Ⅲ 地区 SA2001遗構实测园	243
第321图	Ⅲ 地区 SA2001EP 3 遗構·遗物实测园	244
第322图	Ⅲ 地区 SA2002遗構实测园	245
第323图	Ⅲ 地区 SA2003遗構实测园	245
第324图	Ⅲ 地区 SA2004遗構实测园	246
第325图	Ⅲ 地区 SA2005遗構实测园	247
第326图	Ⅲ 地区 SA2005EP 1 遗構·遗物实测园	247
第327图	Ⅲ 地区 SG2001遗構实测园	249
第328图	Ⅲ 地区 SK2010遗構·遗物实测园	249
第329图	Ⅲ 地区 SK2014遗構·遗物实测园	249
第330图	Ⅲ 地区 SK2027遗構·遗物实测园	250
第331图	Ⅲ 地区 ST2006遗構·遗物实测园	250
第332图	Ⅲ 地区 ST2014遗構·遗物实测园	251
第333图	Ⅲ 地区 ST2038遗構·遗物实测园	252
第334图	Ⅲ 地区 ST2043遗構·遗物实测园	252
第335图	Ⅲ 地区（Ⅲ—1区）SD2001遗構断面园	253
第336图	Ⅲ 地区 SD2001遗物出土实测园	254
第337图	Ⅲ 地区 SD2001遗物实测园	255
第338图	Ⅲ 地区 SD2002遗構·遗物实测园	256
第339图	Ⅲ 地区 SD2003遗構断面园	256
第340图	Ⅲ 地区 SX2002遗構·遗物实测园	257
第341图	Ⅲ 地区 SP2017遗構·遗物实测园	257
第342图	Ⅲ 地区 SP2045遗物实测园	257
第343图	Ⅲ—3·4区第2遗構面遗構配置园	259
第344图	Ⅲ 地区 SA2006遗構·遗物实测园	260
第345图	Ⅲ 地区 SA2007遗構实测园	261
第346图	Ⅲ 地区 SA2008遗構实测园	261
第347图	Ⅲ 地区 SA2009遗構实测园	262
第348图	Ⅲ 地区 SA2010遗構实测园	263
第349图	Ⅲ 地区 SA2011遗構实测园	264
第350图	Ⅲ 地区 SA2012遗構实测园	265
第351图	Ⅲ 地区 SA2013遗構实测园	266
第352图	Ⅲ 地区 SG2002遗構·遗物实测园	267
第353图	Ⅲ 地区 SG2003遗構·遗物实测园	267
第354图	Ⅲ 地区 SK2036遗構·遗物实测园	267
第355图	Ⅲ 地区 SK2051遗構·遗物实测园	268
第356图	Ⅲ 地区 SK2053遗構·遗物实测园	269
第357图	Ⅲ 地区 SK2063遗構·遗物实测园	269
第358图	Ⅲ 地区 SK2065遗構·遗物实测园	271
第359图	Ⅲ 地区 SK2072遗構·遗物实测园	271
第360图	Ⅲ 地区 SK2073遗構·遗物实测园	272
第361图	Ⅲ 地区 SK2077遗構·遗物实测园	272
第362图	Ⅲ 地区 SK2089遗構·遗物实测园	272
第363图	Ⅲ 地区 SK2091遗構·遗物实测园	273
第364图	Ⅲ 地区 SK2093遗構·遗物实测园	273
第365图	Ⅲ 地区 SK2095遗構实测园	274
第366图	Ⅲ 地区 SK2098遗構·遗物实测园	275
第367图	Ⅲ 地区 SK2098遗構·遗物实测园	277
第368图	Ⅲ 地区 SK2103遗構·遗物实测园	277
第369图	Ⅲ 地区 SK2104遗構·遗物实测园	278
第370图	Ⅲ 地区 SK2106遗構·遗物实测园	279
第371图	Ⅲ 地区 SK2107遗構·遗物实测园	279
第372图	Ⅲ 地区 SK2116遗構·遗物实测园	279
第373图	Ⅲ 地区 SK2117遗構·遗物实测园	281
第374图	Ⅲ 地区 SK2121遗構·遗物实测园	281
第375图	Ⅲ 地区 ST2103遗構·遗物实测园	281
第376图	Ⅲ 地区 ST2111遗構·遗物实测园	282
第377图	Ⅲ 地区 ST2133遗構·遗物实测园	282
第378图	Ⅲ 地区 ST2138遗構·遗物实测园	282
第379图	Ⅲ 地区 ST2141遗構·遗物实测园	283
第380图	Ⅲ 地区 ST2157遗構·遗物实测园	283
第381图	Ⅲ 地区 ST2160遗構·遗物实测园	285
第382图	Ⅲ 地区 ST2162遗構·遗物实测园	285
第383图	Ⅲ 地区 ST2166遗構·遗物实测园	286
第384图	Ⅲ 地区 ST2167遗構·遗物实测园	286
第385图	Ⅲ 地区 ST2169遗構·遗物实测园	286
第386图	Ⅲ 地区 ST2180遗構·遗物实测园	287
第387图	Ⅲ 地区 ST2185遗構·遗物实测园	287
第388图	Ⅲ 地区 ST2189遗構·遗物实测园	289
第389图	Ⅲ 地区 ST2192遗構·遗物实测园	289
第390图	Ⅲ 地区 ST2200遗構·遗物实测园	289
第391图	Ⅲ 地区 ST2205遗構·遗物实测园	290
第392图	Ⅲ 地区 ST2208遗構·遗物实测园	290
第393图	Ⅲ 地区 ST2209遗構·遗物实测园	291
第394图	Ⅲ 地区 ST2216遗構·遗物实测园	291
第395图	Ⅲ 地区 ST2217遗構·遗物实测园	291
第396图	Ⅲ 地区（Ⅲ—3区）SD2001遗構断面园	293
第397图	Ⅲ 地区 SD2008遗構断面园	293
第398图	Ⅲ 地区 SD2009遗構断面园	293
第399图	Ⅲ 地区 SD2011遗物出土·遗物实测园	293
第400图	Ⅲ 地区 SD2015遗構·遗物实测园	294
第401图	Ⅲ 地区 SP2065遗構·遗物实测园	295
第402图	Ⅲ 地区 SP2082遗構·遗物实测园	295
第403图	Ⅲ 地区 SP2084遗構·遗物实测园	295
第404图	Ⅲ 地区 SP2089遗構·遗物实测园	296
第405图	Ⅲ 地区 SP2102遗物实测园	296
第406图	Ⅲ 地区 SP2117遗物实测园	296
第407图	Ⅲ 地区 SP2125遗物实测园	296
第408图	Ⅲ 地区 SP2141遗物实测园	296
第409图	Ⅲ 地区 SP2146遗物实测园	296
第410图	Ⅲ 地区第2包含層遗物实测园（1）	298
第411图	Ⅲ 地区第2包含層遗物实测园（2）	299
第412图	Ⅲ 地区第2包含層遗物实测园（3）	300
第413图	Ⅲ 地区第2包含層遗物实测园（4）	301
第414图	Ⅲ 地区第2包含層遗物实测园（5）	302
第415图	Ⅲ—1·2区第1遗構面遗構配置园	301
第416图	Ⅲ 地区 SA1001遗物实测园	305

第417回	III 地区 SA1002遺構・遺物実測図	306	第473回	II 地区 SK1082遺構実測図	341
第418回	III 地区 SG1001遺構実測図	306	第474回	II 地区 SK1082遺物実測図	341
第419回	III 地区 SG1002遺構実測図	307	第475回	II 地区 SK1083遺構・遺物実測図	342
第420回	III 地区 SK1006遺構・遺物実測図	308	第476回	II 地区 SK1091遺構・遺物実測図	342
第421回	III 地区 SK1008遺構実測図	308	第477回	II 地区 SK1100遺構・遺物実測図	344
第422回	III 地区 SK1009遺構・遺物実測図	310	第478回	II 地区 SK1103遺構・遺物実測図	344
第423回	III 地区 SK1011遺構・遺物実測図	311	第479回	II 地区 SK1104遺構実測図	344
第424回	III 地区 SK1019遺構・遺物実測図	311	第480回	II 地区 SK1105遺構・遺物実測図	345
第425回	III 地区 SK1020遺構・遺物実測図	312	第481回	II 地区 SK1108遺構・遺物実測図	345
第426回	III 地区 SK1037遺構・遺物実測図	313	第482回	II 地区 SK1117遺構・遺物実測図	346
第427回	II 地区 SK1040遺構・遺物実測図	314	第483回	II 地区 SK1122遺構・遺物実測図	346
第428回	III 地区 SK1041遺構・遺物実測図	314	第484回	II 地区 SK1125遺構・遺物実測図	346
第429回	III 地区 SH1001遺構実測図	316	第485回	II 地区 SK1136遺構・遺物実測図	348
第430回	III 地区 SD1002遺構・遺物実測図	317	第486回	II 地区 SK1137遺構・遺物実測図	348
第431回	III 地区 SD1007遺構・遺物実測図	317	第487回	II 地区 SK1140遺構実測図	349
第432回	III 地区 SD1017遺構・遺物実測図	317	第488回	II 地区 SK1158遺構・遺物実測図	349
第433回	III 地区 SD1020遺構・遺物実測図	317	第489回	II 地区 SK1161遺構・遺物実測図	349
第434回	III 地区 SD1030遺構・遺物実測図	317	第490回	II 地区 SK1165遺構・遺物実測図	351
第435回	III 地区 SD1032遺構・遺物実測図	317	第491回	II 地区 SK1166遺構・遺物実測図	351
第436回	III 地区 SD1055遺構・遺物実測図	317	第492回	II 地区 SK1167遺構・遺物実測図	352
第437回	III 地区 SD1088遺構実測図	319	第493回	II 地区 SK1169遺構・遺物実測図	352
第438回	III 地区 SD1088遺物実測図	319	第494回	II 地区 SK1176遺構実測図	353
第439回	III 地区 SP1017遺物実測図	319	第495回	II 地区 SK1176遺物実測図	354
第440回	III - 4 区 1 号 1 遺構面遺構配置図	320	第496回	II 地区 SK1178遺構・遺物実測図	356
第441回	III 地区 SA1003遺構実測図	321	第497回	II 地区 SK1185遺構・遺物実測図	356
第442回	III 地区 SA1004遺構実測図	322	第498回	II 地区 SH1002遺構実測図	356
第443回	III 地区 SA1005遺構実測図	323	第499回	II 地区 SH1004遺構実測図	356
第444回	III 地区 SA1005EP 5 遺構・遺物実測図	323	第500回	II 地区 SH1003遺構・遺物実測図	357
第445回	III 地区 SA1006遺構実測図	324	第501回	II 地区 SH1005遺構・遺物実測図	357
第446回	III 地区 SA1007遺構実測図	325	第502回	II 地区 SD1122遺構・遺物実測図	358
第447回	III 地区 SA1007EP12遺構・遺物実測図	326	第503回	II 地区 SD1123遺構・遺物実測図	359
第448回	III 地区 SA1007EP15遺構・遺物実測図	326	第504回	II 地区 SD1125遺構実測図	359
第449回	III 地区 SA1007上側出土上実測図	327	第505回	II 地区 SD1125遺物実測図	361
第450回	II 地区 SA1008遺構実測図	328	第506回	II 地区 SD1131遺構・遺物実測図	362
第451回	III 地区 SA1009遺構実測図	329	第507回	II 地区 SD1132遺構断面図	362
第452回	III 地区 SA1009EP 5 遺物実測図	329	第508回	II 地区 SD1134遺構・遺物実測図	362
第453回	III 地区 SA1009EP 6 遺物実測図	329	第509回	II 地区 SD1137遺構・遺物実測図	362
第454回	II 地区 SA1010遺構実測図	330	第510回	II 地区 SD1138遺構・遺物実測図	364
第455回	III 地区 SA1010EP 2 遺物実測図	330	第511回	II 地区 SD1139遺構・遺物実測図	364
第456回	II 地区 SA1011遺構実測図	331	第512回	II 地区 SD1140遺構実測図	364
第457回	III 地区 SA1012遺構実測図	331	第513回	II 地区 SD1140遺物実測図	365
第458回	II 地区 SA1013遺構実測図	332	第514回	II 地区 SX1001遺構実測図	367
第459回	III 地区 SA1014遺構実測図	332	第515回	II 地区 SX1001遺物実測図	368
第460回	II 地区 SK1055遺構・遺物実測図	334	第516回	II 地区 SX1002遺構・遺物実測図	369
第461回	III 地区 SK1056遺構・遺物実測図	334	第517回	II 地区 SX1003 - SX1004遺構実測図	370
第462回	II 地区 SK1063遺構・遺物実測図	335	第518回	II 地区 SX1001遺物実測図	370
第463回	III 地区 SK1064遺構・遺物実測図	335	第519回	II 地区 SX1005遺構実測図	371
第464回	II 地区 SK1066遺構実測図	336	第520回	II 地区 SX1005遺物実測図	372
第465回	III 地区 SA1068遺構実測図	336	第521回	II 地区 SX1006遺構・遺物実測図	373
第466回	III 地区 SK1073遺構・遺物実測図	336	第522回	II 地区 SX1007遺構・遺物実測図	374
第467回	III 地区 SK1075遺構・遺物実測図	337	第523回	II 地区 SP1095遺物実測図	377
第468回	II 地区 SK1076遺構・遺物実測図	338	第524回	II 地区 SP1105遺物実測図	377
第469回	III 地区 SK1079遺構・遺物実測図	338	第525回	II 地区 SP1121遺物実測図	377
第470回	III 地区 SK1080遺構実測図	338	第526回	II 地区 SP1123遺物実測図	377
第471回	III 地区 SK1080遺物実測図	339	第527回	II 地区 SP1145遺物実測図	377
第472回	III 地区 SK1081遺構実測図	341	第528回	II 地区 SP1168遺物実測図	377

第529回	Ⅲ 地区 SP1182 遺物実測図	377	第583回	Ⅳ 地区 SK1087 遺構実測図	27
第530回	Ⅲ 地区 SP1220 遺物実測図	377	第584回	Ⅳ 地区 SK1087 遺物実測図	28
第531回	Ⅲ 地区 SP1238 遺物実測図	377	第585回	Ⅳ 地区 SK1096 遺構・遺物実測図	29
第532回	Ⅲ 地区 SP1240 遺物実測図	377	第586回	Ⅳ 地区 SK1097 遺構・遺物実測図	29
第533回	Ⅲ 地区 SP1211 遺物実測図	377	第587回	Ⅳ 地区 SK1098 遺構・遺物実測図	30
第534回	Ⅲ 地区 SP1247 遺構・遺物実測図	378	第588回	Ⅳ 地区 SK1099 遺構・遺物実測図	31
第535回	Ⅲ 地区 SP1260 遺物実測図	378	第589回	Ⅳ 地区 SK1118 遺構・遺物実測図	33
第536回	Ⅲ 地区 SP1288 遺物実測図	378	第590回	Ⅳ 地区 SK1122 遺構実測図	33
第537回	Ⅲ 地区 SP1294 遺構・遺物実測図	378	第591回	Ⅳ 地区 SK1126 遺構・遺物実測図	33
第538回	Ⅲ 地区 SP1296 遺物実測図	380	第592回	Ⅳ 地区 SK1128 遺構実測図	33
第539回	Ⅲ 地区 SP1315 遺物実測図	380	第593回	Ⅳ 地区 SK1133 遺構・遺物実測図	34
第540回	Ⅲ 地区 SP1326 遺物実測図	380	第594回	Ⅳ 地区 SK1135 遺構・遺物実測図	35
第541回	Ⅲ 地区 SP1356 遺物実測図	380	第595回	Ⅳ 地区 SK1154 遺構・遺物実測図	35
第542回	Ⅲ 地区 SP1388 遺物実測図	380	第596回	Ⅳ 地区 SK1155 遺構・遺物実測図	37
第543回	Ⅲ 地区 SP1411 遺物実測図	380	第597回	Ⅳ 地区 SK1160 遺構・遺物実測図	37
第544回	Ⅲ 地区 SP1443 遺物実測図	380	第598回	Ⅳ 地区 SK1161 遺構・遺物実測図	38
第545回	Ⅲ 地区 SR1001 遺物実測図	382	第599回	Ⅳ 地区 SK1164 遺構・遺物実測図	38
第546回	Ⅲ 地区 第1 包含層 遺物実測図（1）	383	第600回	Ⅳ 地区 SK1175 遺構・遺物実測図	40
第547回	Ⅲ 地区 第1 包含層 遺物実測図（2）	384	第601回	Ⅳ 地区 SK1176 遺構実測図	40
第548回	Ⅲ 地区 第1 包含層 遺物実測図（3）	385	第602回	Ⅳ 地区 SK1177 遺構・遺物実測図	41
第549回	Ⅲ 地区 第1 包含層 遺物実測図（4）	387	第603回	Ⅳ 地区 SK1188 遺構実測図	41

[第2分冊]

第550回	IV 地区 1・2 区第 1 遺構面遺構配置図	1
第551回	IV 地区 SA1001 遺構実測図	3
第552回	IV 地区 SA1002 遺構実測図	4
第553回	IV 地区 SA1003 遺構実測図	4
第554回	IV 地区 SA1004 遺構実測図	5
第555回	IV 地区 SA1005 遺構実測図	6
第556回	IV 地区 SA1006 遺構実測図	7
第557回	IV 地区 SA1007 遺構実測図	8
第558回	IV 地区 SA1007EP 6 遺物出土実測図（上位）	8
第559回	IV 地区 SA1007EP 7 遺物出土実測図（下位）	8
第560回	IV 地区 SA1007EP 6 遺物実測図	9
第561回	IV 地区 SA1008 遺構実測図	10
第562回	IV 地区 SA1009 遺構実測図	11
第563回	IV 地区 SA1010 遺構実測図	12
第564回	IV 地区 SA1011 遺構実測図	13
第565回	IV 地区 SA1012 遺構実測図	14
第566回	IV 地区 SA1013 遺構実測図	15
第567回	IV 地区 SA1014 遺構実測図	16
第568回	IV 地区 SA1015 遺構実測図	17
第569回	IV 地区 SG1001 遺構実測図	18
第570回	IV 地区 SK1009 遺構・遺物実測図	18
第571回	IV 地区 SK1028 遺構・遺物実測図	18
第572回	IV 地区 SK1046 遺構・遺物実測図	19
第573回	IV 地区 SK1047 遺構・遺物実測図	20
第574回	IV 地区 SK1048 遺物出土実測図・遺構実測図	21
第575回	IV 地区 SK1018 遺物出土実測図	22
第576回	IV 地区 SK1052 遺構・遺物実測図	23
第577回	IV 地区 SK1053 遺構・遺物実測図	23
第578回	IV 地区 SK1055 遺構・遺物実測図	24
第579回	IV 地区 SK1059 遺構・遺物実測図	24
第580回	IV 地区 SK1069 遺構・遺物実測図	25
第581回	IV 地区 SK1071 遺構・遺物実測図	25
第582回	IV 地区 SK1079 遺構・遺物実測図	26
第606回	IV 地区 SK1224 遺構・遺物実測図	43
第607回	IV 地区 SK1226 遺構・遺物実測図	45
第608回	IV 地区 SK1223 遺構・遺物実測図	45
第609回	IV 地区 SK1240 遺構・遺物実測図	46
第610回	IV 地区 SH1001 遺構・遺物実測図	46
第611回	IV 地区 ST1000 遺構・遺物実測図	47
第612回	IV 地区 ST1009 遺構・遺物実測図	47
第613回	IV 地区 ST1033 遺構・遺物実測図	49
第614回	IV 地区 ST1068 遺構・遺物実測図	49
第615回	IV 地区 ST1112 遺構・遺物実測図	49
第616回	IV 地区 SU1001 遺構・遺物実測図	50
第617回	IV 地区 SU1002・SU1003 遺構実測図	51
第618回	IV 地区 SU1002 遺物出土実測図	53
第619回	IV 地区 SU1003 遺物出土実測図	53
第620回	IV 地区 SU1004 遺構・遺物実測図	56
第621回	IV 地区 SU1004 遺物出土実測図（1）	57
第622回	IV 地区 SU1014 遺物出土実測図（2）	58
第623回	IV 地区 SU1005 遺構・遺物実測図	59
第624回	IV 地区 SU1006 遺構・遺物実測図	60
第625回	IV 地区 SU1007 遺構・遺物実測図（1）	62
第626回	IV 地区 SU1007 遺物出土実測図（2）	63
第627回	IV 地区 SU1020 遺構・遺物実測図	64
第628回	IV 地区 SD1032 遺構・遺物実測図	65
第629回	IV 地区 SD1033 遺構・遺物実測図	67
第630回	IV 地区 SD1039 遺構・遺物実測図	67
第631回	IV 地区 SD1040 遺構断面図	67
第632回	IV 地区 SD1041 遺構断面図	67
第633回	IV 地区 SD1040 遺物出土実測図	68
第634回	IV 地区 SD1041 遺物出土実測図（1）	69
第635回	IV 地区 SD1041 遺物出土実測図（2）	70
第636回	IV 地区 SD1043 遺構・遺物実測図	70
第637回	IV 地区 SD1045 遺構・遺物実測図	70
第638回	IV 地区 SD1047 遺構・遺物実測図	72

第639回	IV 地区 SP1004 遺物実測図	73	第695回	IV 地区 SK1325遺構・遺物実測図	113
第640回	IV 地区 SP1006 遺物実測図	73	第696回	IV 地区 SK1326遺構・遺物実測図	114
第641回	IV 地区 SP1080 遺物実測図	73	第697回	IV 地区 SK1329遺構・遺物実測図	114
第642回	IV 地区 SP1088 遺物実測図	73	第698回	IV 地区 SK1332遺構・遺物実測図	115
第643回	IV 地区 SP1112 遺物実測図	73	第699回	IV 地区 SK1346遺構・遺物実測図	115
第644回	IV 地区 SP1149 遺構・遺物実測図	74	第700回	IV 地区 SK1359遺構・遺物実測図	115
第645回	IV 地区 SP1225 遺物実測図	75	第701回	IV 地区 SK1360遺構・遺物実測図	117
第646回	IV 地区 SP1236 遺物実測図	75	第702回	IV 地区 SK1371遺構・遺物実測図	118
第647回	IV 地区 SP1256 遺物実測図	75	第703回	IV 地区 SK1373遺構・遺物実測図	118
第648回	IV 地区 SP1304 遺物実測図	75	第704回	IV 地区 SK1376遺構・遺物実測図 (1)	119
第649回	IV 地区 SP1309 遺物実測図	75	第705回	IV 地区 SK1376 遺物実測図 (2)	120
第650回	IV 地区 SP1344 遺物実測図	75	第706回	IV 地区 SK1378遺構・遺物実測図	121
第651回	IV - 31 第1遺構面構成図	77	第707回	IV 地区 ST1123遺構・遺物実測図	122
第652回	IV 地区 SA1016 遺構実測図	79	第708回	IV 地区 SU1008遺構・遺物実測図	123
第653回	IV 地区 SA1017 遺構・遺物実測図	79	第709回	IV 地区 SU1009遺構実測図	124
第654回	IV 地区 SA1018 遺構・遺物実測図	80	第710回	IV 地区 SU1010遺構実測図 (1)	126
第655回	IV 地区 SA1019 遺構実測図	82	第711回	IV 地区 SU1010 遺物実測図 (1)	126
第656回	IV 地区 SA1019EP 5 遺構・遺物実測図	82	第712回	IV 地区 SU1010遺構実測図 (2)	127
第657回	IV 地区 SA1020 遺構実測図	83	第713回	IV 地区 SU1010 遺物実測図 (2)	127
第658回	IV 地区 SA1021 遺構実測図	83	第714回	IV 地区 SU1010 遺物実測図 (3)	128
第659回	IV 地区 SA1022 遺構・遺物実測図	84	第715回	IV 地区 SU1011遺構実測図	129
第660回	IV 地区 SA1023 遺構実測図	85	第716回	IV 地区 SU1012遺構実測図	129
第661回	IV 地区 SA1023EP 6 遺構実測図	85	第717回	IV 地区 SU1013遺構実測図	129
第662回	IV 地区 SA1023EP 8 遺構・遺物実測図	85	第718回	IV 地区 SU1014遺構実測図	129
第663回	IV 地区 SA1024 遺構・遺物実測図	87	第719回	IV 地区 SU1014 遺物実測図	130
第664回	IV 地区 SA1025 遺構実測図	88	第720回	IV 地区 SU1015遺構・遺物実測図 (1)	131
第665回	IV 地区 SA1026 遺構実測図	88	第721回	IV 地区 SU1015 遺物実測図 (2)	132
第666回	IV 地区 SG1002 遺構実測図	89	第722回	IV 地区 SU1016遺構実測図	133
第667回	IV 地区 SG1003 遺構実測図	89	第723回	IV 地区 SU1017遺構・遺物実測図	134
第668回	IV 地区 SK1244 遺構・遺物実測図	90	第724回	IV 地区 SU1018遺構・遺物実測図	135
第669回	IV 地区 SK1246 遺構・遺物実測図	90	第725回	IV 地区 SU1019遺構実測図	136
第670回	IV 地区 SK1248 遺構・遺物実測図	92	第726回	IV 地区 SD1037遺構・遺物実測図	137
第671回	IV 地区 SK1268 遺構実測図	92	第727回	IV 地区 SD1054遺構・遺物実測図	137
第672回	IV 地区 SK1277 遺構・遺物実測図	93	第728回	IV 地区 SD1059遺構・遺物実測図	137
第673回	IV 地区 SK1280 遺構・遺物実測図	93	第729回	IV 地区 SD1061遺構・遺物実測図	139
第674回	IV 地区 SK1281 遺構・遺物実測図	94	第730回	IV 地区 SD1063遺構・遺物実測図	139
第675回	IV 地区 SK1292 遺構・遺物実測図	94	第731回	IV 地区 SD1074遺構・遺物実測図	139
第676回	IV 地区 SK1294 遺構・遺物実測図	96	第732回	IV 地区 SD1078遺構実測図	139
第677回	IV 地区 SK1296 遺構・遺物実測図	96	第733回	IV 地区 SD1078 遺物実測図	140
第678回	IV 地区 SK1297 遺構実測図	97	第734回	IV 地区 SX1001遺構・遺物実測図	141
第679回	IV 地区 SK1298 遺構実測図	97	第735回	IV 地区 SP1394遺構・遺物実測図	142
第680回	IV 地区 SK1298 遺物実測図	98	第736回	IV 地区 SP1419遺物実測図	142
第681回	IV 地区 SK1299 遺構・遺物実測図	99	第737回	IV 地区 SP1462遺物実測図	142
第682回	IV 地区 SK1301 遺構・遺物実測図 (1)	100	第738回	IV 地区 SP1475遺物実測図	144
第683回	IV 地区 SK1301 遺物実測図 (2)	101	第739回	IV 地区 SP1515遺物実測図	144
第684回	IV 地区 SK1301 遺物実測図 (3)	102	第740回	IV 地区 SP1521遺物実測図	144
第685回	IV 地区 SK1301 遺物実測図 (4)	103	第741回	IV 地区 SP1526遺物実測図	144
第686回	IV 地区 SK1301 遺物実測図 (5)	104	第742回	IV 地区 SP1548遺物実測図	144
第687回	IV 地区 SK1301 遺物実測図 (6)	105	第743回	IV 地区 SP1579遺物実測図	144
第688回	IV 地区 SK1301 遺物実測図 (7)	106	第744回	IV 地区 SP1581遺物実測図	144
第689回	IV 地区 SK1301 遺物実測図 (8)	107	第745回	IV 地区 SP1593遺物実測図	144
第690回	IV 地区 SK1301 遺構・遺物実測図	109	第746回	IV 地区 SP1608遺物実測図	146
第691回	IV 地区 SK1313 遺構・遺物実測図	110	第747回	IV 地区 SP1625遺物実測図	146
第692回	IV 地区 SK1317 遺構・遺物実測図	110	第748回	IV 地区 SP1631遺物実測図	146
第693回	IV 地区 SK1318 遺構・遺物実測図	111	第749回	IV 地区 SP1633遺物実測図	146
第694回	IV 地区 SK1320 遺構実測図	113	第750回	IV 地区 SP1644遺物実測図	146

第751图	IV地区 SP1650遗物实测图146
第752图	IV地区 SP1662遗物实测图146
第753图	IV地区 SP1701遗物实测图146
第754图	IV - 4区第1遗構面遺構配置圖147
第755图	IV地区 SA1027遺構実測図148
第756图	IV地区 SA1028遺構・遺物実測図149
第757图	IV地区 SA1029遺構実測図150
第758图	IV地区 SA1030遺構実測図151
第759图	IV地区 SA1030EP1遺構・遺物実測図151
第760图	IV地区 SA1030EP5遺構・遺物実測図151
第761图	IV地区 SK1396遺構・遺物実測図152
第762图	IV地区 SK1402遺構・遺物実測図153
第763图	IV地区 SK1403遺構・遺物実測図154
第764图	IV地区 SK1405遺構・遺物実測図155
第765图	IV地区 SK1422遺構・遺物実測図156
第766图	IV地区 ST1138遺構・遺物実測図156
第767图	IV地区 ST1139遺構・遺物実測図157
第768图	IV地K ST1143遺構・遺物実測図157
第769图	IV地区 SX1002遺構実測図158
第770图	IV地K SX1002遺物実測図（1）159
第771图	IV地区 SX1002遺物実測図（2）160
第772图	IV地区 SX1002遺物実測図（3）161
第773图	IV地区 SP1759遺物実測図163
第774图	IV地区 SP1761遺物実測図163
第775图	IV地区 SP1765遺構・遺物実測図163
第776图	IV地区 SP1779遺物実測図163
第777图	IV地K SP1785遺構・遺物実測図163
第778图	IV地区第1包含層遺物実測図（1）165
第779图	IV地区第1包含層遺物実測図（2）166
第780图	IV地区第1包含層遺物実測図（3）167
第781图	IV地区第1包含層遺物実測図（4）168
第782图	IV地区第1包含層遺物実測図（5）169
第783图	IV地区第1包含層遺物実測図（6）170
第784图	IV地区第1包含層遺物実測図（7）171
第785图	V - 1・2・2区第2遺構面遺構配置圖173
第786图	V地区 SA2001遺構実測図174
第787图	V地区 SA2002遺構・遺物実測図174
第788图	V地K SA2003遺構実測図175
第789图	V地区 SA2004遺構実測図175
第790图	V地区 SA2005遺構・遺物実測図176
第791图	V地区 SA2006遺構実測図178
第792图	V地区 SA2006EP1遺構・遺物实測图178
第793图	V地区 SA2007遺構実測図178
第794图	V地区 SA2008遺構実測図179
第795图	V地K SA2009遺構実測図179
第796图	V地区 SA2010遺構実測図180
第797图	V地区 SG2001遺構実測図181
第798图	V地区 SG2002遺構実測図181
第799图	V地区 SG2003遺構実測図181
第800图	V地区 SK2030遺構・遺物实測图183
第801图	V地区 SK2046遺構・遺物实測图183
第802图	V地区 SK2050遺構・遺物实測图184
第803图	V地区 SK2070遺構・遺物实測图184
第804图	V地区 ST2016遺構・遺物实測图185
第805图	V地K ST2060遺構・遺物实測图185
第806图	V地区 ST2066遺構・遺物实測图185
第807图	V地区 ST2081遺構・遺物实測图186
第808图	V地区 ST2097遺構・遺物实測图187
第809图	V地区 ST2111遺構・遺物实測图187
第810图	V地区 ST2117遺構・遺物实測图188
第811图	V地区 ST2137遺構・遺物实測图188
第812图	V地区 ST2166遺構・遺物实測图188
第813图	V地区 ST2167遺構・遺物实測图189
第814图	V地区 ST2183遺構・遺物实測图189
第815图	V地区 ST2189遺構・遺物实測图191
第816图	V地区 ST2197遺構・遺物实測图191
第817图	V地区 ST2210遺構・遺物实測图192
第818图	V地区 SU2001遺構实測图193
第819图	V地区 SU2002遺構・遺物实測图193
第820图	V地区 SU2003遺構实測图193
第821图	V地区 SU2004遺構实測图193
第822图	V地区 SU2005遺構实測图194
第823图	V地区 SU2006遺構实測图194
第824图	V地区 SU2007遺構实測图194
第825图	V地区 SD2002・SD2013遺構实測图195
第826图	V地区 SD2003遺物实測图195
第827图	V地区 SP2057遺物实測图196
第828图	V地区 SP2079遺物实測图196
第829图	V地区 SP2110遺物实測图196
第830图	V地区 SP2141遺物实測图196
第831图	V地区 SP2172遺物实測图196
第832图	V地区 SP2175遺物实測图196
第833图	V地区 SP2123遺構・遺物实測图196
第834图	V地区 SP2432遺物实測图196
第835图	V地区 SP2447遺物实測图196
第836图	V地区 SP2579遺物实測图196
第837图	V - 3・4区第2遺構面遺構配属圖198
第838图	V地区 SA2011遺構实測图200
第839图	V地区 SK2112遺構・遺物实測图200
第840图	V地区 SK2115遺構・遺物实測图201
第841图	V地区 SK2122遺構・遺物实測图202
第842图	V地区 SK2124遺構・遺物实測图202
第843图	V地区 SK2134遺構・遺物实測图202
第844图	V地区 SK2141遺構・遺物实測图202
第845图	V地区 SK2153遺構・遺物实測图202
第846图	V地区 ST2223遺構・遺物实測图204
第847图	V地区 ST2234遺構・遺物实測图204
第848图	V地区 ST2247遺構・遺物实測图204
第849图	V地区 SD2007遺構・遺物实測图205
第850图	V地区 SP2512遺物实測图205
第851图	V地区 SP2533遺物实測图205
第852图	V地区 SR2001遺構断面圖205
第853图	V地区 SR2002遺構・遺物实測图205
第854图	V地区第2包含層遺物实測图（1）206
第855图	V地区第2包含層遺物实測图（2）207
第856图	V - 1・2区第1遺構面遺構配属圖209
第857图	V地区 SA1001遺構实測图210
第858图	V地区 SA1002遺構实測图211
第859图	V地区 SK1001遺構・遺物实測图212
第860图	V地区 SK1002遺構・遺物实測图212
第861图	V地区 SK1004遺構・遺物实測图213
第862图	V地区 SK1005遺構实測图213

第863回	V地区 SK1005遺物実測図	214	第919回	V地区 SK1110遺構・遺物実測図（1）	251
第864回	V地区 SK1007遺構・遺物実測図	215	第920回	V地区 SK1110遺物実測図（2）	252
第865回	V地区 SK1008遺構実測図	216	第921回	V地区 SK1113遺構・遺物実測図	253
第866回	V地区 SK1008遺物実測図	217	第922回	V地区 SK1114遺構・遺物実測図	253
第867回	V地区 SK1009遺構・遺物実測図	219	第923回	V地区 SK1122遺構・遺物実測図	254
第868回	V地区 SK1010遺構実測図	219	第924回	V地区 SK1126遺構・遺物実測図	254
第869回	V地区 SK1011遺構実測図	219	第925回	V地区 SK1129遺構・遺物実測図	255
第870回	V地区 SK1012遺構実測図	221	第926回	V地区 SK1132遺構・遺物実測図	256
第871回	V地区 SK1013遺構実測図	221	第927回	V地区 SK1137遺構・遺物実測図	256
第872回	V地区 SK1014遺構実測図	221	第928回	V地区 SK1139遺構・遺物実測図	257
第873回	V地区 SK1015遺構実測図	221	第929回	V地区 SK1140遺構・遺物実測図	257
第874回	V地区 SK1016遺構・遺物実測図	222	第930回	V地区 SK1142遺構・遺物実測図	258
第875回	V地区 SK1017遺構実測図	223	第931回	V地区 SK1144遺構実測図	259
第876回	V地区 SK1018遺構実測図	223	第932回	V地区 SK1144遺物実測図	260
第877回	V地区 SK1018遺物実測図	223	第933回	V地区 SK1148遺構・遺物実測図	262
第878回	V地区 SK1019遺構・遺物実測図	224	第934回	V地区 SK1150遺構・遺物実測図	262
第879回	V地区 SK1020遺構実測図	224	第935回	V地区 SK1154遺構・遺物実測図	262
第880回	V地区 SK1021遺構実測図	224	第936回	V地区 SK1158遺構・遺物実測図	263
第881回	V地区 SK1022遺構実測図	226	第937回	V地区 SK1159遺構・遺物実測図	264
第882回	V地区 SK1023遺構実測図	226	第938回	V地区 SK1161遺構・遺物実測図	265
第883回	V地区 SK1024遺構実測図	226	第939回	V地区 SK1164遺構・遺物実測図	265
第884回	V地区 SK1025遺構実測図	226	第940回	V地区 SK1165遺構・遺物実測図	266
第885回	V地区 SK1027遺構・遺物実測図	227	第941回	V地区 SK1166遺構・遺物実測図	266
第886回	V地区 SK1028遺構・遺物実測図	227	第942回	V地区 SK1168遺構・遺物実測図	267
第887回	V地区 SK1029遺構実測図	227	第943回	V地区 SK1170遺構・遺物実測図	267
第888回	V地区 SK1036遺構・遺物実測図	229	第944回	V地区 SK1171遺構・遺物実測図	267
第889回	V地区 SK1037遺構・遺物実測図	229	第945回	V地区 SK1172遺構・遺物実測図	268
第890回	V地区 SK1038遺構実測図	230	第946回	V地区 SK1173遺構・遺物実測図	268
第891回	V地区 SK1038遺物実測図	231	第947回	V地区 SK1176遺構・遺物実測図	270
第892回	V地区 SK1039遺構実測図	232	第948回	V地区 SK1178遺構・遺物実測図	270
第893回	V地区 SK1045遺構実測図	232	第949回	V地区 SK1180遺構・遺物実測図	270
第894回	V地区 SK1045遺物実測図	233	第950回	V地区 SK1182遺構・遺物実測図	271
第895回	V地区 SK1046遺構・遺物実測図	234	第951回	V地区 SK1185遺構・遺物実測図	271
第896回	V地区 SK1047遺構・遺物実測図	234	第952回	V地区 SK1255遺構・遺物実測図	272
第897回	V地区 SK1050遺構・遺物実測図	236	第953回	V地区 SU1001遺構・遺物実測図	274
第898回	V地区 SK1052遺構・遺物実測図	236	第954回	V地区 SU1004遺構・遺物実測図	275
第899回	V地区 SK1054遺構・遺物実測図	237	第955回	V地区 SD1003遺構・遺物実測図	276
第900回	V地区 SK1056遺構・遺物実測図	237	第956回	V地区 SD1015遺構・遺物実測図	276
第901回	V地区 SK1062遺構・遺物実測図	238	第957回	V地区 SD1023遺構実測図	276
第902回	V地区 SK1066遺構・遺物実測図	238	第958回	V地区 SD1023遺物実測図	276
第903回	V地区 SK1068遺構・遺物実測図	238	第959回	V地区 SD1027遺構・遺物実測図	278
第904回	V地区 SK1070遺構・遺物実測図	240	第960回	V地区 SD1028遺構・遺物実測図	278
第905回	V地区 SK1076遺構・遺物実測図	240	第961回	V地区 SD1030遺構・遺物実測図	278
第906回	V地区 SK1081遺構・遺物実測図	240	第962回	V地区 SD1032遺構・遺物実測図	278
第907回	V地区 SK1083遺構・遺物実測図	241	第963回	V地区 SD1034遺構・遺物実測図	278
第908回	V地区 SK1084遺構・遺物実測図	242	第964回	V地区 SD1036遺構・遺物実測図（1）	279
第909回	V地区 SK1086遺構・遺物実測図	243	第965回	V地区 SD1036遺物実測図（2）	280
第910回	V地区 SK1087遺構・遺物実測図	244	第966回	V地区 SD1040遺構・遺物実測図	280
第911回	V地区 SK1089遺構・遺物実測図	244	第967回	V地区 SD1043遺構・遺物実測図	280
第912回	V地区 SK1090遺構・遺物実測図	246	第968回	V地区 SD1048遺構・遺物実測図	281
第913回	V地区 SK1096遺構・遺物実測図	246	第969回	V地区 SD1049遺構・遺物実測図	281
第914回	V地区 SK1098遺構・遺物実測図	247	第970回	V地区 SD1052遺構・遺物実測図	283
第915回	V地区 SK1100遺構・遺物実測図	248	第971回	V地区 SD1054遺構・遺物実測図	284
第916回	V地区 SK1105遺構・遺物実測図	249	第972回	V地区 SD1057遺構断面図	284
第917回	V地区 SK1107遺構・遺物実測図	249	第973回	V地区 SD1057遺物出土実測図	285
第918回	V地区 SK1108遺構・遺物実測図	250	第974回	V地区 SD1057遺物実測図	285

第975回	V 地区 SX1001遺構断面図	286
第976回	V 地区 SX1001遺物実測図	286
第977回	V 地区 SP1012遺物実測図	288
第978回	V 地区 SP1019遺物実測図	288
第979回	V 地区 SP1020遺物実測図	288
第980回	V 地区 SP1021遺物実測図	288
第981回	V 地区 SP1023遺物実測図	288
第982回	V 地区 SP1024遺物実測図	288
第983回	V 地区 SP1025遺物実測図	288
第984回	V 地区 SP1027遺物実測図	290
第985回	V 地区 SP1071遺物実測図	290
第986回	V 地区 SP1073遺物実測図	290
第987回	V 地区 SP1091遺物実測図	290
第988回	V 地区 SP1100遺物実測図	290
第989回	V 地区 SP1109遺物実測図	290
第990回	V 地区 SP1117遺物実測図	290
第991回	V 地区 SP1121遺物実測図	290
第992回	V 地区 SP1150遺構・遺物実測図	290
第993回	V 地区 SP1168遺構・遺物実測図	290
第994回	V 地区 SP1173遺物実測図	292
第995回	V 地区 SP1191遺物実測図	292
第996回	V 地区 SP1217遺物実測図	292
第997回	V 地区 SP1225遺物実測図	292
第998回	V 地区 SP1234遺物実測図	292
第999回	V 地区 SP1249遺物実測図	292
第1000回	V 地区 SP1260遺物実測図	292
第1001回	V 地区 SP1268遺構・遺物実測図	293
第1002回	V 地区 SP1271遺物実測図	293
第1003回	V 地区 SP1279遺物実測図	293
第1004回	V 地区 SP1285遺構実測図	293
第1005回	V - 3 - 4区第1遺構面遺構配列図	295
第1006回	V 地区 SA1003遺構・遺物実測図	296
第1007回	V 地区 SK1188遺構・遺物実測図	297
第1008回	V 地区 SK1189遺構実測図	298
第1009回	V 地区 SK1189遺物実測図	299
第1010回	V 地区 SK1195遺構・遺物実測図	300
第1011回	V 地区 SK1197遺構・遺物実測図	300
第1012回	V 地区 SK1199遺構・遺物実測図	301
第1013回	V 地区 SK1203遺構・遺物実測図	301
第1014回	V 地区 SK1204遺構・遺物実測図	302
第1015回	V 地区 SK1206遺構・遺物実測図	302
第1016回	V 地区 SK1209遺構・遺物実測図	303
第1017回	V 地区 SK1218遺構・遺物実測図	303
第1018回	V 地区 SK1227遺構・遺物実測図	304
第1019回	V 地区 SK1234遺構・遺物実測図	305
第1020回	V 地区 SK1241遺構・遺物実測図	305
第1021回	V 地区 SU1002遺構・遺物実測図	306
第1022回	V 地区 SU1003遺構・遺物実測図	307
第1023回	V 地区 SD1059遺構・遺物実測図	308
第1024回	V 地区 SD1060遺構・遺物実測図	308
第1025回	V 地区 SD1063遺構・遺物実測図	308
第1026回	V 地区 SD1070遺構・遺物実測図	308
第1027回	V 地区 SP1294遺物実測図	310
第1028回	V 地区 SP1300遺物実測図	310
第1029回	V 地区 SP1316遺物実測図	310
第1030回	V 地区 SP1320遺物実測図	310
第1031回	V 地区 SP1328遺物実測図	310
第1032回	V 地区 SP1330遺物実測図	310
第1033回	V 地区 SP1334遺物実測図	310
第1034回	V 地区 SP1335遺物実測図	310
第1035回	V 地区 SP1339遺構・遺物実測図	310
第1036回	V 地区 SP1357遺物実測図	310
第1037回	V 地区 SP1372遺物実測図	310
第1038回	V - 5区第1遺構面遺構配列図	312
第1039回	V 地区 SA1001遺構実測図	313
第1040回	V 地区 SK1245遺構・遺物実測図	314
第1041回	V 地区 SK1246遺構・遺物実測図	314
第1042回	V 地区 SX1002遺構・遺物実測図	315
第1043回	V 地区 SP1398遺物実測図	315
第1044回	V 地区第1包含層遺物実測図(1)	317
第1045回	V 地区第1包含層遺物実測図(2)	318
第1046回	V 地区第1包含層遺物実測図(3)	319
第1047回	V 地区第1包含層遺物実測図(4)	320
第1048回	鍛冶・鉄造関連遺物の比較(K-Ca散布図)	322
第1049回	鍛冶・鉄造関連遺物と出土七器の比較(K-Ca散布図)	322
第1050回	中東遺跡と他遺跡の鉄造・鍛冶関連遺物の比較(K-Ca散布図)	322
第1051回	古代土器の胎土比較(K-Ca散布図)	323
第1052回	上師質瓦の胎土比較(K-Ca散布図)	323
第1053回	瓦質・土師質播鉢の胎土比較(K-Ca散布図)	324
第1054回	上師質鍋の胎土比較(K-Ca散布図)	324
第1055回	瓦質・土質質羽釜、茶釜の比較(K-Ca散布図)	324
第1056回	上師質・瓦質・須恵質(杯・皿・碗)の比較(K-Ca散布図)	324
第1057回	上師質・瓦質(杯・皿)の比較(K-Ca散布図)	324
第1058回	遺跡内共存陶器の比較(K-Ca散布図)	324
第1059回	試料測定位置図(測定位置1~5)および各測定位置における蛍光X線スペクトル	339
第1060回	試料測定位置図(測定位置1~5)および各測定位置における蛍光X線スペクトル	340
第1061回	出土鉄滓鉄の金鉄(T-Fe)量と造淳成分量との関係	351
第1062回	出土鉄滓の金鉄(T-Fe)量とチタニア(TiO ₂)量との関係	354
第1063回	鉄系鍛冶滓と鉄石系製鐵滓の分類	354
第1064回	出土鉄滓類の全鉄量(T-Fe)と造淳成分量との関係	364
第1065回	出土鉄滓類の全鉄量と二酸化チタン量の分布図	364
第1066回	出土鉄滓類のチタニア(TiO ₂)とマンガン(MnO)との関係	364
第1067回	飛鳥時代の様相	366
第1068回	奈良・平安時代の様相	366
第1069回	中・近世の様相	370
第1070回	V地区鍛冶関連遺構平面図	373

表 目 次

【第1分冊】

第1表	調査期間中の現地説明会等の普及活動	8
第2表	加茂堤防調査区新旧対応表	11
【第2分冊】		
第3表	中庄東遺跡出土鐵冶・鋳造関連遺物の胎上分析 一覧表	329
第4表	中庄東遺跡出土土器の胎上分析 一覧表	330
第5表	測定条件	337
第6表	中庄東遺跡(加茂堤防)Ⅲ-1区SA2001EP3 花卉从葉八花鏡(580)の元素分析結果	337
第7表	中庄東遺跡(県道出上太刀野線)6地区SX1023 出土陶像(1863)の元素分析結果	338

第8表	調査試料明細と調査内容	347
第9表	調査試料の外観目視および磁性	353
第10表	中庄東遺跡出土品(スラグ、掩形漆、炉壁)の 化学分析結果	353
第11表	中庄東遺跡出土品(鉄製品)の化学分析結果	353
第12表	中庄東遺跡出土品の測定結果	363
第13表	県内の鋳造関連遺跡一覧	372
第14表	中庄東遺跡V-1区遺跡別羽口・スラグ 測定一覧表	374
第15表	V地区出土羽口一覧	374

遺構一覧表・遺物観察表目次

末石遺跡

第1表	I区掘立柱建物一覧表	3
第2表	I区欄列一覧表	3
第3表	I区餘山遺構一覧表 掘立柱建物柱穴	3
第4表	I区検出遺構一覧表 檻列柱穴	3
第5表	I区検出遺構一覧表 豊穴式住居	4
第6表	1・2区検出遺構一覧表 上坑	5
第7表	1・2区餘山遺構一覧表 土壙墓	7
第8表	1区検出遺構一覧表 清	8
第9表	1区検出遺構一覧表 不明遺構	8
第10表	1・2区検出遺構一覧表 杜穴	9
第11表	2区検出遺構一覧表 自然流路	17

中庄東遺跡

第12表	I～V地区掘立柱建物一覧表	18
第13表	I～V地区欄列一覧表	21
第14表	I地区第1遺構面検出遺構一覧表 掘立柱建物 柱穴	22
第15表	I地区第1遺構面検出遺構一覧表 檻列柱穴	24
第16表	I地区第1遺構面検出遺構一覧表 上坑	25
第17表	I地区第1遺構面検出遺構一覧表 燃土坑	29
第18表	I地区第1遺構面検出遺構一覧表 土壙墓	30
第19表	I地区第1遺構面検出遺構一覧表 清	32
第20表	I地区第1遺構面検出遺構一覧表 不明遺構	32

第21表	I地区第1遺構面検出遺構一覧表 杜穴	33
第22表	I地区第1遺構面検出遺構一覧表 自然流路	45
第23表	II地区第2遺構面検出遺構一覧表 掘立柱建物 柱穴	46
第24表	II地区第2遺構面検出遺構一覧表 豊穴式住居	47
第25表	II地区第2遺構面検出遺構一覧表 上坑	48
第26表	II地区第2遺構面検出遺構一覧表 燃土坑	49

第27表	II地区第2遺構面検出遺構一覧表 上壙墓	50
第28表	II地区第2遺構面検出遺構一覧表 集石遺構	52
第29表	II地区第2遺構面検出遺構一覧表 清	53
第30表	II地区第2遺構面検出遺構一覧表 不明遺構	53
第31表	II地区第2遺構面検出遺構一覧表 柱穴	54
第32表	II地区第1遺構面検出遺構一覧表 掘立柱建物 柱穴	58
第33表	II地区第1遺構面検出遺構一覧表 檻列柱穴	62
第34表	II地区第1遺構面検出遺構一覧表 上坑	63
第35表	II地区第1遺構面検出遺構一覧表 燃土坑	66
第36表	II地区第1遺構面検出遺構一覧表 上壙墓	67
第37表	II地区第1遺構面検出遺構一覧表 集石遺構	69
第38表	II地区第1遺構面検出遺構一覧表 清	70
第39表	II地区第1遺構面検出遺構一覧表 不明遺構	71
第40表	II地区第1遺構面検出遺構一覧表 柱穴	72
第41表	III地区第2遺構面検出遺構一覧表 掘立柱建物 杜穴	84
第42表	III地区第2遺構面検出遺構一覧表 檻列柱穴	86
第43表	III地区第2遺構面検出遺構一覧表 上坑	87
第44表	III地区第2遺構面検出遺構一覧表 土壙墓	90
第45表	III地区第2遺構面検出遺構一覧表 清	91
第46表	III地区第2遺構面検出遺構一覧表 不明遺構	94
第47表	III地区第2遺構面検出遺構一覧表 杜穴	95
第48表	III地区第1遺構面検出遺構一覧表 掘立柱建物 柱穴	98
第49表	III地区第1遺構面検出遺構一覧表 檻列柱穴	100
第50表	III地区第1遺構面検出遺構一覧表 上坑	101

第51表	Ⅲ地区第1遺構面検山遺構一覧表 烧土坑	104
第52表	Ⅲ地区第1遺構面検山遺構一覧表 溝	105
第53表	Ⅲ地区第1遺構面検出遺構一覧表 不明遺構	108
第54表	Ⅲ地区第1遺構面検出遺構一覧表 柱穴	109
第55表	Ⅲ地区第1遺構面検出遺構一覧表 自然流路	116
第56表	IV地区第1遺構面検出遺構一覧表 捩立柱建物 柱穴	117
第57表	IV地区第1遺構面検出遺構一覧表 橫列柱穴	121
第58表	IV地区第1遺構面検出遺構一覧表 土坑	122
第59表	IV地区第1遺構面検出遺構一覧表 焼土坑	129
第60表	IV地区第1遺構面検出遺構一覧表 土壙窓	130
第61表	IV地区第1遺構面検出遺構一覧表 集石遺構	133
第62表	IV地区第1遺構面検山遺構一覧表 溝	134
第63表	IV地区第1遺構面検出遺構一覧表 不明遺構	135
第64表	IV地区第1遺構面検出遺構一覧表 柱穴	136
第65表	IV地区第2遺構面検出遺構一覧表 捩立柱建物 柱穴	149
第66表	V地区第2遺構面検出遺構一覧表 橫列柱穴	150
第67表	V地区第2遺構面検出遺構一覧表 土坑	151
第68表	V地区第2遺構面検出遺構一覧表 集石遺構	153
第69表	V地区第2遺構面検出遺構一覧表 上壙窓	154
第70表	V地区第2遺構面検出遺構一覧表 溝	158
第71表	V地区第2遺構面検出遺構一覧表 柱穴	159
第72表	V地区第2遺構面検出遺構一覧表 自然流路	168
第73表	V地区第1遺構面検出遺構一覧表 捩立柱建物 柱穴	169
第74表	V地区第1遺構面検出遺構一覧表 上坑	170
第75表	V地区第1遺構面検出遺構一覧表 集石遺構	174
第76表	V地区第1遺構面検出遺構一覧表 溝	175
第77表	V地区第1遺構面検出遺構一覧表 不明遺構	177
第78表	V地区第1遺構面検出遺構一覧表 柱穴	178
末石遺跡		
第79表	I・2区出土遺物観察表 上器・陶器	185
第80表	I・2区出土遺物観察表 石器・石製品	188
中庄東遺跡		
第81表	I地区出土遺物観察表 土器・陶器	189
第82表	I地区出土遺物観察表 金屬製品	193
第83表	I地区出土遺物観察表 石器・石製品	193
第84表	II地区出土遺物観察表 土器・陶器	194
第85表	II地区出土遺物観察表 金屬製品	209
第86表	II地区出土遺物観察表 石器・石製品	210
第87表	III地区出土遺物観察表 土器・陶器	211
第88表	III地区出土遺物観察表 金屬製品	224
第89表	III地区出土遺物観察表 石器・石製品	225
第90表	IV地区出土遺物観察表 土器・陶器	226
第91表	IV地区出土遺物観察表 金屬製品	241
第92表	IV地区出土遺物観察表 石器・石製品	244
第93表	IV地区出土遺物観察表 土器・陶器	245
第94表	V地区出土遺物観察表 金屬製品	257
第95表	V地区出土遺物観察表 石器・石製品	258

写 真 目 次

【第1分冊】

写真1	末石遺跡 現地説明会	12
写真2	実測作業	12
写真3	遺構掘削作業	13
写真4	2001年度中庄東遺跡 小学生見学	13
写真5	包含層入り掘削作業	14
写真6	豪雨による調査区水没	14
写真7	2002年度中庄東遺跡 発掘体験	15
写真8	2002年度中庄東遺跡 吉野川フィールド講座	15
写真9	2003年度中庄東遺跡 現地説明会	16

【第2分冊】

写真10	中庄東遺跡出土遺物の実体顕微鏡写真（1）	331
写真11	中庄東遺跡出土遺物の実体顕微鏡写真（2）	332
写真12	中庄東遺跡出土遺物の実体顕微鏡写真（3）	333
写真13	中庄東遺跡出土遺物の実体顕微鏡写真（4）	334

写真14	中庄東遺跡出土遺物の実体顕微鏡写真（5）	335
写真15	顕査試料の外観写真（1）～（4）	348
写真16	調査試料の外観写真（5）～（8）	349
写真17	顕査試料の外観写真（9）～（12）	350
写真18	調査試料の外観写真（13）～（16）	351
写真19	調査試料の外観写真（17）～（20）	352
写真20	中庄東遺跡出土品の顕微鏡組織（1）～（4）	355
写真21	中庄東遺跡出土品の顕微鏡組織（5）～（8）	356
写真22	中庄東遺跡出土品の顕微鏡組織（9）～（12）	357
写真23	中庄東遺跡出土品の顕微鏡組織（13）	358
写真24	NKJ7-3～11のSEM像とEDX微小部分析	359
写真25	NKJ7-13～19のSEM像とEDX微小部分析	360
写真26	NKJ7-26～44のSEM像とEDX微小部分析	361
写真27	NKJ7-45～49のSEM像とEDX微小部分析	362

図版目次

【第1分冊】

- 卷頭図版 1 遺跡遺景（上流側から下流方向を望む）
 遺跡遺景（下流側から上流方向を望む）
 卷頭図版 2 中庄東遺跡IV-2区東側原敷地全景
 （北から）
 中庄東遺跡III-1区 SA2001EP3出土
 花弁双蝶八花鏡
 中庄東遺跡IV-3区出土銅造關連遺物

【第2分冊】

- 図版 1 1木石遺跡遺景（東から）
 2 1区第1遺構面完掘状況（東から）
 図版 2 1 1区SB1001完掘状況
 2 1区SB1002完掘状況
 図版 3 1 1区SB1003遺物出土状況
 2 1区SB1003龜付近遺物出土状況
 3 1区SB1003須彌器杯出土状況
 図版 4 1 1区SB1004完掘状況
 2 1区SB1004龜付近遺物出土状況
 図版 5 1 1区SB1005完掘状況
 2 1区SK1005
 3 1区SK1047遺物出土状況
 4 2区ST1030本格痕跡検出
 5 2区ST1030土層
 図版 6 1 1区第1遺構面完掘状況
 2 2区第1遺構面完掘状況
 図版 7 1 2区第1遺構面完掘状況
 2 2区第1遺構面完掘状況
 3 1区土層堆積状況
 4 2区土層堆積状況
 図版 8 SB1001・1003・1004出土遺物
 図版 9 1 SB1004出土遺物
 2 SB1005出土遺物
 3 SX1001出土遺物
 4 SK1003出土遺物
 5 SK1047出土遺物
 6 SR1001出土遺物
 7 SP1162出土遺物
 図版10 1 中庄東遺跡遺景（東から）
 2 中庄東遺跡遺景（東から）
 図版11 1 中庄東遺跡遺景（南西から）
 2 中庄東遺跡遺景（北西から）
 図版12 1 I-1区第1遺構面完掘状況
 2 I-1区SA1001EP1
 3 I-1区SH1001
 4 I-1区SX1001
 5 I-1区SX1002
 図版13 1 I-4区第1遺構面完掘状況
 2 I-5区第1遺構面完掘状況
 図版14 1 I-4区SK1142
 2 I-4区SX1004
 3 I-5区第1遺構面完掘状況
 4 I-5区SD1012・1013、溝群

- 5 I-6区第1遺構面完掘状況
 6 I-6区第1遺構面完掘状況
 図版15 1 I-6区第1遺構面完掘状況
 2 I-6区SA1016
 3 I-6区SK1217
 4 I-1区東端上層
 5 I-6区西端北壁土層
 図版16 1 II-4区第2遺構面完掘状況
 2 II-4区SB2001
 3 II-4区SB2001EH1 検出状況
 4 II-4区SA2005
 図版17 1 II-1区第1遺構面完掘状況
 2 II-2区第1遺構面完掘状況
 図版18 1 II-3区第1遺構面完掘状況
 2 II-3区SA1011
 3 II-3区SA1015
 4 II-3区SA1008EP6
 5 II-3区SA1015EP5
 図版19 1 II-1区SX1002
 2 II-3区SK1147
 3 II-3区SP1322
 4 II-4区第1遺構面完掘状況
 5 II-4区第1遺構面完掘状況
 図版20 1 II-4区SK1180
 2 II-4区SK1182
 3 II-4区SK1163
 4 II-5区第1遺構面完掘状況
 5 II-6区SD1024
 図版21 1 II-6区SD1024上層堆積状況
 2 II-6区SD1024土層堆積状況
 図版22 1 II-6区SD1024遺物出土状況
 2 II-6区SD1024完掘状況
 図版23 1 II-6・7区SD1024完掘状況
 2 II-7区SD1024完掘状況
 図版24 1 III-1区第2遺構面完掘状況（北西から）
 2 III-1区第2遺構面完掘状況（北から）
 図版25 1 III-1区SA2001
 2 III-1区SA2001EP3銅鏡（580）出土状況
 3 III-1区SA2001EP3土層
 4 III-1区SA2003
 5 III-1区ST2014
 図版26 1 III-1区SD2001・2002・2003
 2 III-1区SD2001遺物出土状況
 3 III-1区SD2001遺物出土状況
 4 III-2区SA2005
 5 III-2区SP2017遺物出土状況
 図版27 1 III-3区第2遺構面完掘状況（西から）
 2 III-3区第2遺構面完掘状況（北東から）
 図版28 1 III-3区SK2095遺物出土状況（1枚目）
 2 III-3区SK2095遺物出土状況（2枚目）
 3 III-3区SA2009
 4 III-3区SA2006

	5	III-3区 SA2007	2	IV-3区 SP1475
岡版29	1	III-1区 第1遺構面完掘状況	3	IV-4区 第1遺構面完掘状況(北東から)
	2	III-2区 第1遺構面完掘群検出状況	4	IV-4区 SA1027・1028
	3	III-1区 SH1001炭化材検出状況	5	IV-4区 SK1405
	4	III-1区・SH1001疊検出状況	岡版41	1 IV-4区 SX1002遺物出土
岡版30	1	III-3区 第1遺構面完掘状況(北から)	2	IV-4区 SX1002完掘状況
	2	III-3区 第1遺構面完掘状況(北から)	3	IV-4区 SP1785軒丸瓦出土
岡版31	1	III-3区 第1遺構面完掘群検出状況	岡版42	1 IV-3区 南壁土層
	2	III-3区 SK1075	2	IV-3区 東壁土層
	3	III-3区 SK1079-1082	3	IV-2区 捨立柱建物柱列復元
	4	III-3区 SK1081	岡版43	1 V-1区 第2遺構面完掘状況(北東から)
	5	III-3区 SK1082	2	V-1区 第2遺構面完掘状況(北から)
岡版32	1	III-3区 SK1136	3	V-1区 SA2003
	2	III-3区 SH1003	4	V-2区 第2遺構面検出状況
	3	III-3区 SX1001・1002完掘状況	岡版44	1 V-2区 第2遺構面完掘状況(北東から)
	4	III-3区 SX1003・1004	2	V-2区 SP2423
	5	III-3区 SD1125・1126・1131	3	V-3区 SK2115
	6	III-3区 SD1140	4	V-3区 第2遺構面完掘
	7	III-3区 SP1294	5	V-4区 第2遺構面完掘
	8	III-3区 第1遺構面鋼製品(963)出土	岡版45	1 V-1区 第1遺構面完掘状況(東から)
岡版33	1	IV-1区 第1遺構面検出状況(西から)	2	V-1区 第1遺構面完掘状況(北から)
	2	IV-1区 第1遺構面完掘状況(西から)	3	V-1区 SA1001付近鍛冶関連遺構検出状況
岡版34	1	IV-1区 SU1002・1003(北西から)	岡版46	1 V-1区 SA1001付近完掘状況
	2	IV-1区 SU1002・1003(北から)	2	V-1区 SK1005
	3	IV-1区 第1遺構面南側溝群	3	V-1区 SK1008検出状況
岡版35	1	IV-2区 第1遺構面完掘状況(北から)	4	V-1区 SK1008土層
	2	IV-2区 第1遺構面完掘状況(北東から)	5	V-1区 SK1008遺物出土
岡版36	1	IV-2区 SA1007EP6	6	V-1区 SK1010土層
	2	IV-2区 SK1046	7	V-1区 SK1023土層
	3	IV-2区 SK1048	8	V-1区 SK1023遺物出土
	4	IV-2区 SK1048	岡版47	1 V-1区 SK1011土層
	5	IV-2区 SK1087	2	V-2区 第1遺構面完掘状況(北東から)
	6	IV-2区 SK1099	3	V-2区 SA1002
	7	IV-2区 SK1222	4	V-2区 SK1081
	8	IV-2区 SK1240	岡版48	1 V-2区 SK1090
岡版37	1	IV-2区 SU1004	2	V-2区 SK1100
	2	IV-2区 SU1004	3	V-2区 SK1144
	3	IV-2区 SU1004	4	V-2区 SK1255
	4	IV-2区 SU1004	5	V-2区 SD1052
	5	IV-2区 SU1004十層	6	V-2区 SD1057
	6	IV-2区 SU1004北側削製井出土	7	V-2区 SP1168
	7	IV-2区 SU1004北側右製品出土	8	V-2区 SP1268
	8	IV-2区 SU1006	岡版49	1 V-4区 第1遺構面完掘(西から)
岡版38	1	IV-3区 第1遺構面完掘状況(北から)	2	V-4区 SU1002
	2	IV-3区 第1遺構面完掘状況(北東から)	3	V-4区 SU1003
	3	IV-3区 第1遺構面完掘状況(東から)	4	V-4区 東側溝群
	4	IV-3区 SK1244	5	V-5区 SA1004
	5	IV-3区 SK1320	6	V-4区 南壁
岡版39	1	IV-3区 SK1301	7	V-5区 離認トレンチ
	2	IV-3区 SK1325	岡版50	1 I地区 SX1001出土遺物
	3	IV-3区 SK1325遺物出土	2 I地区 SK1142出土遺物	
	4	IV-3区 SK1360	3 I地区 ST1030出土遺物	
	5	IV-3区 SU1008	4 I地区 SD1012出土遺物	
	6	IV-3区 SU1014	岡版51	1 I地区第1包含層・第1遺構面出土遺物
	7	IV-3区 SU1015	2 II地区 SB2001出土遺物	
岡版40	1	IV-3区 SD1078	3 II地区 SK2019出土遺物	

图版52	1	II 地区 SHE002出土遗物	3	III 地区第1包含层出土遗物
	2	II 地区第2包含层出土遗物	4	IV 地区 SA1007EP 6出土遗物
	3	II 地区 SA1009EP 5出土遗物	5	IV 地区 SK1048出土遗物
	4	II 地区 SK1046出土遗物	6	IV 地区 SK1048出土遗物
	5	II 地区 SK1047出土遗物	7	IV 地区 SK1087出土遗物
	6	II 地区 SK1147出土遗物	8	IV 地区 SK1134出土遗物
图版53	1	II 地区 SX1001出土遗物	9	IV 地区 SK1154出土遗物
	2	II 地区 SP1195出土遗物	10	IV 地区 SK1222出土遗物
	3	II 地区 SK1163出土遗物	11	IV 地区 SK1224出土遗物
	4	II 地区 SK1194出土遗物	12	IV 地区 SU1235出土遗物
	5	II 地区 SK1211出土遗物	13	IV 地区 SU1202出土遗物
	6	II 地区 SX1007出土遗物	14	IV 地区 SU1003出土遗物
	7	II 地区 SK1225出土遗物	15	IV 地区 SU1004出土遗物
	8	II 地区 SD1024上位出土遗物	16	IV 地区 SU1007出土遗物
图版54	1	II 地区 SD1024上位出土遗物	17	IV 地区 SU1005出土遗物
	2	II 地区 SD1024中位出土遗物	18	IV 地区 SD1033出土遗物
图版55	II	地 _K SD1024下位出土遗物	19	IV 地区 SD1040出土遗物
图版56	II	地区 SD1024下位出土遗物	20	IV 地区 SD1041出土遗物
图版57	1	II 地区 SD1024下位出土遗物	21	IV 地区 SD1043出土遗物
	2	II 地区第1道隔墙·第1包含层出土遗物	22	IV 地区 SD1047出土遗物
图版58	1	III 地区 SA2001EP 3出土遗物	23	IV 地 _K SP1309出土遗物
	2	III 地区 ST2014出土遗物	24	IV 地区 SP1344出土遗物
图版59	1	III 地区 SD2001出土遗物	25	IV 地 _K SP1149出土遗物
	2	III 地区 SX2002出土遗物	26	IV 地区 SK1246出土遗物
	3	III 地区 SP2017出土遗物	27	IV 地 _K SK1277H上位遗物
	4	III 地区 SK2093出土遗物	28	IV 地区 SK1296出土遗物
	5	III 地区 SK2095出土遗物	29	IV 地 _K SK1298出土遗物
图版60	1	III 地区 ST2157出土遗物	30	IV 地区 SK1299出土遗物
	2	III 地区 ST2160出土遗物	31	IV 地 _K SK1301出土遗物 (1)
	3	III 地区 ST2209出土遗物	32	IV 地区 SK1301出土遗物 (2)
	4	III 地区第2包含层出土遗物	33	IV 地区 SK1317出土遗物
图版61	1	III 地区第2包含层出土遗物	34	IV 地区 SK1318出土遗物
	2	III 地区 SD1030出土遗物	35	IV 地区 SK1325出土遗物
	3	III 地区 SD1055出土遗物	36	IV 地区 SK1329出土遗物
图版62	1	III 地区 SD1088出土遗物	37	IV 地区 SK1332出土遗物
	2	III 地区 SA1005EP 5出土遗物	38	IV 地 _K SK1360H上位遗物
	3	III 地区 SA1007出土遗物	39	IV 地区 SK1373出土遗物
	4	III 地区 SK1080出土遗物	40	IV 地 _K SK1376H上位遗物
	5	III 地区 SK1082出土遗物	41	IV 地区 SU1010出土遗物
	6	III 地区 SK1108出土遗物	42	IV 地 _K SU1014H上位遗物
	7	III 地区 SK1136出土遗物	43	IV 地区 SU1015H上位遗物
图版63	1	III 地区 SK1176出土遗物	44	IV 地区 SD1037出土遗物
	2	III 地区 SD1122出土遗物	45	IV 地区 SD1078出土遗物
	3	III 地区 SD1125出土遗物	46	IV 地区 SP1394出土遗物
	4	III 地区 SD1137出土遗物	47	IV 地区 SP1462出土遗物
	5	III 地区 SD1140出土遗物	48	IV 地区 SP1475出土遗物
图版64	1	III 地区 SX1004出土遗物	49	IV 地区 SP1548出土遗物
	2	III 地区 SX1005出土遗物	50	IV 地区 SP1631出土遗物
	3	III 地区 SX1006出土遗物	51	IV 地区 SP1630E I出土遗物
	4	III 地区 SX1007出土遗物	52	IV 地区 SK1422出土遗物
	5	III 地区 SP1105出土遗物	53	IV 地 _K SX1002出土遗物
	6	III 地区 SP1220出土遗物	54	IV 地 _K SX1002H上位遗物
	7	III 地区 SP1247出土遗物	55	IV 地区 SP1765出土遗物
图版65	1	III 地区 SP1294出土遗物	56	IV 地区 SP1785出土遗物
	2	III 地区 SR1001出土遗物	57	IV 地区第1包含层出土遗物 (1)
			58	IV 地区第1包含层出土遗物 (2)

図版80	1	V地区第1包含層出土遺物（3）
	2	V地区 SA2006EP1 出土遺物
	3	V地区 SP2423出土遺物
	4	V地区 SP2432出土遺物
図版81	1	V地区第2包含層出土遺物
	2	V地区 SK1005出土遺物
	3	V地区 SK1016出土遺物
	4	V地区 SK1028出土遺物
図版82	1	V地区 SK1008出土遺物
	2	V地区 SK1036出土遺物
	3	V地区 SK1045出土遺物
	4	V地区 SK1062出土遺物
	5	V地区 SK1100出土遺物
図版83	1	V地区 SK1084出土遺物
	2	V地区 SK1108出土遺物
	3	V地区 SK1110出土遺物
	4	V地区 SK1142出土遺物
図版84	1	V地区 SK1144出土遺物

図版85	1	V地区 SD1023出土遺物
	2	V地区 SD1030出土遺物
	3	V地区 SD1036出土遺物
	4	V地区 SD1049出土遺物
	5	V地区 SD1057出土遺物
	6	V地区 SX1001出土遺物
図版86	1	V地区 SP1168出土遺物
	2	V地区 SP1268出土遺物
	3	V地区 SK1189出土遺物
	4	V地区 SK1218出土遺物
	5	V地区 SD1070出土遺物
	6	V地区 SP1316出土遺物
	7	V地区 SP1339出土遺物
図版87	V地区第1包含層出土遺物	

付

- 付図1 宋石遺跡1区第1遺構面遺構配置図
 付図2 宋石遺跡2区第1遺構面遺構配置図
 付図3 中庄東遺跡I-1~6区第1遺構面遺構配置図
 付図4 中庄東遺跡II-4・5・7区第2遺構面遺構配置図
 付図5 中庄東遺跡II-1~3・6区第1遺構面遺構配置図
 付図6 中庄東遺跡II-4・5・7区第1遺構面遺構配置図
 付図7 中庄東遺跡III-1・2区第2遺構面遺構配置図
 付図8 中庄東遺跡III-3・4区第2遺構面遺構配置図
 付図9 中庄東遺跡III-1・2区第1遺構面遺構配置図

図

- 付図10 中庄東遺跡III-3・4区第1遺構面遺構配置図
 付図11 中庄東遺跡IV-1・2区第1遺構面遺構配置図
 付図12 中庄東遺跡IV-3区第1遺構面遺構配置図
 付図13 中庄東遺跡IV-4区第1遺構面遺構配置図
 付図14 中庄東遺跡V-1・2区第2遺構面遺構配置図
 付図15 中庄東遺跡V-3・4区第2遺構面遺構配置図
 付図16 中庄東遺跡V-1・2区第1遺構面遺構配置図
 付図17 中庄東道路V-3・4区第1遺構面遺構配置図
 付図18 中庄東遺跡V-5区第1遺構面遺構配置図
 付図19 中庄東遺跡II-6区SD1024遺物出土平面図
 付図20 中庄東遺跡II-7区SD1024遺物出土平面図

第Ⅰ章 遺跡の立地と環境

1. 地理的環境

四国東部に位置する徳島県は東西約100km南北約75km総面積約4,100km²で、四国の約22%を占める。県上の8割が山地であるのに対し、平野は吉野川流域や勝浦川・那賀川下流域など県土の2割に過ぎない。

県北部の地形は、中央構造線によって東西に走る直線的な地溝をつくる。中央構造線の北側は西南日本内帯に属し、領家帯と呼ばれる岩石帯が分布する。県下では中生代白亜紀後期に形成された砂岩系の堆積層である和泉層群によって構成され、讃岐山脈の南半を形成する。中央構造線南側を西南日本外帯といい、結晶片岩類によって構成される三波川変成帶や、緑色岩類により構成される御荷鉢帯とよばれる岩石帯が分布し、四国山地北部を形成する。

県北部には吉野川の堆積作用によって徳島平野を形成する。四国三郎の異名をもつ吉野川は、愛媛・高知県境の瓶ヶ森に端を発し、紀伊水道に注ぐまでの幹線流路延長194km、流域面積3,750km²に達する四国随一の大河である。

遺跡は吉野川中流域南岸に位置する。現在、遺跡が所在する三好郡東みよし町は2006年3月に吉野川南岸の三加茂町と北岸の三好町が合併して誕生した、総面積122.58km²、総人口約16,000人（平成12年）の町である。町面積の約8割が山林で、南岸における平地は吉野川沿いに形成された沖積地である通称三加茂平野（以降本書では本名称を使用）に限定される。

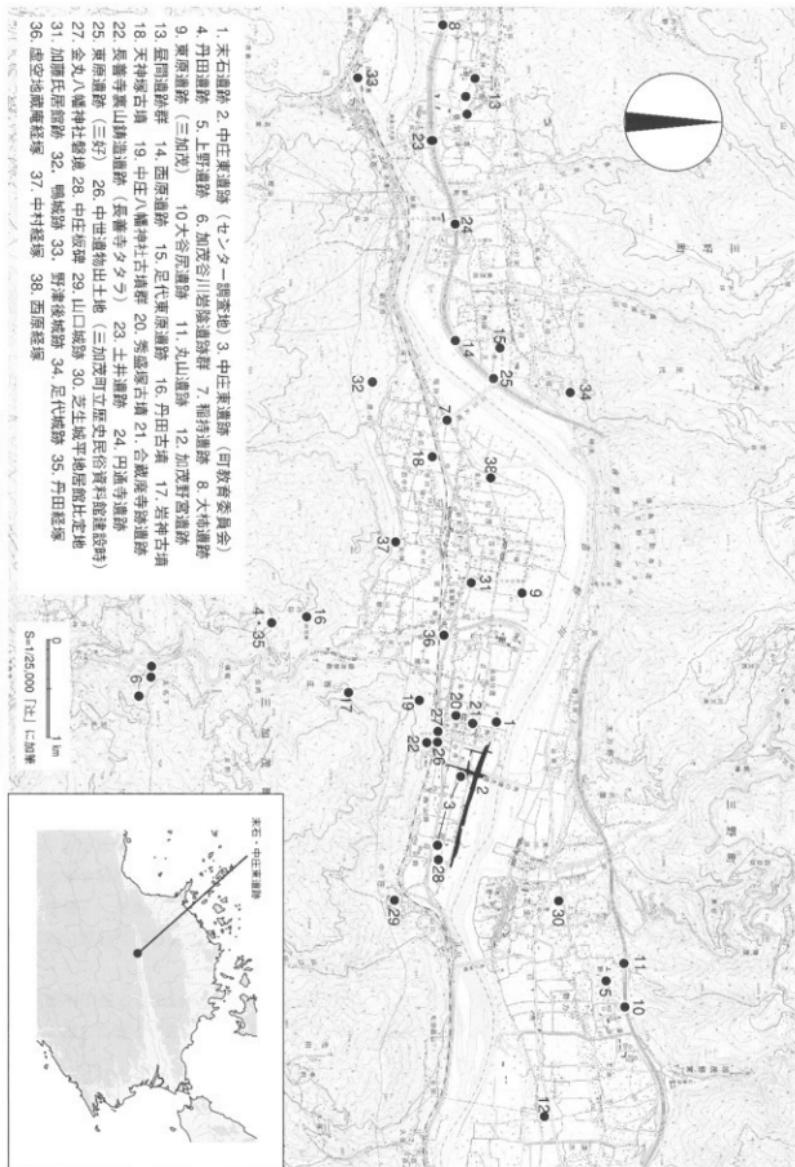
三加茂平野は東西約6km、南北約1.5kmの規模をもち、中央を加茂谷川が北流し吉野川に注ぐ。加茂谷川は谷出口で扇状地を形成し、平野を北方に押し広げ吉野川の流れを北に湾曲させる。加茂谷川扇状地から下流部分の平野東部には、標高65m前後の自然堤防が吉野川に沿って東に延び、遺跡はこの扇状地扇端部北東～自然堤防上にかけて立地する。自然堤防の南から四国山地の山際までは後背地で、標高62m前後の低地となる。

これらを形成する土壤は微細なシルト質で、水保ちは良くない。よって吉野川南岸用水開通まで自然堤防は主に桑畑として利用され、水田は扇状地扇端部の湧水地付近や自然堤防の後背地など水利条件に恵まれた地点で営まれた。調査地の現地盤から吉野川水面までは約5mの比高差がある。吉野川中流域の両岸には水防を目的とした竹林がみられ、調査地と吉野川の間にも鬱蒼とした竹林が横たわる。

三好郡は東西の風向であることが多く、冬の西風はとくに強い。池田付近の年平均気温13.9℃で、徳島市の16.2℃や14℃台を保つ松江・福井と比較しても低い。冬季は積雪も珍しくなく、朝は凍結構造が凍土と化して掘削に困難にし、太陽熱によって徐々に融解すれば泥漿となって作業に支障を来す。夏季は都市部と比べて比較的過ごしやすいものの、昼夜の気温差は大きい。また時折激しい夕立に見舞われ調査区が水没することもあった。吉野川下流や県南城、瀬戸内沿岸とは同じ気候帯には捉えられない地域特有の気候とみられ、本地域の歴史や民俗文化を規定する重要な要素であったことが窺える。

2. 歴史的環境（第1図）

本項以降、平成合併以前の旧町名・旧郡域で記述を行う。本遺跡が所在する三加茂町および近隣の遺



第1図 末石遺跡・中庄東遺跡と周辺の遺跡

跡を中心に、歴史的環境を記述する。() 内の数字は第1図の遺跡番号と一致する。

旧石器時代の遺跡としては、三加茂町西庄の丹田遺跡(4)でサスカイト製の国府型ナイフ形石器が採集されている。三好町土取遺跡ではサスカイト製横剥ぎナイフ形石器や宮田山型ナイフ形石器が採集されている。一野町上野遺跡(5)では角錐状石器の出土が知られている。

縄文時代の遺跡である三加茂町西庄の加茂谷川岩陰遺跡群(6)(1973年県指定史跡)は、加茂谷川沿いに5ヶ所の岩陰遺跡が知られる。1970~72年に行われた同志社大学と南九州大学の合同調査では、早期~晚期の土器・獸骨のはか海螺・汽水螺の貝殻が出土し、沿岸域との交流が窺える。三加茂平野西端の福持遺跡(7)では、晚期前半の土器とともに石鎌・磨製石斧・石鍬やその未製品が出土し、県下を代表する石器製作地である。三好町大柿遺跡(8)では中期末の土器や石器が出土し、石鍬埋納遺構が検出された。

弥生時代では、三加茂平野中西部の東原遺跡(9)で前期末の壺形土器が出土している。大柿遺跡では前期末~中期初頭の棚田が検出された。中期中葉~後期初頭には吉野川沿岸の沖積地における遺跡密度が低下するとのあわせ三野町大谷尻遺跡(10)や同町丸山遺跡(11)などの高地性集落が出現する。後期~終末期には三野町加茂野宮遺跡(12)、三好町星間遺跡群(13)・大柿遺跡・西原遺跡(14)、井川町須賀遺跡、池田町東州津遺跡など吉野川沿いの沖積地に遺跡が展開する。後期中葉の福持遺跡では、蛇紋岩製の勾玉や未製品、原石や剥片、製作に用いられた台石・叩石・砥石が出土している。三好町足代東原遺跡(15)(1984年県指定史跡)では終末期の積石墓群を検出し、前方後円形を呈する1号墓を中心とした35基以上の円形積石墓によって構成される。

古墳時代には本地域でも多くの古墳が築かれるようになる。三加茂町丹田古墳(16)は標高320mの加茂山尾根先端部に位置する全長35m、東西主軸の前方後円(方)墳で、結晶片岩を積み上げた積石塚である。後円部中央に全長4.51m、高さ1.3mの竪穴式石室をもつ。1962年・1968年の調査で、舶載の獸形鏡1、鉄劍2、袋状鉄斧などが出土し、1977年国史跡に指定されている。中期以降の古墳は、三加茂町域では岩神古墳(17)や天神塚古墳(18)などかつては46基もの古墳が存在したが、現在ではその多くが消滅している。中庄八幡神社古墳群(19)に属する秀盛塚古墳(20)(町指定史跡)は横穴式石室をもつとされるが、2006年に行われた町教育委員会の調査では、墳頂部で大型の礫が検出されたものの石室プランを確認するに至らない。

古代では、奈良県飛鳥池遺跡や德島県敷地遺跡の出土木簡に「三間評」「三間」とあり、大宝令施行前に遡る行政組織の存在を示す。天平七~八年(735~736)頃の平城京二条大路跡出土木簡に「阿波国美馬郡三野郷」など三野郷の郷名がみえる。天平勝宝四年(752)の『東寺要録』卷六には東大寺封戸として「美馬郡御津郷五十戸」とある。『日本三代実録』貞觀(860)年三月二日条に「割阿波國美馬郡、置三好郡」とあり、美馬郡から三好郡が分置されたとみられる。『和名類聚抄』(930年代成立)には三好郡の官郷に三絆・三津・三野の三郷があり、賀茂別當社領福田荘に関わる寛治四(1090)年の『三好郡司解状』に三津郷の四至が記載され、本遺跡を含む三加茂町域は三津郷に属すると考えられる。

7~8世紀の集落遺跡として、大柿遺跡や加茂野宮遺跡などで7世紀代の豊穴住居跡を検出し、井川町相知遺跡では掘立柱建物群を検出している。中庄東遺跡では県道出口太刀野線部分(2)や町教育委員会(3)による調査で7世紀後半の豊穴住居跡や掘立柱建物跡、8世紀代の掘立柱建物跡を検出している。古代寺院は三好町の立法廃寺、三加茂町の合藏廃寺(21)(金丸廃寺・中庄廃寺)がある。合藏廃寺はこれまで川原寺様式の複弁八葉蓮華文軒丸瓦や四重弧文軒平瓦などが出土している。2003年度の

確認調査では寺院の存在を裏付けることはできなかった。調査地南側山腹に所在する長善寺裏山鉄造遺跡（22）（通称長善寺タタラ）では、銅滓が付着した7世紀の須恵器杯が出土している。先述の『三好郡司解状』には御津郷より東大寺に仏像献上の記録がある。三加茂町毛田の三好鉱山や池田町三郷の三郷鉱山など四国山地北縁には銅鉱床が点在しており、古代から銅の採掘や鉄造が行われていた可能性はゼロではない。また三加茂平野には古代の土地区画である条里地割が今なお明瞭に残る。これは平地を一町（約108m）四方の碁盤目状に区画したもので、当地では真北から東へ約10°傾く、条里閑連地名として坊市・一ノ坪・大坪・繪坪・三反地などがのこる。

平安時代末期以降に荘園制が全国的に盛行し、本県では11世紀末～13世紀にかけて立莊が相次ぎ、荘園数は13～14世紀にピークを迎える。県内で確認できる荘園総数は72ヶ所に上る。三好郡では西園寺家領田井莊（旧三好町西部から旧池田町・旧山城町）や石清水八幡宮領三野田保（旧三好町東部）など7ヶ所の荘園がほぼ隙間なく配置している。三加茂平野には西端部に船用保（1344年初見）、加茂谷川以西に賀茂別雷社領福田莊（1090年立莊）、加茂谷川以東には金丸莊が成立している。

本遺跡が所在する金丸莊は、建久三年（1192）の「後白河法皇院序下文案」（大徳寺文書）が初見で、京都蓮華王院領とある。寛喜三年（1231）の「前権僧正成賢議状等案」（醍醐寺文書）には、真言宗醍醐寺領としてあり、時期は不明ながら領主が交代している。元亨元年（1321）には莊内に「新別名」が登場し、建武三年（1336）には「金丸西庄」とみえることから、西庄・中庄・東庄（現毛田地区）の三庄分裘认はこの時期に始まるとみられる。南北朝期には南朝方の山岳武士などに兵糧料所や恩賞として宛行されていた文書が遺るが、文書形式の不備などから、南朝支配の実体は不明である。金丸莊は室町幕府8代將軍義政の代まで醍醐寺に安堵された記録があり、形式的には15世紀後半まで同寺領であった。現在の調査地付近には公文・そうめん地（租免地）など荘園関連の地名を遺す。

三好郡の中世遺跡は、三好町大柿遺跡・上井遺跡（23）・円通寺遺跡（24）・東原遺跡（25）・池田町マチ遺跡・東州津遺跡・西州津遺跡・井川町井山上遺跡・三野町加茂野宮遺跡で聚落や墓域を確認している。上井遺跡では西村系須恵土器陶の焼成窯や物貯が検出され、香川県西村遺跡産の須恵器陶を在地で模倣生産している。円通寺遺跡は吉野川北岸に面した段丘上に立地し、13～14世紀に区画溝を伴う半町四方の屋敷地が営まれ、15世紀以降土塁と堀が構築され城館化を遂げる。三野田保の莊官または地頭の屋敷地が、在地領主化に伴い城館化したものと推測できる。

三加茂町では1984年に中庄宇立石で三加茂町立歴史民俗資料館（26）建設の際に瓦器陶等が出土している。資料館西隣の金丸八幡神社（27）には、境内を区画する「磐境」と呼ばれる結晶片岩の立石があり、近世の水田土壤を切って構築している。調査地の東に建つ中庄板碑は、阿弥陀三尊種子と貞治二年（北朝年号、1363）、長賢などの銘を刻む。経塚は西庄の丹田経塚（35）・虚空地蔵庵経塚（36）、加茂の中村経塚（37）・西原経塚（38）、毛田の十輪寺経塚などが知られる。

中庄東遺跡では県道出口太刀野線調査部分で本報告が完了している。成果として鏡像の出土がある。鏡面に天台法華特有の印相を結ぶ釈迦如来を蹴彫りで描いた鏡像が1点、聚石土坑から廃棄された状態で出土している。12世紀末に釈迦如来が描かれ、13世紀前葉に廃棄されたとみられる事から、領主の交代と鏡像の廃棄に関連性が窺われる。また一町四方とみられる方形区画屋敷地の一部を調査した。当地は城の内という字名とあわせ、方形区画が明瞭であるため戦国期の中庄型に比定されているが、調査の結果13～14世紀を主体とすることが判明した。

近隣の中世城館としては、三加茂平野東端の尾根先端部に山口城跡（29）があり、天文九年（1581）

の長宗我部氏侵攻により落城したとの伝承をもつ。三加茂平野西端には鴨城跡（32）、井川町辻には野津後城跡（33）、三好町東端部には足代城跡（34）の存在が知られる。加茂谷川の上流、標高1,260mの山頂に立地する金丸城跡には郭や堀切が明瞭に遺る。三好町の東山城跡は標高403mの山頂に築かれた山城で、大規模な堀切をもつ。三好長慶生誕地とされる三野町の芝生城跡は、芝生宇殿屋敷の段丘先端部が平地居館の比定地とされている。加茂地区東部には方形の平地居館である加藤氏居館跡（31）があり、明瞭な区画が遺る。

天正十三年（1585）、蜂須賀家政入部後、領國統治と領内警備のため阿波九城が整備された。郡内には池田町の大西城（池田城）が置かれた。当城は寛永一五年（1638）に一国・城令によって廃城となつたが、城下は廃城後も地域の経済拠点としての地位を保ち続けた。阿波九城の中間地点にある8ヶ所の真言宗寺院が、旅人保護と治安維持を目的とした駅路寺に指定され、郡内では三加茂町の長善寺と池田町の青色寺が充てられた。官道として阿波五街道が整備され、吉野川南岸には伊予街道（伊予往還）が、北岸には撫養街道（川北木道）が通る。

三加茂平野では近世以降活発な新田開発が行われた。農業用水確保のため金川用水をはじめとして西庄池や金川池が築造されたが、水利問題は1963年の一好南岸用水開通をもって最終的解決に至る。

絵図や文書、現在の集落位置から、近世には集落域が山麓や段丘上に移動するとみられる。これは本遺跡において近世以降の遺構や遺物が乏しいことからも裏付けられる。この移動の背景には、平地の耕作地化、水害被害からの避退、山地利用の活発化などがあると推測できる。古代から中世にかけて集落として栄えた本遺跡は、近世以降現在に至るまで居住域としての利用は低調であったといえる。

〈参考文献〉

- 氏家敏之他 2005『四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告31 人柿遺跡Ⅲ』（財）徳島県埋蔵文化財センター
- 大北和美他 2001『四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告19 上井遺跡』（財）徳島県埋蔵文化財センター
- 岡本和彦 2005『中庄東遺跡 医療法人恵済会四国共立病院建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』三加茂町教育委員会
- 幸泉満夫他 2005『中庄東遺跡 緊急地方道路整備事業一県道出口太刀野線一に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』（財）徳島県埋蔵文化財センター
- 島田豊 彰 2007『中世遺跡から見た物と人の動き』『アワコウコ楽連続講座 行き交う物と人-吉野川の古代と中世-』（財）徳島県埋蔵文化財センター
- 2008『吉野川流域における中世集落の様相』『真朱』第7号 （財）徳島県埋蔵文化財センター
- 菅原康夫 1988『日本の古代遺跡37 徳島』 保育社
- 田川 憲他 2005『四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告30 相知遺跡』（財）徳島県埋蔵文化財センター
- 辻 佳伸他 2000『四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告15 円通寺遺跡』（財）徳島県埋蔵文化財センター
- 辻 住伸 2006『阿波の中世城館』『アワコウコ楽連続講座 中世の阿波』（財）徳島県埋蔵文化財センター
- 三加茂町史編集委員会 2006『三加茂町史 復刻版』
- 三好昭一郎他2002『徳島県の地名』日本歴史地名人系37 平凡社

第Ⅱ章 調査の経緯

1. 調査に至る経緯

徳島県北部を東流し紀伊水道に注ぐ吉野川は、愛媛・高知県境の瓶ヶ森に端を発する延長194km、流域面積3,750km²の一級河川である。一名を四国三郎といい、坂東太郎（利根川）・筑紫次郎（筑後川）と並び日本三大暴れ川と称される。河川の洪水流量を示す基本高水のピーク流量（岩津基準地点）は24,000m³/秒と国内河川の中でも最大値を示す。古来より洪水を繰り返し、藩政期には藩や流域住民により築堤や水防竹林の整備、高石垣の屋敷作りなどが進められてきた。

明治44年からは政府直轄による吉野川第1期改修工事が開始され、吉野川本流（旧別宮川）河口から岩津までの間が堤防で固定された。また昭和24年からは第2期改修工事が実施され、岩津から池田までの間の堤防工事が進捗した。しかし吉野川上流の美馬から池田の間では無堤地区が点在し、吉野川の氾濫による浸水被害が頻発していた。加茂第一地区での堤防工事は、こうした無堤地区の早期解消を目指す河川整備計画の一環として計画され、昭和59年度に事業着手されたものである。

加茂第一地区堤防の事業に伴う埋蔵文化財の有無とその取り扱いについては、平成10年度に建設省四国地方建設局徳島工事事務所（現国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所、以下徳島工事事務所という）から徳島県教育委員会文化財課（以下文化財課という）に照会があった。文化財課は工事予定地が周知の埋蔵文化財包蔵地に隣接する旨を回答（h10.7.16教文課第235号）した上で当該地区的分布調査を実施し、試掘調査の必要箇所を徳島工事事務所に通知した（h10.8.5教文第485号）。これをうけて徳島工事事務所は平成10・11年度の工事予定地27,000m²について文化財課に試掘調査を依頼し（h10.8.6建四德第1491号）、文化財課が立会方式で試掘を実施する旨を回答している（h10.8.18教文第656号）。

試掘調査は、まず平成10年度工事予定地を対象に平成10年8月に文化財課が実施した。その結果、対象地西寄りの字末石で安定したシルト質の堆積土を確認し、弥生～古墳時代及び戦国期に属する土坑・柱穴・溝等の遺構が検出された。さらに用地取得の進捗に応じて、平成11年1月に実施した試掘調査でも一定の埋蔵文化財包蔵地の拡がりが確認された。一連の試掘調査の結果をうけ、平成11年2月に行われた文化財課と徳島河川国道事務所の協議では、当該工事区間で埋蔵文化財包蔵地が確認された箇所については工事着手前に発掘調査を実施し遺跡の記録保存を図ること、今後築堤工事の全体計画をにらんだ上で、新たに取得された用地については計画的に財团法人徳島県埋蔵文化財センター（以下埋蔵文化財センターという）が試掘調査を実施し、発掘調査の必要な範囲について絞り込みを行うことなどで合意した。試掘調査は平成11年度以降発掘調査と併行して実施された。一連の試掘調査から新たに2箇所の埋蔵文化財包蔵地が明らかとなったため、角の浦潜水橋西側の大字西庄字末石に所在する包蔵地を末石遺跡、潜水橋東側の大字中庄に所在する包蔵地を中庄東遺跡と呼称することとした。

発掘調査は国の委託を受けた県が埋蔵文化財センターに委託して実施することとし、平成11年度5,990m²、平成12年度3,497m²（延べ4,759m²）、平成13年度3,847m²、平成14年度21,594m²（延べ27,997m²）、平成15年度14,462m²（延べ23,624m²）と5カ年にわたり行われた。5カ年間の発掘調査面積は49,390m²（延べ66,217m²）に及ぶ。なお中庄東遺跡の発掘調査については、大規模面積の調査となったことから効率化を図るために工事請負方式を採用し、併せて測量及び実測作業の効率化を図るために空中写真撮

影図化を導入した。

2. 発掘調査および整理業務態勢

発掘調査体制（平成11～15年度）

専務理事兼所長	寒川 光明（平成11・12年度）	本淨 敏之（平成13・14・15年度）
常務理事兼局長	細川 靖夫（平成11年度）	伊丹 康裕（平成12・13年度）
次長兼総務課長	西村 和博（平成14・15年度）	
	井後 伸一（平成11年度）	高野 明（平成13年度）
	山本 高史（平成14・15年度）	
主査兼係長	福本紀美子（平成13・14年度）	坂尾 俊一（平成15年度）
調査課長	菅原 康夫（平成11～14年度）	新居 文和（平成15年度）
調査第一係長	市村 みね（平成11年度）	光山 忠幸（平成12・13年度）
	富本 輝仁（平成15年度）	
調査第二係長	新居 文和（平成13年度）	
主査兼調査係長	新居 文和（平成14年度）	
設計係長	原田 敏夫（平成14・15年度）	
調査担当 研究員	河野 啓介（平成11・13年度）	原 芳伸（平成11年度）
	佐野 耕市（平成11年度）	宮本 格（平成11年度）
	島田 豊彰（平成12・14・15年度）	松山 貢（平成12～14年度）
	深田 晃司（平成13・14年度）	木村 哲也（平成13年度）
	采 康雄（平成14・15年度）	喜多 啓二（平成14年度）
	近藤 佳人（平成14年度）	前山 繼博（平成14年度）
	井藤 良雄（平成15年度）	岩佐 正人（平成15年度）
	小川 勝幸（平成15年度）	篠原久仁子（平成15年度）
	谷口智恵子（平成15年度）	

整理業務体制（平成16～19年度）

専務理事兼所長	浦上 純二（平成16・17年度）	村山 一行（平成18年度）
	伊川 政文（平成19年度）	
常務理事兼局長	河野 幸一（平成16～18年度）	多田 升二（平成19年度）
次長兼総務課長	古田 哲郎（平成16・17年度）	一宮 一郎（平成18・19年度）
主査兼係長	坂尾 俊一（平成16・17年度）	新居 謙輔（平成18・19年度）
事業第二課長	鳥巡 賢二（平成16～19年度）	
事業第二課第一係長	貞野 雅己（平成16年度）	豊田大之介（平成17～19年度）
整理作業担当 研究員	喜多 啓二（平成16年度）	前田 隆司（平成17年度）
	島田 豊彰（平成18年度）	
主任研究員	島田 豊彰（平成19年度）	

3. 調査の経過

(1) 調査の経過

加茂第1地区堤防の事業に伴う埋蔵文化財調査は、上流側である調査地西端の末石遺跡から開始され、平成10年度に県教育委員会文化財課による試掘調査を皮切りに平成15年度にかけて行われた。各年度の調査期間や面積・担当者については、例言3項および本章1・2項を参照されたい。

調査区の設定にあたっては、調査範囲内において掘削可能な部分の調査を行った。従って撤去不可能な建物や建物基礎部分、用水、生活道路に関しては残念ながら調査をし得なかった。このことは条里区両が現在にまで踏襲されている本調査地では、調査を放棄した規道路の地下に条里などの土地区画が存在する可能性がきわめて高いことが推察される。また壁面崩落や地盤沈下等による隣接建造物への影響を考えて調査地境界から数m控え、また壁面には十分な法面を付けて掘削を行った。

調査では工程の迅速化を図るため表土や近代以降の水田土壤や盛土層などは重機掘削によってできる限り除去を行った。造構面上に堆積する遺物包含層は、人力掘削による掘り下げを行った。ただし造構埋土と造構面ベース土がほぼ同色同質で造構検出困難な地点については、さらに下位の層まで掘り下げて検出作業を行った。そのため包含層遺物の中には造構埋土の出土遺物も含まれ、一部の遺物や集石など検出面から浮き上がった状態で図化を行っている。

造構面は1面ないし2面が確認された。造構の所属時期は古代以前と中世以降に大別できるが、1面のみの調査区では双方の時代が同一造構面で検出され、2面に分かれている地点では基本的に第1造構面は中世以降、第2造構面は古代以前となる。ただし調査時に下位の造構面において上位に属する造構が検出されることがあった。整理段階においても時間的制約からこれら造構の所属面を変更することができない。この点については造構の所属時期を明記することによって対応したい。

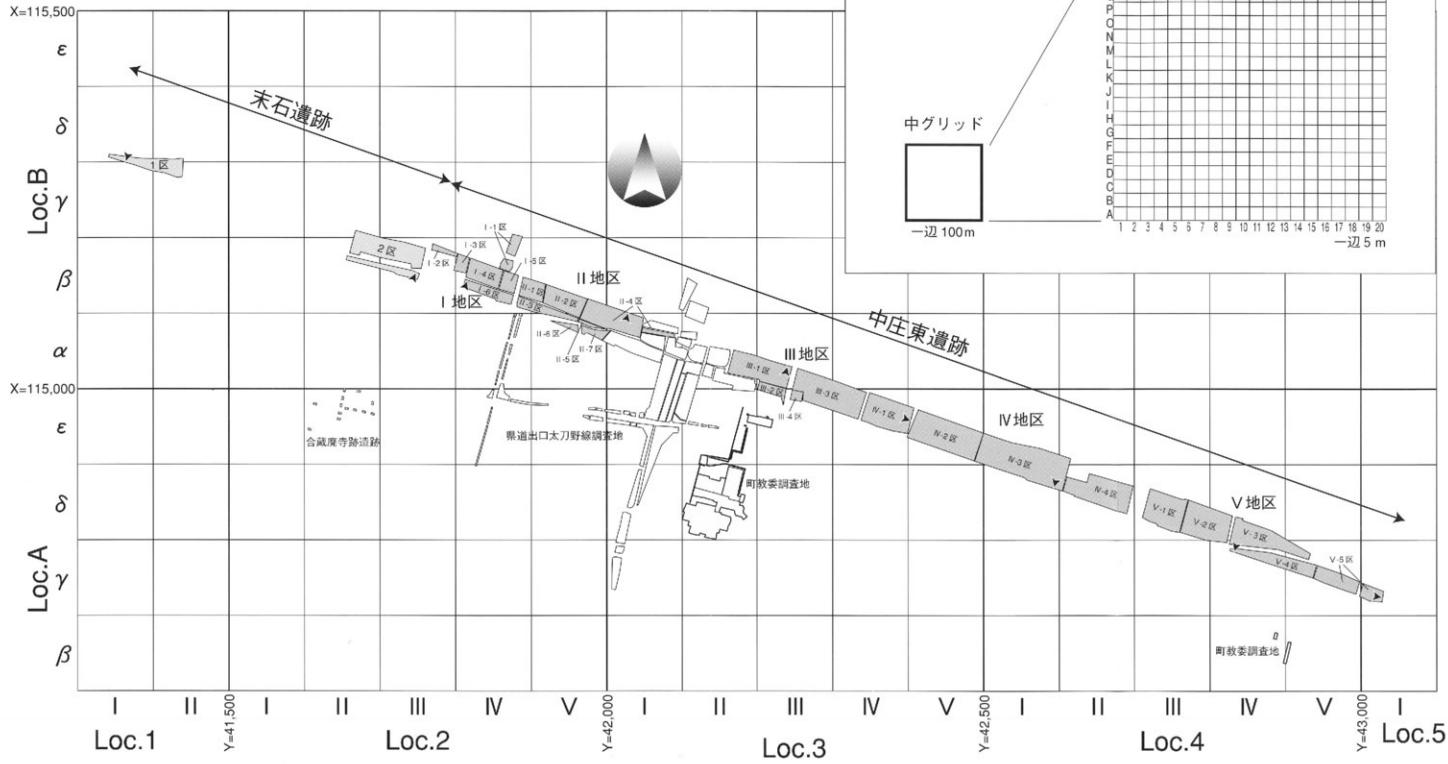
中庄東遺跡の調査においては、最終造構面の完掘後に空中写真撮影同化（航空測量）を行った。本方式の採用によって造構図作成の時間が劇的に短縮できたものの、出発空港や飛行往路が雨天や強風などの悪天候によって一度ならず中止されたことがあった。各調査区とも最終面以下の土層確認のため最終的にトレンチ調査を行い、その後旧状に復して調査を終えた。

中庄東遺跡の調査にあたっては労務管理や安全管理などを外部に委託する工事請負方式が採用され、工程の迅速化に大きく寄与した。

調査期間中、平成11年度の末石遺跡や平成12・15年度の中庄東遺跡において、現地説明会が開催され成果が公表されたほか、発掘作業体験や見学会等が行われた。（第1表参照）

年度	遺跡名	開催名称（主催）	人数	成果・行事内容等
11年度	末石遺跡	現地説明会	160名	7世紀の堅穴住居などの成果公表
12年度	中庄東遺跡	現地説明会	180名	条里造構や鏡像・屋敷地などの成果公表
13年度	中庄東遺跡	三庄小学校生徒による遺跡見学	91名	遺跡見学と作業体験
14年度	中庄東遺跡	国土交通省主催吉野川フィールド講座	約40名	住民参加見学会において遺跡の概要説明
14年度	中庄東遺跡	2002発掘とくしま開拓遺跡体験見学会	75名	遺跡見学と作業体験
15年度	中庄東遺跡	現地説明会	200名	屋敷地・鍛冶铸造遺構などの成果公表

第1表 調査期間中の現地説明会等の普及活動



第2図 調査区・グリッド配置図

▲ 本書掲載壁面土層図の位置

(2) 調査区割（第2図・第2表）

本調査における調査区総数は33調査区に上る。本調査において調査区割についてはそれぞれの調査担当者が調査区名を決定したため、統一性に欠けるものであった。このため整理にあたってこれらの調査区名をすべて振り替えることとした。末石遺跡は西から1区・2区とした。中庄東遺跡は西から順にI～V地区に大別し、それぞれの地区を構成する調査区をアラビア数字の枝番として付記し（例：III-4区）した。よって本書の構成もまず末石遺跡と中庄東遺跡に大別し、末石遺跡は1区から、中庄東遺跡はI-1区から記述を開始している。また遺構面数が2面を数える地区については、第2遺構面から記述を行っている。

遺構番号の設定についても調査担当者に一任されていたため、整理作業時には統一を図る必要があった。このため末石遺跡は1区・2区あわせて1から振り直し、中庄東遺跡については地区ごとに1から振り直した。このため同じ遺構番号が別の地区にも存在しており、調査区と遺構番号は必ずセットで表記している。ただし遺物掲載番号については遺跡ごとに1から付記している。

遺構記号についても調査担当者によって基準が異なったため、整理作業にあたっては遺構の規模や層序を確認の上、変更必要と認められる遺構については遺構記号の変更を行った。特に土坑（SK）のうち主軸が東西または南北を指向する、短軸0.5m長軸1m前後の長方形平面をもつ、埋土にベース土のブロックを含むなど土壙墓（ST）と認められるものについては変更した。

平面ポイントを示す座標に関しては、調査開始以来、各年度とも国七座標第IV系を基準として5m四方を1単位とするグリッド網を設定した。ただし、調査年度によっては基準点やグリッド番号に不統一がみられるため、今回の整理にあたりグリッドの改変を行った。まず国七座標第IV系のX=114,500.00m、Y=41,000.00mを基点として500m四方の一単位とする大グリッドを設定する。大グリッドは基点から北にLoc.A・Loc.B、東にLoc.1、Loc.2…と設定する。大グリッド内を100m四方単位に区画したものを中グリッドと呼び、大グリッドの南西隅を基点として北にα・β・γ・δ・ε、東にI・II・III・IV・Vの順で設定する。中グリッド内部を5m毎に区画

遺跡名	地区	調査区名	年度・旧調査区名
末石遺跡	I	1区	1999 2区
	I	2区	1999 1区
I地区	I-1区	2001 4区（北）（南）	
	I-2区	2001 3区	
	I-3区	2001 2区	
	I-4区	2001 1区（西）	
	I-5区	2001 1区（東）	
	I-6区	2000 10区	
II地区	II-1区	2001 5区	
	II-2区	2002 1区	
	II-3区	2000 9区	
	II-4区	2002 2区・2-2区	
	II-5区	2000 7区	
	II-6区	2000 8区	
	II-7区	2000 6区	
III地区	III-1区	2002 3区	
	III-2区	2000 2区	
	III-3区	2002 4区	
	III-4区	2000 1区	
IV地区	IV-1区	2002 5区	
	IV-2区	2003 7-1区	
	IV-3区	2003 7-2区	
	IV-4区	2003 6区	
V地区	V-1区	2003 5区	
	V-2区	2003 4区	
	V-3区	2003 3区	
	V-4区	2003 2区	
	V-5区	2003 1区	

第2表 加茂堤防調査区新旧対応表

したもの小グリッドと呼び、中グリッド南西隅を基点として北に A・B～T、東に 1・2～20の順で設定した。よって例として Loc.B 3、γIV、J17グリッドと表記される。

以上のことから調査時における調査区名・遺構番号・グリッド設定のいずれも本書においては変更されていることを明記する。また本書掲載遺物は遺物ラベルに変更を記載した上で収納しているが、不掲載遺物に関してはラベルの書き換えを行っていない。また原図や写真資料等も調査区や遺構番号の訂正を行っていないことに注意されたい。

4. 調査日誌抄

1999年度末石遺跡発掘調査

- 4月19日 調査事務所設置。
4月20日 2区南側機械掘削。調査開始。
4月28日 2区南側第1遺構面遺構検出。
5月6日 2区南側第1遺構面遺構掘削。
5月14日 2区南側第1遺構面完掘状況撮影。
5月18日 1区機械掘削。
5月20日 2区北側機械掘削。
6月1日 1区第1遺構面遺構検出。
6月2日 1区第1遺構面遺構掘削。
2区北側第1遺構面遺構検出。
7月5日 2区北側第1遺構面遺構掘削。
8月2日 台風7号接近のため作業中止。
8月5日 1区・2区北側第1遺構面完掘状況撮影。
8月23日 埋戻し作業。
8月28日 現地説明会開催。弥生・古墳時代集落を中心とした成果を説明。
8月31日 現場撤収。調査終了。



写真1　末石遺跡　現地説明会

1999年度中庄東遺跡試掘調査

- 6月1日 事務所設置、物品搬入。
6月1日～7月6日 I・II地区試掘調査。
7月6日～7月15日 III地区試掘調査。
7月16日～8月9日 IV地区試掘調査。
8月9日～8月25日 V地区試掘調査。
8月27日 現場撤収。現地調査終了。

2000年度中庄東遺跡発掘調査

- 4月10日 現地協議。
4月21～26日 水利組合・木材組合・周辺挨拶。
5月1日 事務所設置。物品搬入。
5月8日 I～6区機械掘削。調査開始。
5月15日 II～3区機械掘削。
5月17日 I～6区第1包含層人力掘削。
5月25日 II～7区機械掘削。
6月2日 I～6区第1遺構面遺構検出、遺構掘削。II～3区第1包含層人力掘削。
7月11日 II～3区第1遺構面遺構検出。



写真2　実測作業

- | | | | |
|--------|---|----------|----------------------------------|
| 7月12日 | II - 7区第1包含層人力掘削。 | 12月7日 | II - 6区第1包含層人力掘削。 |
| | II - 3区第1遺構面遺構掘削。 | 12月9日 | II - 7区第1遺構面遺構檢出。 |
| 7月19日 | II - 7区第1遺構面遺構檢出。 | 12月13日 | II - 6区第1遺構面遺構檢出。 |
| 8月1日 | II - 7区第1遺構面完掘狀況撮影。 | 12月15日 | II - 7区第1遺構面遺構掘削。 |
| 8月3日 | II - 7区第2包含層人力掘削。 | 12月19日 | II - 6区第1遺構面遺構掘削。 |
| 8月5日 | II - 7区第2遺構面遺構檢出。 | 12月22日 | II - 7区第1遺構面完掘狀況撮影。 |
| 8月7日 | II - 7区第2遺構面遺構掘削。 | 12月26日 | III - 2・4区埋戻し。 |
| 8月11日 | III - 2区機械掘削。 | 1月15・16日 | 風雪のため作業中止。 |
| 8月30日 | III - 2区第1包含層人力掘削。 | 2月2日 | II - 7区第2包含層人力掘削。 |
| 9月20日 | I - 6・II - 3区第1遺構面・II - 7区第2遺構面空撮・完掘狀況撮影。 | 2月9日 | II - 7区第2遺構面遺構檢出。 |
| 9月25日 | III - 4区機械掘削。 | 2月20日 | II - 7区第2遺構面遺構掘削。 |
| 9月26日 | III - 2区第1面遺構檢出・遺構掘削。 | 2月27日 | II - 6区第1遺構面・II - 7区第2遺構面完掘狀況撮影。 |
| 10月10日 | III - 4区第1包含層人力掘削。 | 3月2日 | II - 6区第1遺構面・II - 7区第2遺構面空撮。 |
| 10月11日 | I - 6・II - 3・7区埋戻し。 | 3月10日 | 現地説明会開催。古代条里と中世屋敷地・鏡像を中心成績説明。 |
| 10月13日 | III - 4区第1遺構面遺構檢出。 | 3月16日 | II - 6・7区埋戻し。 |
| | III - 2区第1遺構面完掘狀況撮影。 | 3月23日 | 現場撤収。現地調査終了。 |
| 10月14日 | III - 4区第1遺構面遺構掘削。 | | |
| | III - 2区第2包含層人力掘削。 | | |
| 10月19日 | III - 4区第1遺構面完掘狀況撮影。 | | |
| 10月26日 | III - 2区第2遺構面檢出・遺構掘削。 | | |
| 11月7日 | II - 6・7区機械掘削。 | | |
| 11月9日 | III - 4区第2包含層人力掘削。 | | |
| 11月13日 | III - 2・4区第2遺構面遺構檢出。 | | |
| 11月18日 | III - 2・4区第2遺構面遺構掘削。 | | |
| 11月30日 | III - 2・4区第2遺構面空撮・完掘狀況撮影。 | | |
| 12月5日 | II - 7区第1包含層人力掘削。 | | |



写真3 遺構掘削作業



写真4 2001年度中庄東遺跡 小学生見学

6月1日 I-1区第1遺構面遺構検出。
 6月4日 I-1区第1遺構面遺構掘削。
 6月15日 I-5区第1包含層人力掘削。
 6月26日 I-5区第1遺構面遺構検出。
 三庄小学校・菅生小学校遺跡見学。
 6月27日 I-5区第1遺構面遺構掘削。
 7月25日 I-3区機械掘削。
 7月26日 I-4区第1遺構面遺構検出。
 7月27日 I-4区第1遺構面遺構掘削。
 7月31日 I-2区機械掘削。
 8月2日 II-1区機械掘削。
 8月7日 I-2・3区第1包含層人力掘削。
 8月20・21日 台風11号接近のため作業中止。
 8月22日 II-1区第1包含層人力掘削。
 7月11日 I-1・5区第1遺構面空撮、完掘状況撮影。
 7月17日 I-4区第1包含層人力掘削。
 7月19日 I-1区埋戻し。
 8月23日 I-2・3区第1遺構面遺構検出。
 8月27日 I-2・3区第1遺構面遺構掘削。
 8月28日 II-1区第1遺構面遺構検出。
 8月29日 II-1区第1遺構面遺構掘削。
 9月14日 I-2～5・II-1区第1遺構面完掘状況撮影。
 9月18日 I-2～5・II-1区第1面空撮。
 9月25日 I-2～5・II-1区埋戻し。
 9月28日 現場撤収。調査終了。

2001年度中庄東遺跡試掘調査（1）

5月28・29日 V-5地区東約100m地点試掘。

2001年度中庄東遺跡試掘調査（2）

1月7日 事務所設置。物品搬入。
 1月8～17日 III・IV地区試掘調査。
 1月17～23日 V地区試掘調査。
 1月24日～2月5日 V地区から東の試掘調査。
 2月25日 撤収作業。現地調査終了。

2002年度中庄東遺跡発掘調査

4月11・15・19日 現地確認。
 5月1日 事務所設置。物品搬入。
 5月9日 II-2区機械掘削。調査開始。
 5月20日 II-2区第1包含層人力掘削。
 5月29日 II-4区機械掘削。
 5月30日 II-2区第1遺構面遺構検出。
 5月31日 II-2区第1遺構面遺構掘削。
 6月18日 II-4区第1包含層人力掘削。
 6月21日 II-2区第1遺構面空撮・完掘撮影。
 7月2日 II-2区豪雨により冠水。
 7月4日 II-4区第1遺構面遺構検出。
 II-2区埋戻し。
 7月9・10日 台風6号接近のため作業中止。
 7月15日 台風7号接近のため作業中止。
 7月23日 II-4区第1遺構面完掘状況撮影。
 7月25日 台風9号接近のため作業中止。
 7月26日 II-4区第2包含層人力掘削。



写真5 包含層人力掘削作業



写真6 豪雨による調査区水没

- 8月20日 II-4区第2遺構面遺構検出。
- 8月21日 II-4区第2遺構面遺構掘削。
- 8月23日 速報展開行事、発掘体験を開催。
II-4区にて第2面検出作業を体験。
- 9月3日 III-1区機械掘削。
- 9月13日 II-4区第2遺構面空撮、完掘撮影。
- 9月18日 III-1区第1包含層人力掘削。
- 9月19日 III-3区周辺挨拶。
- 9月21日 III-3区機械掘削。
- 9月25日 II-4区埋戻し。
- 10月4日 III-1区第1遺構面遺構検出。
- 10月7日 III-1区第1遺構面遺構掘削。
- 10月17日 III-1区第1遺構面完掘状況撮影。
III-3区第1包含層人力掘削。
- 10月23日 III-3区第1遺構面遺構検出。
- 10月24日 III-3区第1遺構面遺構掘削。
- 10月28日 III-1区第2包含層人力掘削。
- 11月14日 III-3区第1遺構面完掘状況撮影。
- 11月28日 III-1区第2遺構面遺構検出。
- 11月29日 III-1区第2遺構面遺構掘削。
- 11月30日 吉野川フィールド講座（国土交通省主催）にて、III地区を中心に現地説明。
- 12月13日 III-1区第2遺構面完掘状況撮影。
- 12月16日 III-3区第2包含層人力掘削。
- 12月18日 III-1区第2遺構面空撮。
- 1月8日 III-1区埋戻し。
- 2月1日 III-3区第2遺構面遺構検出。
- 2月4日 III-3区第2遺構面遺構掘削。
- 2月21日 III-3区第2遺構面空撮、完掘撮影。
- 2月26日 III-3区埋戻し。
- 2月28日 IV-1区第1包含層人力掘削。
- 3月4日 IV-1区第1遺構面遺構検出、掘削。
- 3月10日 IV-1区第1面空撮、完掘状況撮影。
- 3月17日 IV-1区埋戻し。
- 3月18日 現場撤収。現地調査終了。

2003年度中庄東遺跡調査

- 4月21~25日 現地確認・協議、周辺挨拶。
- 5月12日 事務所設置、物品搬入。
- 5月16日 IV-4区確認トレチ掘削。調査開始。
- 5月20日 IV-3区確認トレチ掘削。
- 5月22日 V-1区確認トレチ掘削。
- 5月23日 V-3区確認トレチ掘削。
IV-3区機械掘削。
- 6月12日 IV-3区第1包含層人力掘削。
- 6月16日 IV-2区機械掘削。V-2区確認トレチ掘削。
- 6月19日 V-3区確認トレチ掘削。
- 6月20日 IV-3区第1遺構面(上位)遺構掘削。
- 6月30日 V-4区確認トレチ掘削。
- 7月2日 V-5区確認トレチ掘削。
- 7月4日 IV-2区第1遺構面(上位)遺構掘削。
- 7月7日 IV-3区第1遺構面遺構検出。
- 7月9日 IV-3区第1遺構面遺構掘削。
- 7月11日 IV-4区機械掘削。



写真7 2002年度中庄東遺跡 発掘体験



写真8 2002年度中庄東遺跡 吉野川フィールド講座

- 7月26日 IV-3区第1遺構面空撮、完掘撮影。
- 8月8日 台風10号接近のため作業中止。
- 8月20日 V-1区機械掘削。
- 8月21日 IV-3区埋戻し。
- 8月25日 IV-4区第1包含層人力掘削。
IV-2区第1遺構面遺構掘削。
- 8月26日 V-1区機械掘削。
- 9月5日 V-2区機械掘削。
- 9月6日 IV-2区第1遺構面空撮、完掘撮影。
- 9月9日 V-1区第1遺構面遺構検出、掘削。
- 9月18日 V-1区第1遺構面完掘状況撮影。
- 9月26日 V-2区第1包含層人力掘削。
IV-4区第1遺構面遺構検出。
- 9月29日 IV-4区第1遺構面遺構掘削。
- 10月7日 V-1区第2包含層人力掘削。
- 10月14日 京都橘女子大学五十川伸矢教授来場。
鍛冶・鋳造関連遺物・遺構実見。
- 10月15日 IV-3区機械掘削。
- 10月17日 V-1区第2遺構面遺構検出、掘削。
- 11月4日 V-4区機械掘削。
- 11月5日 V-1区第2遺構面・IV-4区第1遺構面空撮、完掘状況撮影。
- 11月8日 現地説明会開催。IV-2区中世屋敷地、IV-3区鋳造関連遺構、V-1区鍛冶関連遺構を中心に成果を説明。
- 11月17日 V-5区機械掘削。
- 11月18日 V-2区第1遺構面遺構検出、掘削。
- 11月22日 V-2区第1遺構面遺構掘削。
- 11月26日 V-3区第1遺構面遺構検出。
IV-4区埋戻し。
- 11月27日 IV-3区第1遺構面遺構掘削。
- 12月4日 IV-3区第2包含層人力掘削。
V-2区第1遺構面完掘状況撮影。
- 12月15日 V-3区第2遺構面遺構検出、掘削。
- 12月16日 V-2区第2包含層人力掘削。
- 12月20日 V-1区出土スラグを和銅博物館に分析持込み。
- 12月24日 V-3区第2遺構面空撮、完掘撮影。
- 1月8日 V-1区埋戻し。
- 1月9日 V-2区第2遺構面遺構検出。
- 1月12日 V-2区第2遺構面遺構掘削。
- 1月15日 V-4区第1包含層人力掘削。
- 1月22・23日 積雪により作業中止。
- 1月27日 V-3区埋戻し。
V-2区第2遺構面完掘状況撮影。
- 1月28日 V-2区第2遺構面空撮。
- 1月31日 V-4区第1遺構面遺構検出。
- 2月5・6日 積雪により作業中止。
- 2月9日 V-4区第1遺構面完掘状況撮影。
- 2月10日 V-5区第1包含層人力掘削。
- 2月16日 V-2区埋戻し。
- 2月18日 V-5区第1遺構面遺構検出。
- 2月20日 V-5区第1遺構面遺構掘削。
- 2月25日 V-4区第2遺構面遺構検出。
- 2月26日 V-4区第2遺構面遺構掘削。
- 3月2日 V-5区第1遺構面、V-4区第2遺構面空撮、完掘状況撮影。
- 3月9日 V-4・5区埋戻し。
- 3月19日 現場撤収。調査終了。



写真9 2003年度中庄東遺跡 現地説明会

第Ⅲ章 末石遺跡の調査成果

1. 基本層序 (第3・4図)

末石・中庄東の両遺跡は、三加茂平野の北東端で東西1.8kmにわたって調査を行った。両遺跡とも一連の遺跡であることから、本項で共通する項目についてまとめて記述し、細部はそれぞれの遺跡ごとに分けて述べる。

現地盤の標高は調査地西端部に位置する末石遺跡1区で約67.5m、末石遺跡2区は66.7mで、比高差80cmにも達する。中庄東遺跡のI地区では66.3mで、III地区までは大きく変化しない。IV地区では65.8m、V-4区では65.5m、調査地東端部のV-5区では65.2mまで低下し、末石遺跡1区との比高差は2.3mに及ぶ。これは第I章でも触れたとおり、末石遺跡～中庄東遺跡I地区西側までは加茂谷川扇状地の扇端部に位置し、II地区以東は扇端部北東に端を発して東に延びる自然堤防上に立地することによる。自然堤防は東に向けて標高を下げるばかりでなく、調査地も徐々に自然堤防の中心から北に外れたことによりIII地区～IV地区的北端やV地区の北東端で急激な落ち込みを検出することになった。

末石遺跡では遺構面を1面のみ検出した。第1遺構面は、1区では標高67.3m付近、2区では66.0m付近に形成される。遺構面のベース土は黄褐色2.5Y 5/4～オリーブ褐色2.5Y 4/3の砂質土である。遺構埋土はやや暗色を呈する暗灰黄色2.5Y 5/2～4/2や暗褐色10YR 3/4、やや赤色が強いにぶい黄褐色10YR 5/4～褐色10YR 4/4が多く、土質は砂質土が大半である。地点によっては遺構の判別が難しい地点があり、その場合は若干の掘り下げを行った。また1区は搅乱が多く、調査および整理作業に少なからず支障を來した。

遺構面直上には包含層が乗る。1区では遺構面までの土厚が20cm程度と薄く、したがって耕作土直下の床土層（暗灰黄色2.5Y 4/2砂質土）が第1包含層となった。2区ではオリーブ褐色2.5Y 4/3砂質土層が第1包含層である。遺構面以下の層位は、1区ではオリーブ褐色2.5Y 4/4～4/3砂質土、2区では黄褐色2.5Y 5/4砂質土で、扇状地の押し出しによる砂礫層は確認していない。2区の南200m付近で行われた合蔵廃寺跡遺跡の調査では、標高67～68mで砂礫層を検出し、一部で弥生土器を包含する。

2. 遺構と遺物

〈第1遺構面〉(第5図)

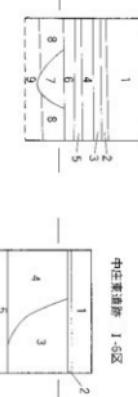
末石遺跡第1遺構面の1区ではSA1棟、SG1基、SB5棟、SK51基、ST10基、SD8条、SX4基、SP448基の計528基が検出された。2区ではSK30基、ST62基、SP58基、SR1条の151基が検出され、遺構総数は679基である。1区は標高67.0m前後の微高地で、弥生時代・古墳時代の堅穴住居や、古代以降の柱穴が多数検出されたことから各時代において居住域として利用されたとみられる。2区は標高65～66mであり1区に比べて1m以上低い。柱穴や土坑などが少なく土礎基が目立つことから、居住域としての利用が低調で主に墓域として利用されていたと考えられる。本遺跡は遺構面から現地盤までの堆積層が薄く、近現代の搅乱や遺構面の削平が随所にみられることから、遺構の判別や掘削に困難を作った。

末石道路 1区

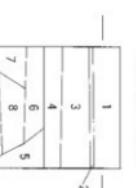


末石道路 2区

中庄東道路 1-5区



中庄東道路 1-4区



中庄東道路 5区



中庄東道路 1区

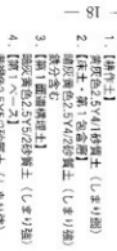


中庄東道路 2区

末石道路 2区



末石道路 1区



末石道路 1区



末石道路 2区



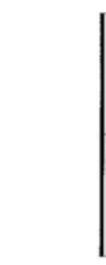
末石道路 1区



中庄東道路 1区

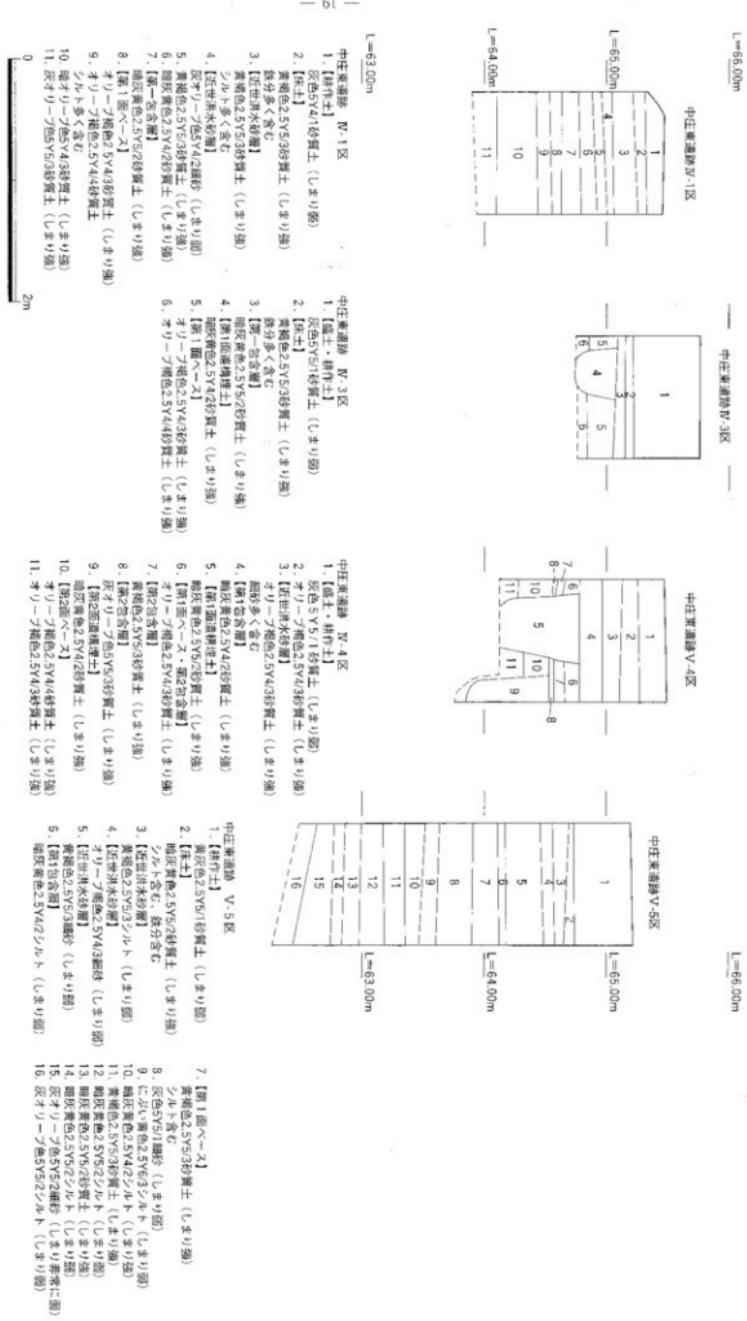


2区

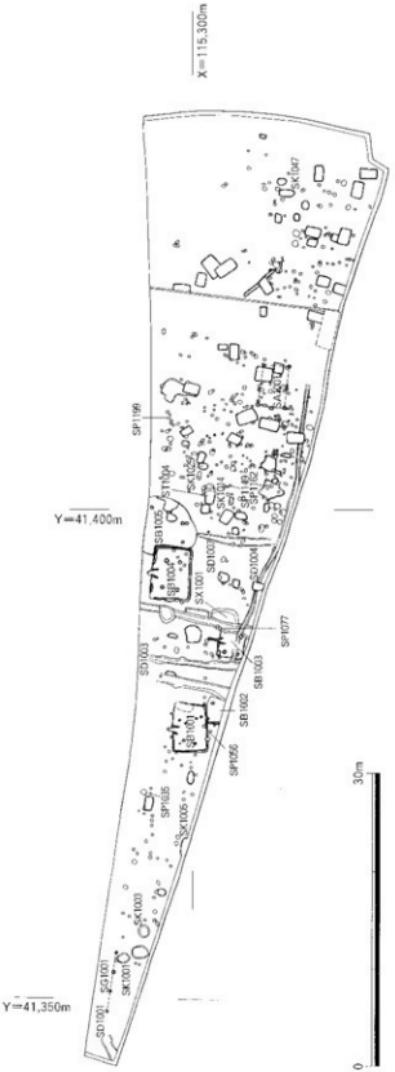


3区

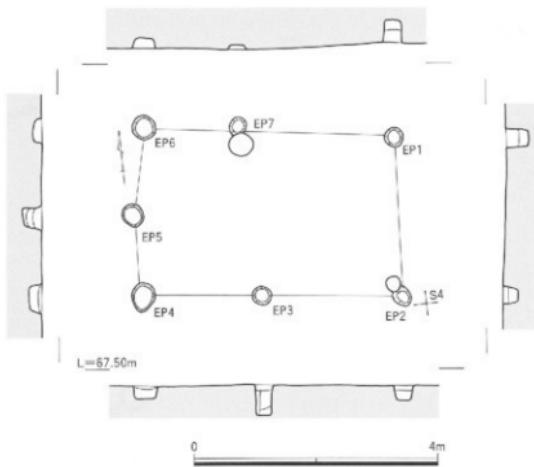
第3図 調査区土層堆積状況図（1）



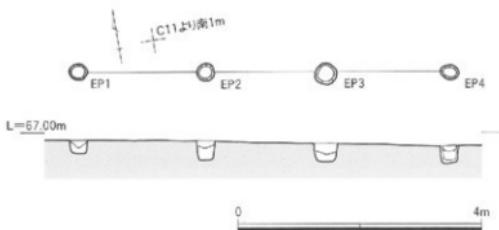
第4図 調査区土層堆積状況図（2）



卷之三



第6図 SA1001遺構実測図

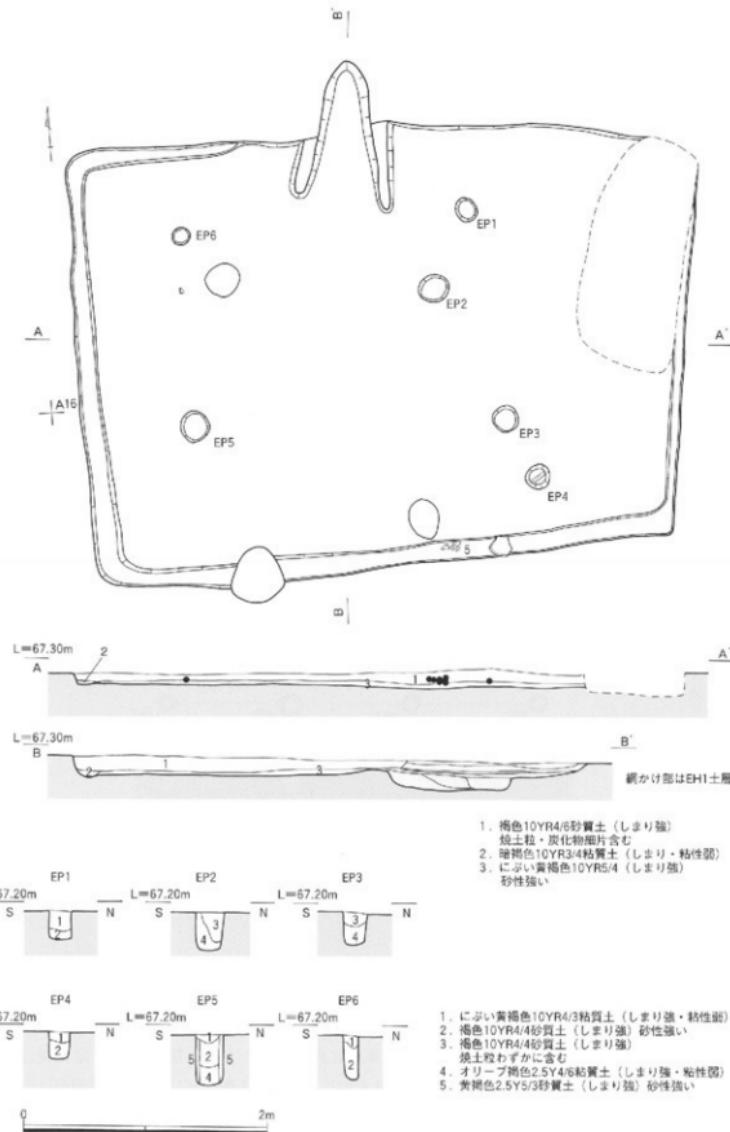


第7図 SG1001遺構実測図

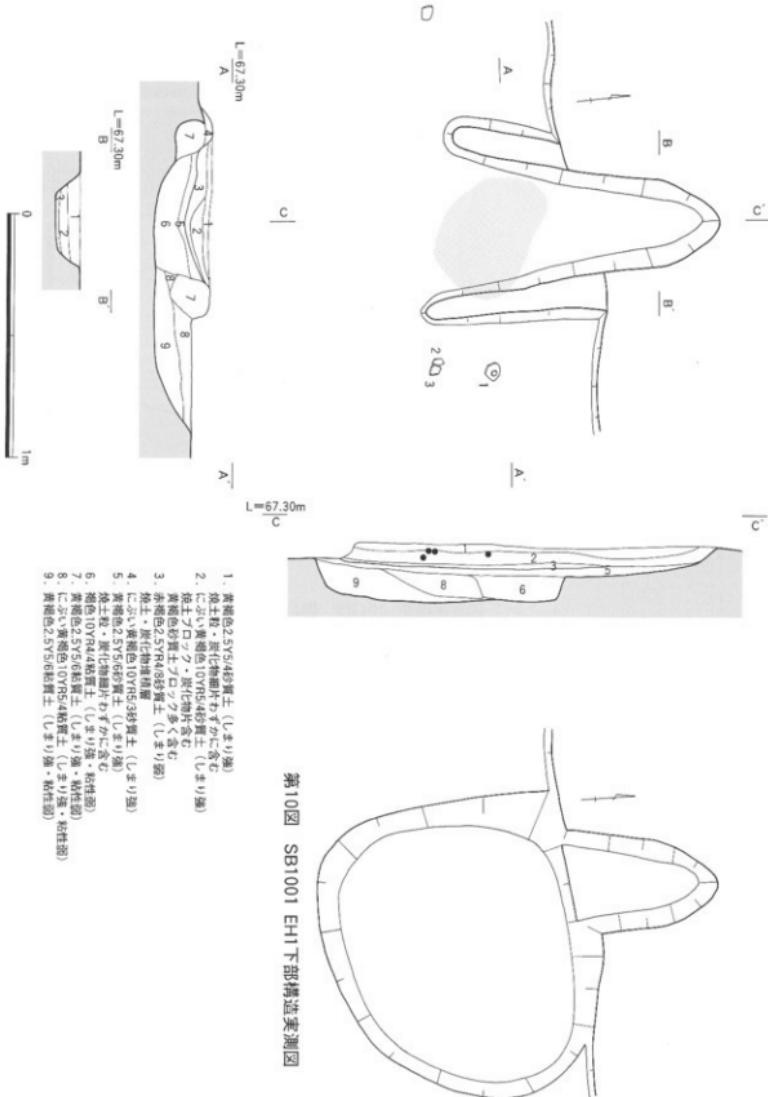
1区

掘立柱建物1号（1区 SA1001）（第6図）

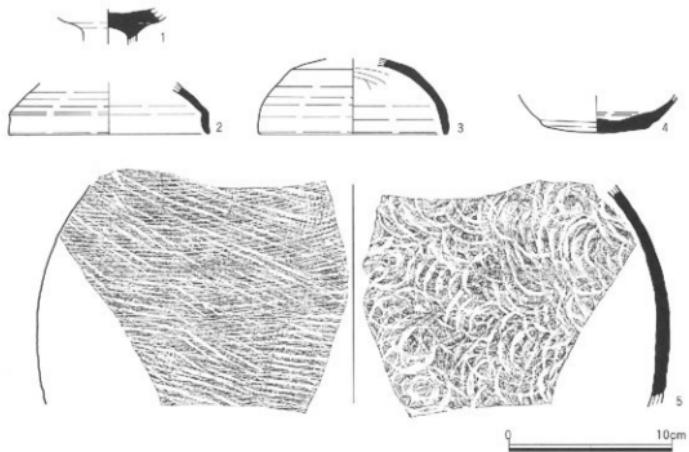
1区中央部東寄り、S3グリッドに位置する。東西2間（4.1m）南北2間（2.8m）床面積11.5m²、7基の柱穴をもつ掘立柱建物で、建物主軸はN83°Wを向く。柱穴は7基検出し、柱穴の平面形は円形で、径30~48cm深度6~50cmを測る。遺物はEP5より土師器片・須恵器片が出土。出土遺物から古代に属する建物と考えられる。



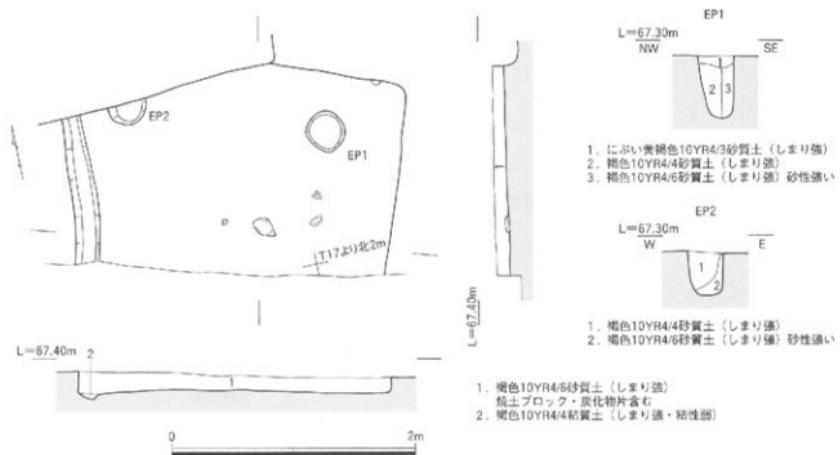
第8図 SB1001遺構実測図



第10図 SB1001 EH1下部構造実測図



第11図 SB1001遺物実測図



第12図 SB1002遺構実測図

柵列1号（1区 SG1001）（第7図）

1区西端部、B10・11グリッドに位置する。東西3間(6.0m)、4基の柱穴が一の字形に列ぶ柵列で、主軸はN81°Wを向く。柱穴は円形を呈し、径30~38cm深度22~32cmを測る。出土遺物は皆無である。

竪穴住居1号（1区 SB1001）（第8~11図）

1区中央部西寄り、T・A16・17グリッドに位置する。東西長500cm南北長420cm深度16cm床面積約18.5m²、主軸はN3°Eを測る長方形プランの竪穴住居である。SB1002を切って構築している。断面は逆台形状で、底面は概ね平坦である。遺構内遺構の埋土を除いた住居内埋土は2層で、床面直上の褐色砂質土層は住居廃絶後の被覆土である。床面直下の黄褐色砂質土層はしまりが強いことから貼床とみられる。

遺構北壁中央やや西寄りに竈(EH1)を付設する。全長124cm、袖部長74cm幅86cm残存高6cm、焚口部幅76cm、焚口一奥壁間65cm、燃焼部最大幅45cm、煙道部長50cm幅40cm深度11cm、下部構造は不整円形で幅126cm奥行き116cm深度15cmを測り、N6°Eの主軸をもつ。燃焼部に支脚はみられない。燃焼部から焚口までの間に焼土層が拡がり、竈前面の50cm四方に炭化物が集中する。竈上層の第1・2層は竈焼棄後の覆土、赤褐色を呈する第3層が焼土や炭化物を多量に含む焼土層、第4層上面が燃焼部となる。第8・9層は砂性の強いいぶい黄褐色砂質土層で袖部土層である。第4~7層竈下部構造埋土である。

EPとして検出されたものは6基あり、径12~24cm深度22~42cmを測る。EP1・3・5・6の4基が主柱穴とみられる位置にある。住居北辺の一部を除いて幅0.2m、深度0.1mの周壁溝を検出した。

遺物は弥生土器片、土師器片(古墳)、須恵器片・杯・高杯・蓋・壺、土師質土器片が出土。竈東側の床面直上から1が、覆土出土遺物は2~5である。また覆土上出土物に中世の土師質土器皿や羽釜脚部がみられるが、いずれも混入。竈からの出土遺物はない。

1は須恵器高杯。頸径4.0cmの小型品である。2・3は須恵器蓋である。住居検出面で出土。2は口縁部と天井部との境で強く屈曲するタイプであり、3は丸みをおびたドーム形に作るタイプ。いずれも焼成不良。4は底部が不安定なもの須恵器杯とみられる。体部と底部の境に明瞭な段がみられる。5は須恵器壺の体部で、外面に平行タタキのちカキメ、内面に同心円状當て具痕を残す。焼成良好。出土遺物から7世紀後半頃とみられる。

竪穴住居2号（1区 SB1002）（第12図）

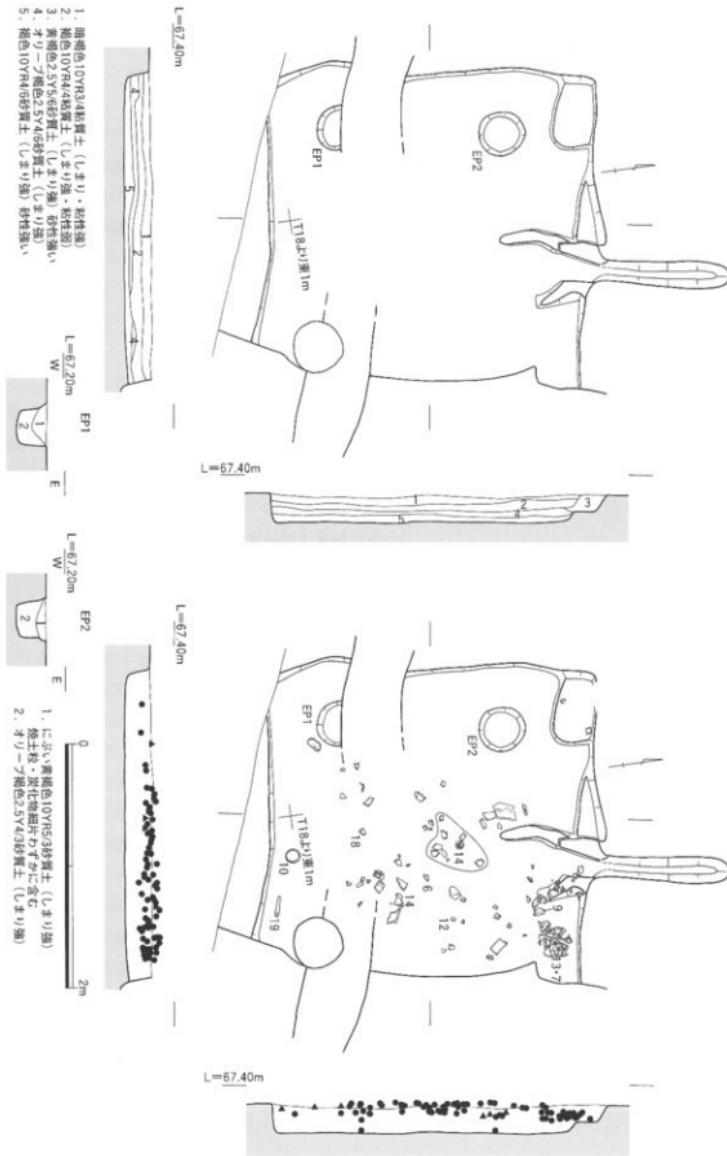
1区中央部西寄り、T16・17グリッドに位置し、北西をSB1001によって切られ南半部は調査区外に延びる。東西長260cm南北残存長176cm深度18cm測り、主軸はN19°Eを向く、平面方形の竪穴住居。断面は方形で、底面は概ね平坦。遺構内遺構を除いた住居内埋土は褐色砂質土層1層である。

EPは2基検出され、径30cm深度36~50cmを測る。位置や規模から主柱穴とみられる。竈は未検出で、灼跡を示す焼土面や炭化物も確認されていない。周壁溝は幅約20cmで、住居西側のみ検出された。

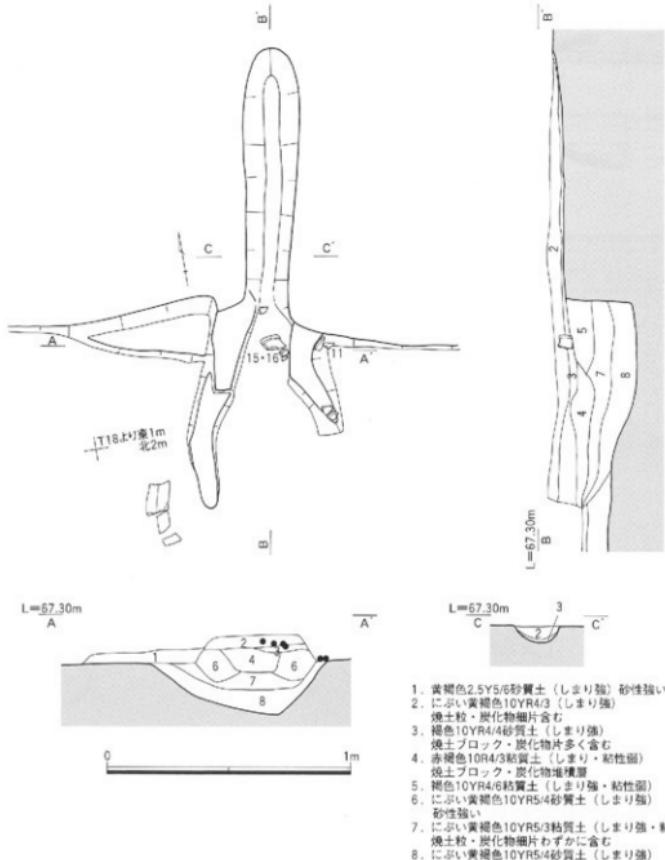
床面直上・覆土から砂岩・片岩の自然礫が数点出土。土師器は細片のため図化し得なかった。

竪穴住居3号（1区 SB1003）（第13~15図）

1区中央部、S・T17・18グリッドに位置する。南北長372cm東西残存長252cm深度22cmを測る、平面方形の竪穴住居。遺構南側と東側を中世の溝SD1004・1005が切る。断面は逆台形状で、底面は概ね平



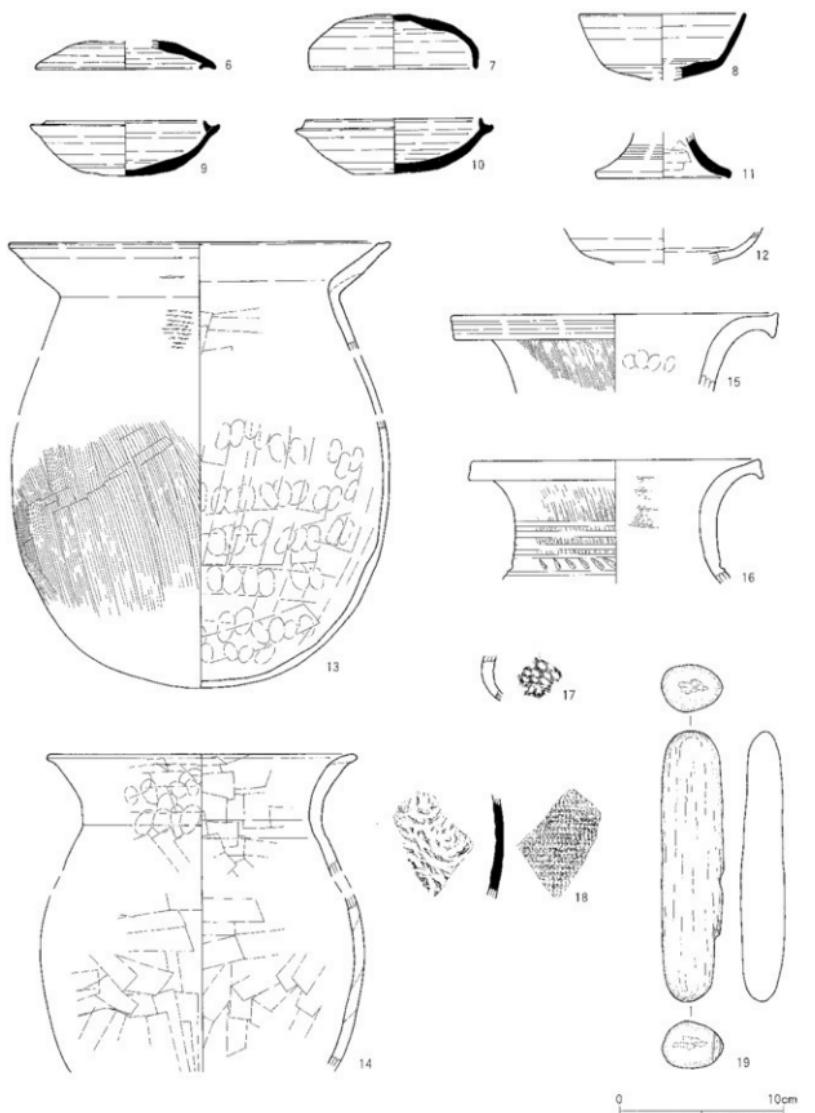
第13図 SB1003遺構・遺物出土実測図



第14図 SB1003 EH1造構実測図

坦である。造構内造構を除く住居埋土は6層で、第6層上面が床面とみられる。第6層はしまりが強い褐色砂質土で、貼床と考えられる。

造構北辺に竈(EH1)を付設。全長188cm、袖部長82cm幅65cm残存高10cm、焚口部幅56cm、焚口一奥壁間81cm、煙道部全長106cm幅23cm深度7cm測り、N11°Eの主軸をもつ。下部構造は東西約70cm深度21cmを測るもの、平面形は不明。支脚は検出されていない。竈土層の第1・2層は窯内覆土、第3層は炭化物や焼土ブロックを多量に含む赤褐色粘質土層。第5層上面が燃焼部となる。第4層が袖部、第5・6層が下部構造埋土。



第15図 SB1003遺物実測図

EPは住居西側で2基検出し、径36cm深度24~26cm。いずれも位置や規模から主柱穴とみられる。

遺物は弥生土器片・壺・土師器片・杯・甕・須恵器片・杯・高杯・蓋・甕・土師質土器片・鉄製品片・結晶片岩製叩石が出土。床面直上および竈の内外から遺存状態が比較的良好な土器が出土。床面直上出土遺物は6~8、10~12、18・19である。9・14~16は覆土出土遺物で、15~17の弥生土器は混入。

6・7は須恵器蓋。6は中央部床面直上から出土。口縁内側に受け部を有する。7は北側床面直上から出土。口縁部がやや内傾し天井部外縁の回転ヘラケズリ範囲は狭い。胎土に結晶片岩を含む。8~10は須恵器杯。8は中央部床面直上から出土。底部は厚く水平ではない。体部が直線的にのびる。9は竈東側の覆土、10は南側床面直上からの出土で、ともに口縁はやや外反し内側に短い受け部が付くタイプ。10の胎土には結晶片岩を含む。

11は須恵器高杯の脚部。竈東袖直上から出土しており、覆土に包含される可能性もある。焼成やや不良で、内外面に炭素付着。12は土師器杯である。東側床面直上から出土。体部と底部の境は不明瞭である。胎土に結晶片岩を含む。

13は土師器甕。竈東側の床面直上から出土。頸部は強く屈曲し口縁はごくわずかに内彎する。口縁端部は尖り、端部内側は強いヨコナデによってわずかな段を有する。体部外縁の上位は平行タタキ、下位はタテハケが施され、内面はユビオサエのち板ナデによって形成。体部最大径は中央付近にある。14は土師器甕である。中央部の覆土から散在して出土。頸部の屈曲が弱く口縁は外反する。内外面とも板ナデを多用。体部上位寄りに最大径を有する。胎土に結晶片岩を含む。

15は弥生土器の広口壺である。竈燃焼部覆土から出土。口縁は外反し端部は上下に大きく拡張し2条の擬門線を巡らせる。16は弥生土器広口壺である。竈東側の覆土から出土。口縁は外反し、端部を上ドに拡張する。頸部外縁下位に四線5条および列点文を施す。15・16とも弥生時代後期に属する遺物である。17は弥生土器壺の頸部である。竈東側の床面直上から出土。外面に列点文を施す。

18は須恵器甕。中央部床面直上出土。外面はタタキのちカキメ、内面に同心円状當て具痕を残す。

19は結晶片岩製叩石である。長さ16.4cmを測り、両端部に敲打痕がみられる。

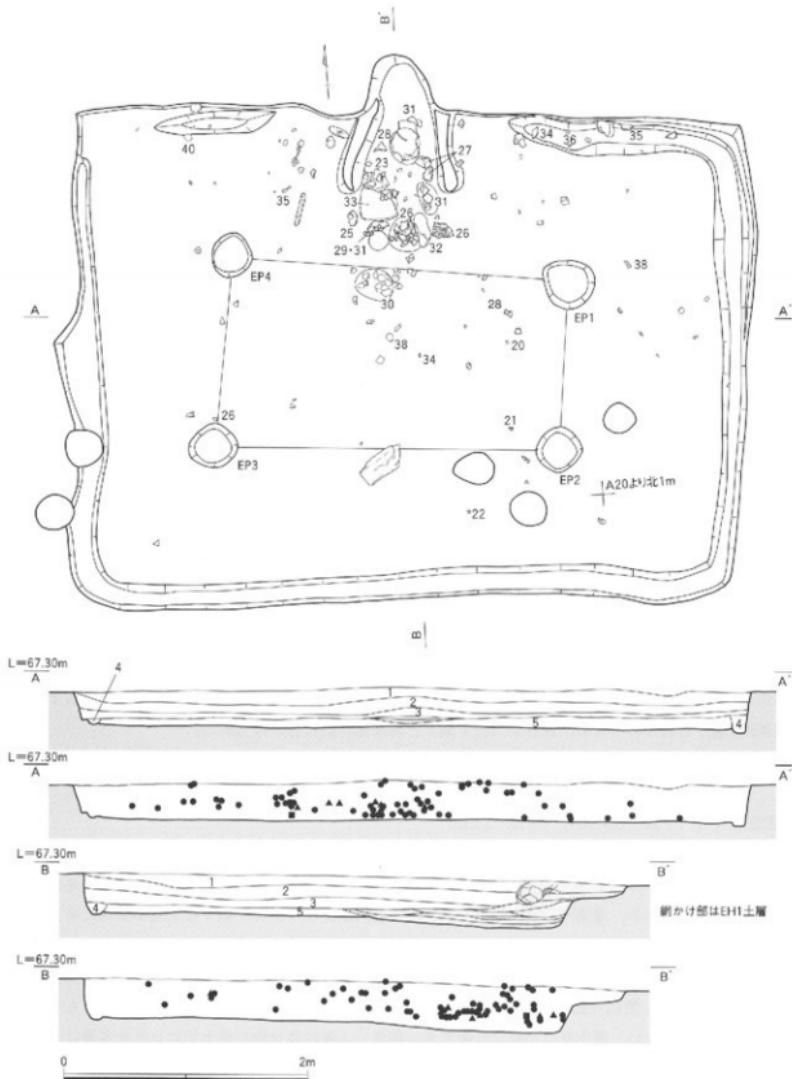
遺構の年代は、出土遺物から7世紀中葉～後葉頃と考えられる。

竪穴住居4号（1区 SB1004）（第16~23図）

1区中央部、A19・20グリッドに位置する。東西長566cm南北長444cm深度34cm床面積23.4m²を測り、主軸はN6°Eを向く。平面長方形の竪穴住居跡で、SB1005を切って構築されている。断面は逆台形形状で、床面は平坦である。遺構内遺構の埋土を除いた住居内埋土は4層で、第4層上面が床面と考えられる。第4層はしまりが強い黄褐色砂質土層で、中央部付近は特に強くしまるために、貼床とみられる。

住居北辺中央に竈（EH1）を付設。全長116cm、焚口部幅84cm、袖部全長68cm幅104cm残存高13cm、燃焼部最大幅58cm、焚口一奥壁間66cm、煙道部全長48幅58cm深度14cm測り、N5°Eの主軸をもつ。支脚は検出されていない。竈上層は13層に分層でき、第3~5層は炭化物や焼土ブロックを多量に含む赤褐色砂質土層で、竈燃焼部に堆積した焼土層である。第9~12層上面が燃焼部である。袖部上層はにぶい黄褐色砂質土層の第6層である。下部構造埋土は第9~13層で、炭化物を比較的多く含む褐色砂質土層である。下部構造は下部構造幅184cm奥行き190cm深度18cmを測る。

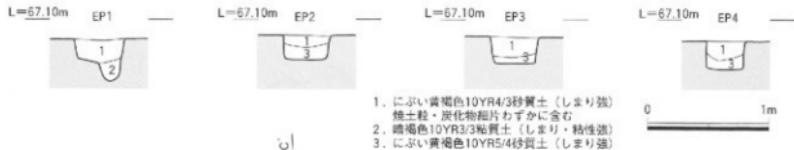
EPは4基検出し、径32~42cm深度20~34cmを測る。位置や規模からすべて主柱穴とみられる。北側の一部を除いて幅20cm、深度14cmの周壁溝が巡る。



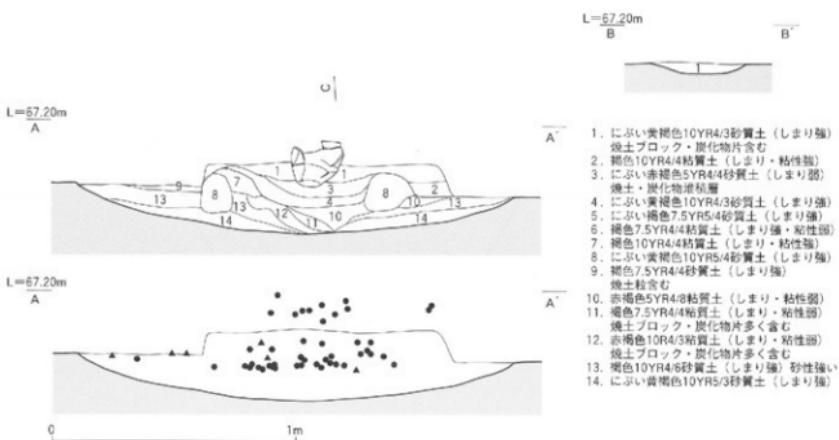
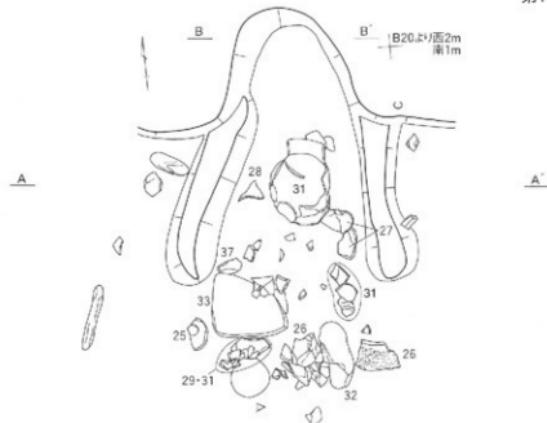
1. 褐色10YR4/4砂質土（しまり強）
 2. にぶい黄褐色10YR4/3粘質土（しまり強・粘性弱）
 3. 褐色10YR4/6砂質土（しまり強）
 燃土粒・炭化物細片わずかに含む、砂性強い

4. 褐褐色10YR3/4粘質土（しまり強・粘性弱）
 5. 黄褐色2.5Y5/6砂質土（しまり強）粘性強
 周囲に比べ中央部しまり強い

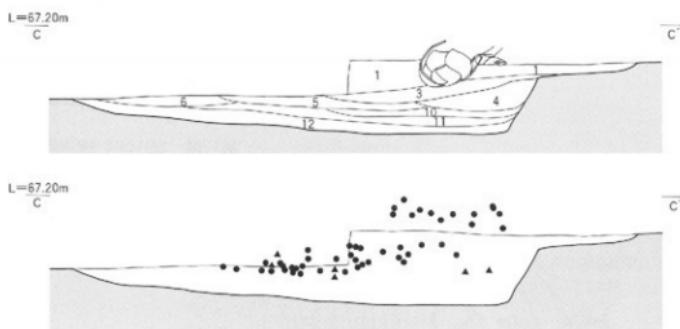
第16図 SB1004遺構実測図



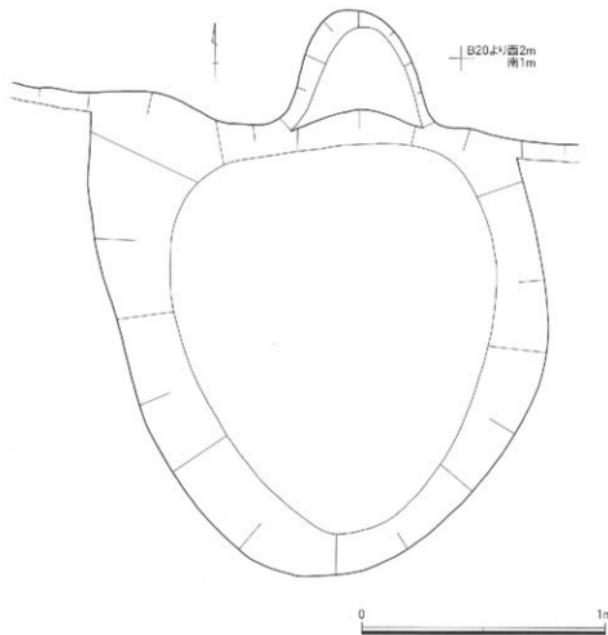
第17図 SB1004 EP遺構断面図



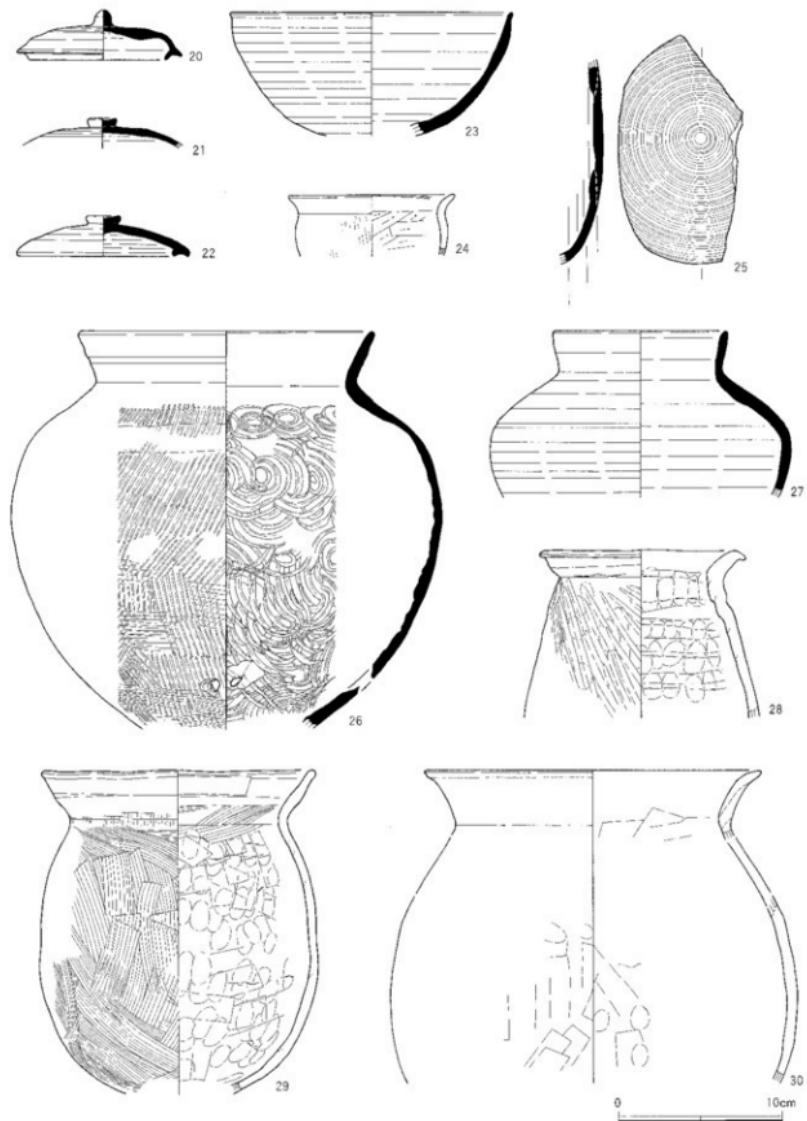
第18図 SB1004 EH1遺構実測図（1）



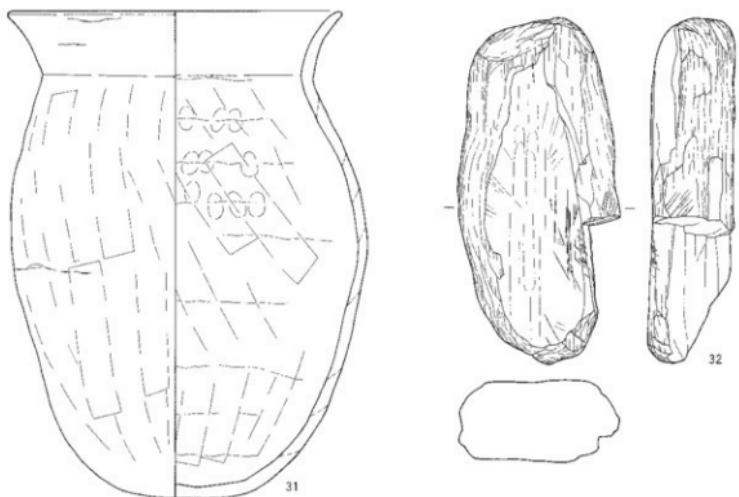
第19図 SB1004 EH1遺構実測図（2）



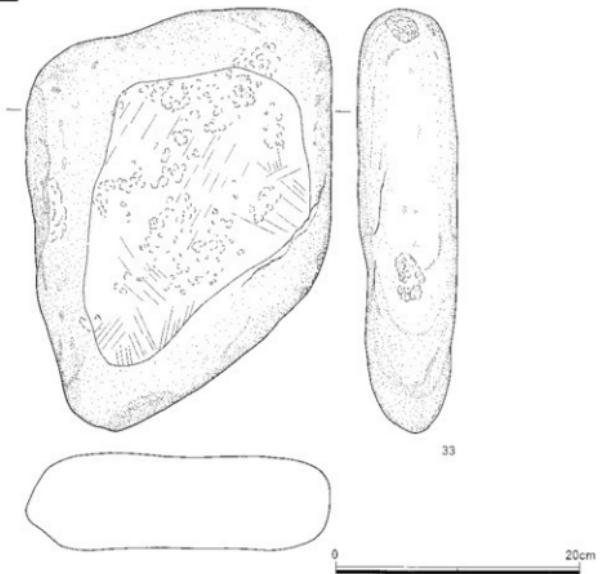
第20図 SB1004 EH1下部構造実測図



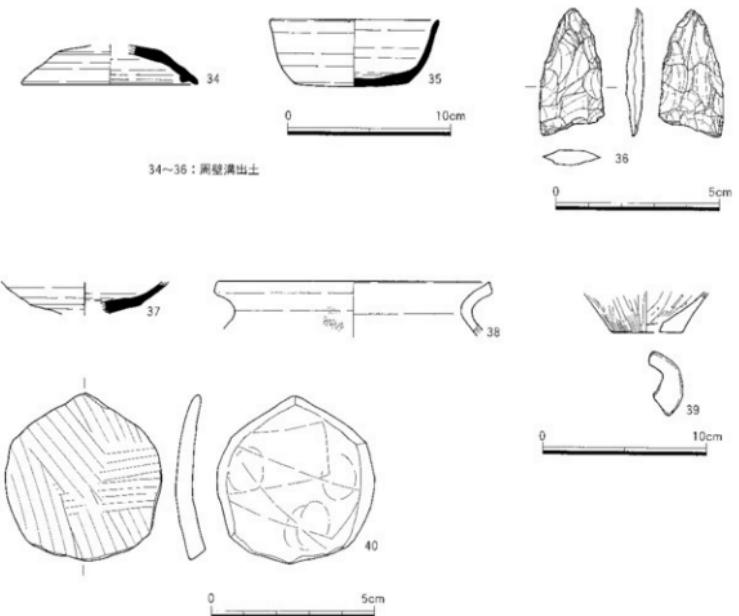
第21図 SB1004 EH1遺物実測図（1）



0 10cm



第22図 SB1004 EH1遺物実測図 (2)



第23図 SB1004遺物実測図

遺物は弥生土器壺、土師器片、煮炊具・甕・壺・加工円盤、須恵器杯・高杯・蓋・鉢・提瓶・短頭壺・甕、鉄製品片、サスカイト製石鎌、結晶片岩製砥石・砂岩製台石・砥石が出土。

遺物は床面直上や住居覆土から出土しているが、図化可能なものは竈内外に集中している。20~33は竈または竈付近の出土遺物である。燃焼部直上の焼土層から29の土師器壺が出土。

20~22は須恵器蓋。20は完形で、乳頭摘みを有する。口縁は内側に返りが付き受け部を作る。21・22は扁平摘みを有する須恵器蓋で、22は口縁内側に短い返りが付き受け部を作る。23は須恵器鉢で、半球形を呈し口縁端部がわずかに外反。

24は土師器壺。小型品で頸部の屈曲が弱く口縁は短く外反。

25は須恵器提瓶。26は須恵器甕で、底部を欠く。頸部が屈曲し、口縁は直線的に外方へ延びる。口縁外面にヨコナデによる凹線が1条巡る。体部下位に外面からの打撃による穿孔があり、住居廢棄時の祭祀に伴う可能性がある。27は須恵器短頭壺である。体部上位に凹線が1条巡る。

28~31は土師器壺。28は全体的に肉厚でユビオサエと接合痕が顕著、体部外而是斜位の板ナデがみられ、粗雑な作り。頸部は屈曲し、口縁端部は下方に折る。29は頸部の屈曲が弱く口縁端部を丸く收める。

体部外向と頸部内面はハケ、体内はエビオサエのち板ナデを施す。体部最大径はやや下位にある。30は頸部屈曲がやや弱く、口縁外反。結晶片岩を含む。31は長胴の壺で、体部上位に最大径をもつ。頸部屈曲は弱く、口縁は外反。外面に接合痕が目立つ。

32は結晶片岩製砥石で、2面を砥面として使用する。33は砂岩製台石・砥石で上面を砥面として使用、上面および側面の一部に敲打痕がみられる。ともに竈焼口前面から出土。

34～36は周壁溝出土の遺物。34は須恵器蓋で、口縁内側に短い受け部を作る。35は須恵器杯。36はサヌカイト製石謫で凹基式の基部をもつ。

37～40は床面直上出土の遺物。37は須恵器高杯の杯部。焼成やや不良。38・39は弥生時代後期末頃の壺で、ともに混入品である。39は底部に焼成後の穿孔がみられる。40は土師器加工円盤で、土師器壺の体部片を転用。

遺構の年代は、出土遺物から7世紀中葉から後葉と考えられる。

豎穴住居5号（1区 SB1005）（第24～28図）

1区中央部、T・A20・1グリッドに位置する。東西残存長536cm南北残存長596cm深度16cmを測る平面不整円形の豎穴住居跡で、西側をSB1004が切り、北は調査区外に延びる。断面は逆台形状で、床面は概ね平坦である。遺構内遺構の埋土を除いた住居内埋土は3層で、第3層上面が床面とみられる。第1・2層は住居廃絶後の覆土、第3層に於ける黄褐色砂質土層は床下構造層である。

住居東側で焼土・炭化物が集中する地点をEK1とEK2として検出した。EK1は東西77cm南北108cm深度8cm、EK2は東西142cm南北244cm深度9cmを測る。掘削後の形状はともに不整形の浅い落ち込みである。埋土には焼土ブロックと炭化物・炭化材を多く含むものの、壁面や底面に被熱痕がみられないこと、住居中心から大きく外れていることから炉とは考えにくい。

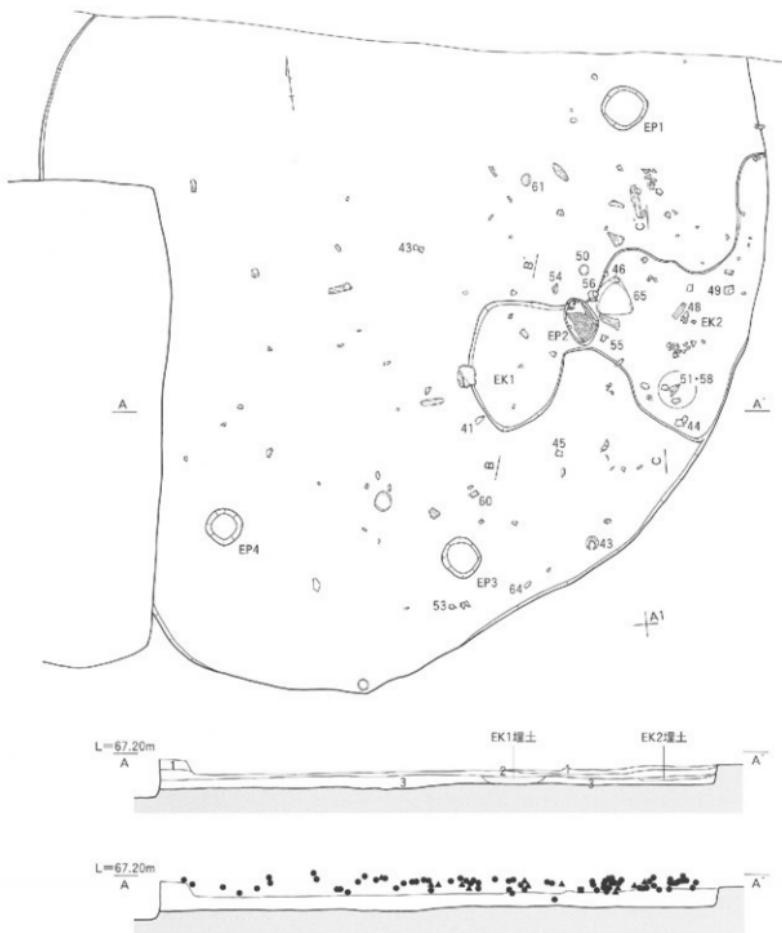
EPは住居東側から南側にかけて4基検出した。径30～42cm深度22～34cmを測る。円形住居に伴う主柱穴としては位置的に若干問題があるものの、6基～7基の主柱穴をもつものと推測できる。EP2上面で板状の炭化材が出土している。

遺物は弥生土器高杯・鉢・壺・器台・鉄製品片・結晶片岩製スクレイパー・石包丁・砥石・叩石、砂岩製台石・砥石が出土。床面直上や覆土に散在しているが固化可能な遺物は住居南東部に集中する。覆土出土の42を除くすべての遺物が床面直上出土である。また出土遺物には少量の古代・中世の土器もみられたがこれらは混入品として扱い、掲載土器は弥生土器に限定した。

41は広口短頸壺とみられる。壺の可能性もあるが外面に焼は付着しない。短く屈曲する口縁をもち端部を拡張させて3条の擬凹線を施すことからV様式でも古相を示すとみられる。42は覆土から出土した壺の底部である。43はほぼ完形の小型直口壺である。最大径をやや上位にもつ。体部外向と内面下位は丁寧な継位のヘラミガキを施す。

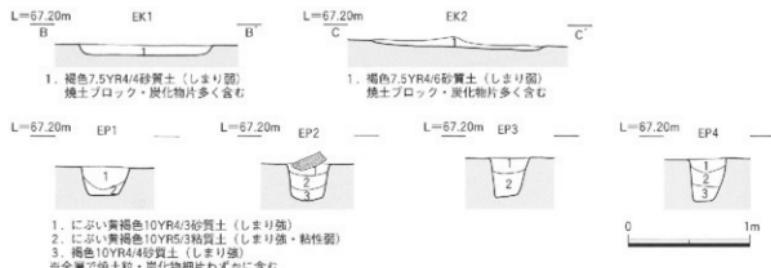
44は壺。頸部は強めに屈曲して口縁は外反する。体部外向は細かいハケ調整がされる。45は壺または壺、46は壺の底部である。底部も含め外面はハケ調整がみられる。

47は壺か鉢の底部。48・49は壺の底部で、外面ハケ、内面は継位の板ナデかヘラケズリを施す。50は完形品の小型鉢である。体部外面上半はヨコハケ、下半は細かなタテハケを施す。51～53は鉢。体部外向にタテハケを施す。51は大型の鉢であるが、小片のため径や傾きは不正確。52・53は半球形の体部をもつ。口縁は短く外反。

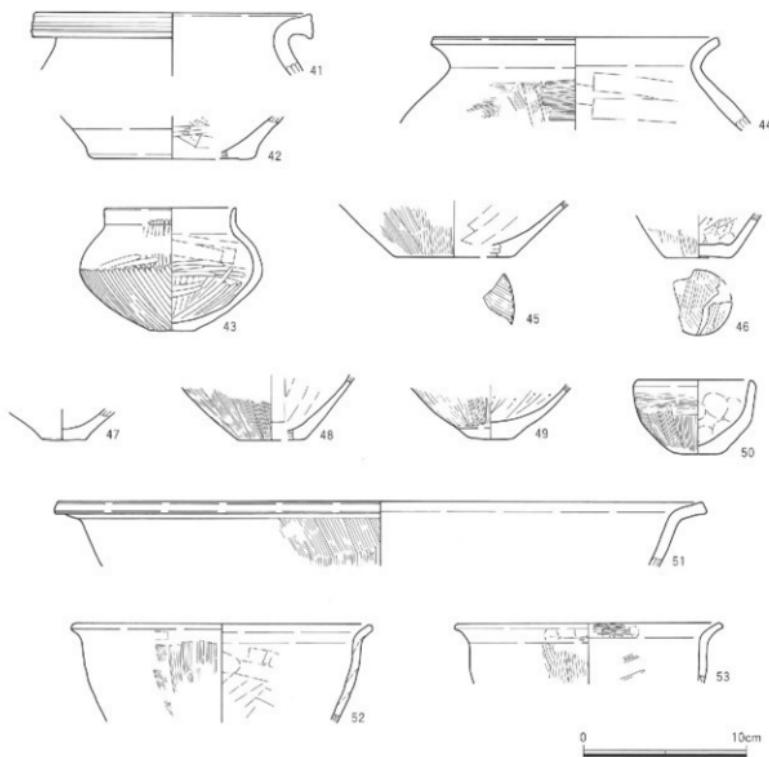


1. にぶい黄褐色10YR4/3砂質土（しまり強）
燒土粒わずかに含む
2. オリーブ褐色2.5Y4/4砂質土（しまり強）
燒土粒わずかに含む
3. にぶい黄褐色10YR4/3砂質土（しまり強）
砂性強い

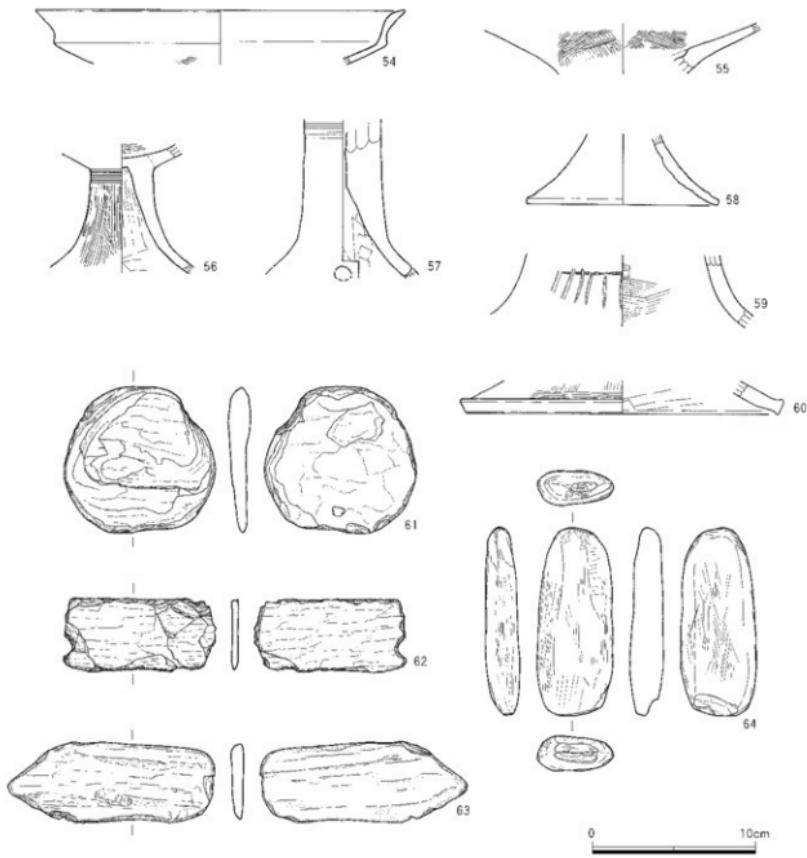
第24図 SB1005遺構実測図



第25図 SB1005 EK・EP遺構断面図



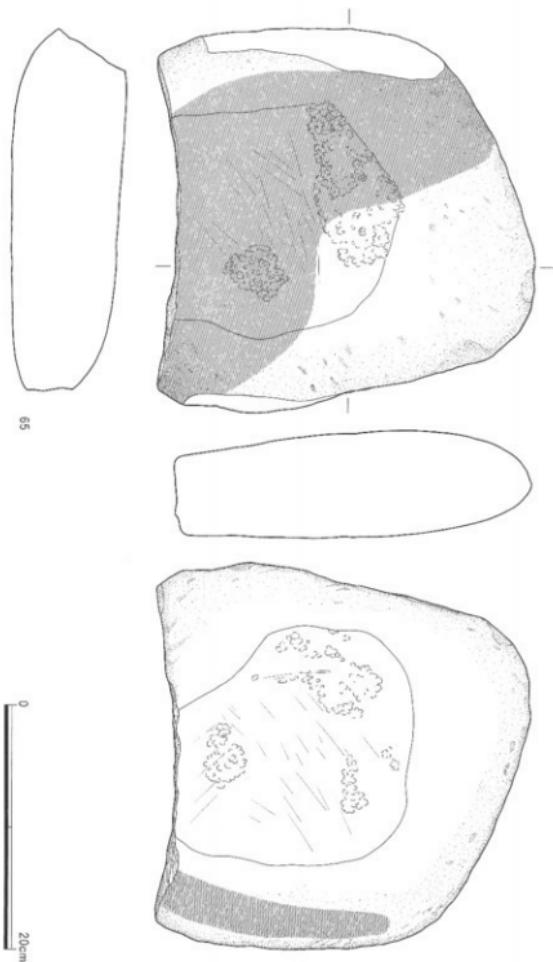
第26図 SB1005遺物実測図（1）



第27図 SB1005遺物実測図（2）

54・55は高杯の杯部。54は二重口縁をもつ。胎土に少量の角閃石を含む。56～58は高杯脚部。56は頸部に沈線5条を巡らす。57は脚部上位に凹線3条を巡らし、掘部に焼成前穿孔がみられる。58は端部の広がりが弱い。高杯の時期はV-3・4様式期に収まるものとみられる。59・60は器台の脚部とみられる。59は外面に縱位の刺突文が施される。

61～64は結晶片岩製の石器。61はスクレイパーとみられ、扁平な円盤の端部3ヶ所をわずかに打ち欠いて作る。62は石庖丁で両小口に挟りを入れる。下端部は使用によりわずかに摩耗する。63は小口に明瞭な挟りを有しないものの、下端部は使用によって摩耗することから石庖丁とした。64は砥石である。



第28図 SB1005遺物実測図（3）

両端部に敲打痕が伴うことから叩石としても用いられる。65は砂岩製の台石。両面とも中央部を砥面として使用され、数カ所に集中して敲打痕を残す。部分的に被熱痕（岡中剥離部）を残す。

本遺構の年代は上器様式に多少の時期差が認められるものの、概ね弥生時代後期中葉から後葉にかけての時期に収まるものとみられる。

土坑1号（1区 SK1001）（第29図）

1区西端部、B11グリッドに位置する、長軸140cm短軸100cm深度24cmを測る、不整な楕円形土坑である。主軸はN2°Wを向く。断面は不整な逆台形状で、埋土は3層に分かれる。

遺物は土師質土器鉢類、結晶片岩製叩石が出土。自然縫が埋土上位から出土。66は土師質土器鉢類の上部片。口縁はわずかに外反して端部をつまみ上げる。法量に対して器壁が薄い。体部内面は細かなヨコハケのち捲目を施し、外面はランダムな指頭圧痕を残す。67は結晶片岩製叩石。扁平な結晶片岩円盤を用いる。側面に敲打痕が全周する。一部激しく摩耗しており、磨石として使用されたとみられる。

土坑3号（1区 SK1003）（第30図）

1区西端部、A・B12グリッドに位置する、長軸128cm短軸116cm深度31cmを測る不整な楕円形土坑。断面は逆台形状で、埋土は4層。遺物は土師器片、土師質土器片・煮炊具脚部、須恵質土器輪、白磁皿が出土。68は割高台をもつ小型の白磁皿で、見込みに目痕を残す。森田分類D群、15世紀代と考えられる。

土坑5号（1区 SK1005）（第31図）

1区西部、A13・14グリッドに位置する、東西残存長192cm南北残存長82cm深度58cmを測る不整形土坑である。南は側溝に切られ、一部は調査区外に延びる。断面は方形で、底面は中央部がやや下がる。壁面は直立しており、墓壙である可能性も考えられる。埋土は3層に分かれる。

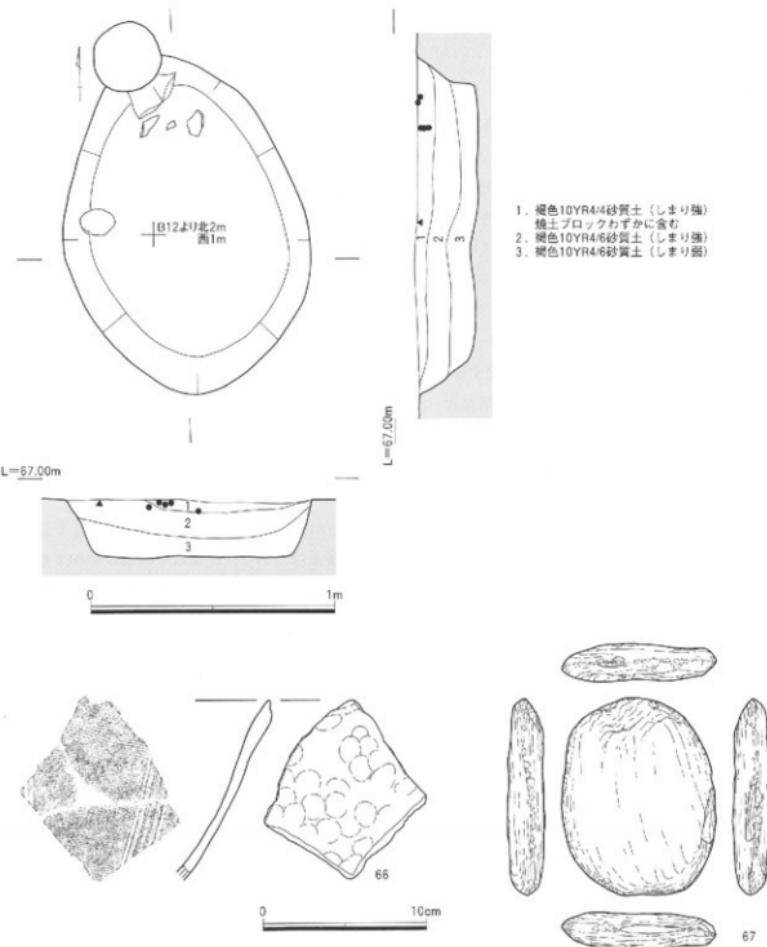
遺物は主に埋土中位から10~30cm角の疊に混じって、土師質土器片・杯（回転糸切り）・煮炊具（格子タタキほか）・羽釜、結晶片岩製砥石・叩石が出土。69は土師質土器杯の底部。回転台成形で、底部外面に回転糸切り痕を残す。70は土師質土器羽釜の上半部。口縁の高さに比して鉢部が短い。鉢部直下に連続した指爪痕がみられる。71は結晶片岩製砥石・叩石。1面を砥面として使用しているほか、側面と端部に敲打痕を残す。本遺構の年代は、14世紀前後と考えられる。

土坑14号（1区 SK1014）（第32図）

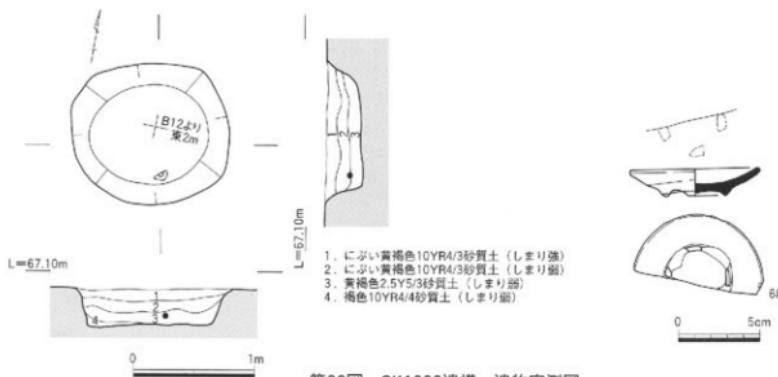
1区中央部、T20グリッドに位置する、長軸148cm短軸112cm深度16cmを測る不整な方形土坑。断面は不整な逆台形状で、埋土は3層に分層。遺物は須恵器片・杯、土師質土器片が出土。72は高台付須恵器杯の下半部で、底部に焼成後穿孔がみられる。8世紀後半とみられる。

土坑25号（1区 SK1025）（第33図）

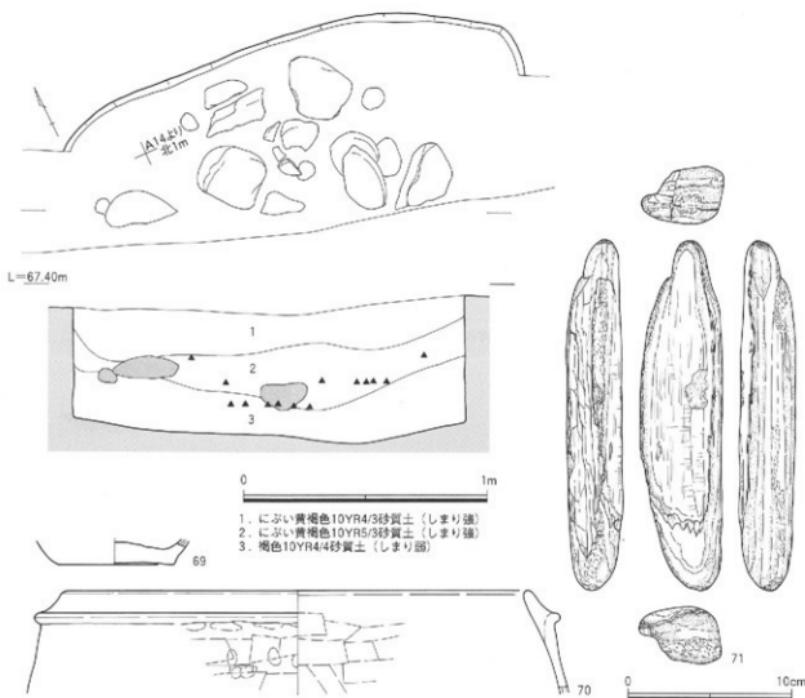
1区中央部、T1グリッドに位置する、長軸96cm短軸68cm深度38cmを測る不整な楕円形土坑。主軸はN5°Eを向く。断面は逆台形状で、埋土は4層に分層できる。遺物は土師器片・須恵器片・土師質土器片・杯（静止糸切り）・羽釜が出土。73は土師質土器羽釜。鉢部と口縁は短く退化し、接近する。鉢部は折り曲げ技法で作る。遺構の年代は、杯や羽釜から15~16世紀代とみられる。



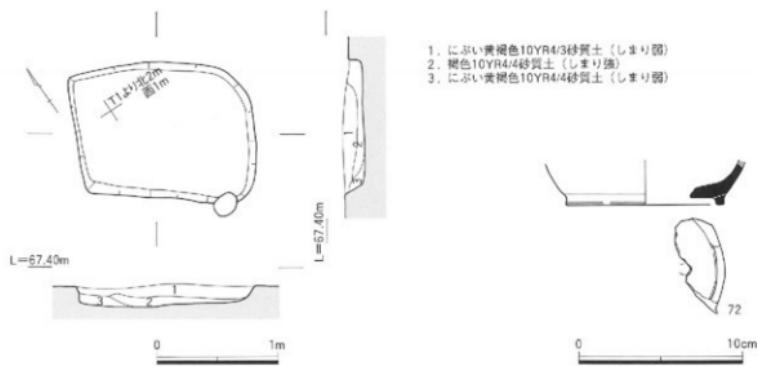
第29図 SK1001遺構・遺物実測図



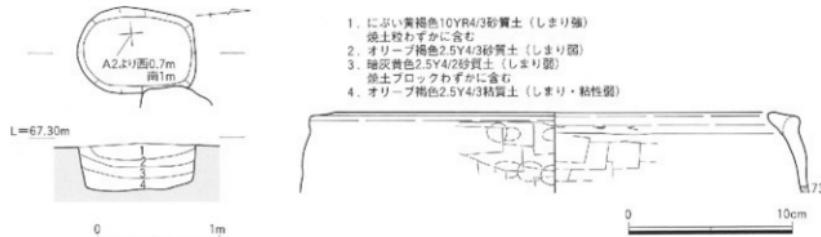
第30図 SK1003遺構・遺物実測図



第31図 SK1005遺構・遺物実測図



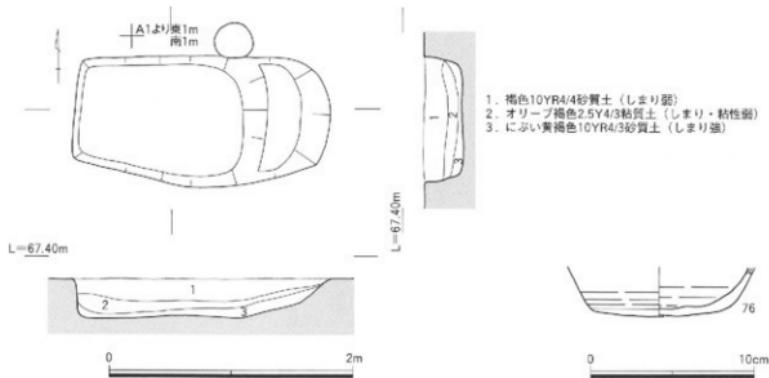
第32図 SK1014遺構・遺物実測図



第33図 SK1025遺構・遺物実測図



第34図 SK1047遺構・遺物実測図



第35図 ST1004遺構・遺物実測図

土坑47号（1区 SK1047）（第34図）

1区東部、R・S 7グリッドに位置する、長軸164cm短軸80cm深度10cmを測る楕円形土坑。主軸はN3°Eを向く。断面は浅い方形で、埋土は2層に分層。壁面が直立していることから墓壙である可能性も考えられ、染付皿の出土位置も頭部付近にあたる。

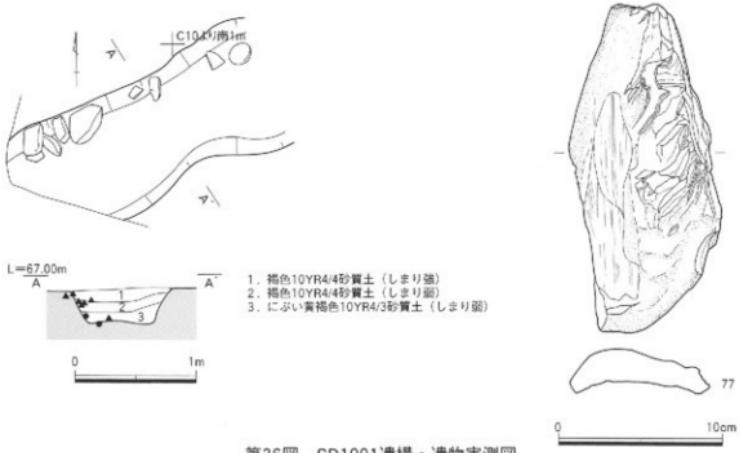
遺物は土師質土器擂鉢・煮炊具、染付皿が出土。74は基筒底をもつ染付皿の底部。見込みの中心に龍字を書き、周囲に文字様の記号を配する。胎土が精良で釉色・呉須の発色・焼成がきわめて良好であることから景德鎮窯系とみられる。小野分類染付皿C群II類に相当し、15世紀後葉から16世紀前半の年代が与えられる。75は土師質土器擂鉢。口縁端部は内上方に拡張する。外面下位に板ナデがみえるほかは調査不明瞭である。遺構の年代は、出土遺物から16世紀前後と考えられる。

土壙墓4号（1区 ST1004）（第35図）

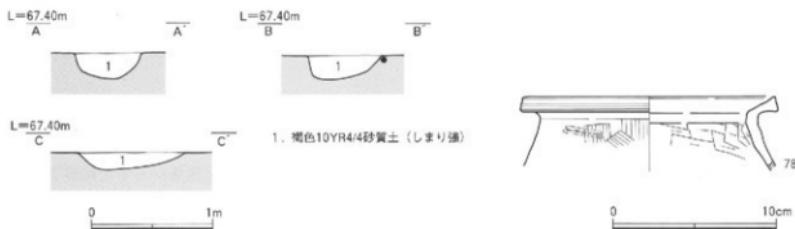
1区中央部、T1グリッドに位置する、長軸208cm短軸108cm深度34cmを測る不整な長方形土壙墓。主軸はN87°Wを向く。断面は不整な逆台形状で、東側は緩やかに上がり不明瞭な段をもつ。埋土は3層に分層。方位や規模、壁面の傾斜、第3層が黒褐色粘質土であることから墓壙と考えた。遺物は弥生土器片、土師器片・煮炊具、須恵器片・蓋、土師質土器片・杯（回転ヘラ切りほか）が出土。76は土師質土器杯の下半部。底部外面に回転ヘラ切りのち板目痕を残す。胎土に結晶片岩を含む。

溝1号（1区 SD1001）（第36図）

1区東端、B 9・10グリッドに位置し、北東端は不明瞭に消滅し、南西側は調査区外に延びる。検出長2.1m幅116cm深度29cmを測り、主軸はN66°Eを向く。断面は逆台形状で、埋土は3層に分層。溝北辺に沿って10~30cm大の礫を検出した。遺物は土師器片、須恵器片、備前焼陶器壺、結晶片岩製砥石が



第36図 SD1001遺構・遺物実測図



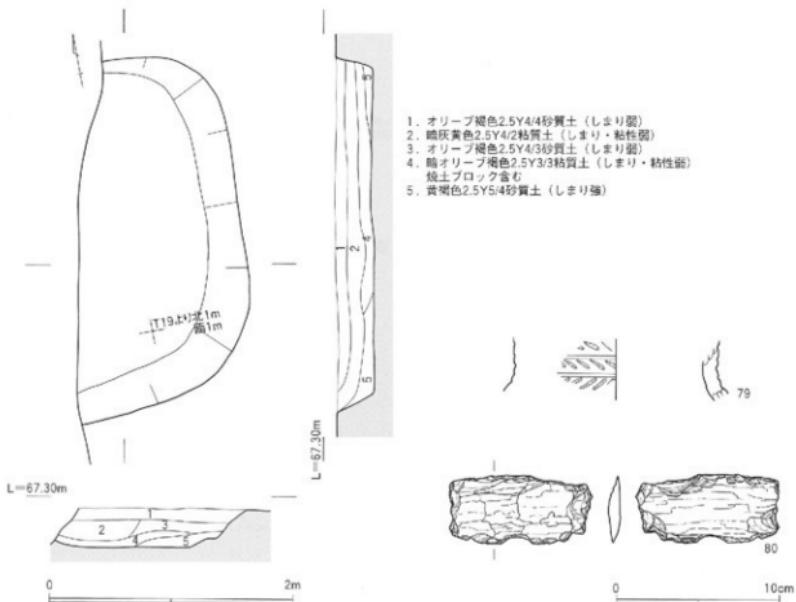
第37図 SD1003遺構・遺物実測図

出土。77は結晶片岩製砥石。長さ20.0cmを測り、1面を砥面として使用。

溝3号（1区 SD1003）（第37図）

1区中央部西寄り、T・A17・18グリッドに位置し、北は中途で途切れ南は調査区外に延びる。検出長8.9m幅100cm深度20cm、主軸はN 8°E。断面はU字形で、埋土は1層。底面は北に向けて下がる。

遺物は弥生土器片・甕、土師質土器片、近世磁器片が出土。78は弥生土器甕。頸部は大きく屈曲し、口縁は外反、口縁端部は拡張してヨコナデにより2条の擬凹線をつくる。弥生時代後期とみられる。遺構の年代は、出土遺物がわずかで時期差も大きいことから確定し難いが、近世磁器片が出土していることからこの時期まで下る可能性がある。



第38図 SX1001遺構・遺物実測図

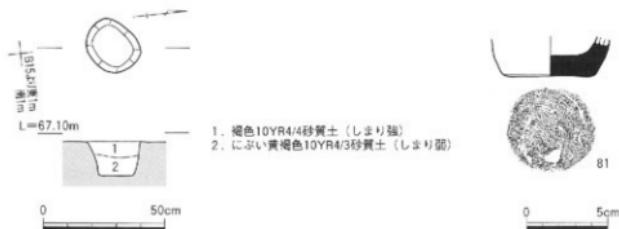
不明遺構1号（1区 SX1001）（第38図）

1区中央部西寄り、S・T18・19グリッドに位置し、西側はSD1005に切られる。南北長298cm東西残存長140cm深度32cmを測る隅丸方形の土坑状遺構。断面は逆台形状で、底面は平坦。埋土は5層に分層。竪穴住居の可能性も考えたが、柱穴等が検出されず遺物も少量であることから不明遺構とした。

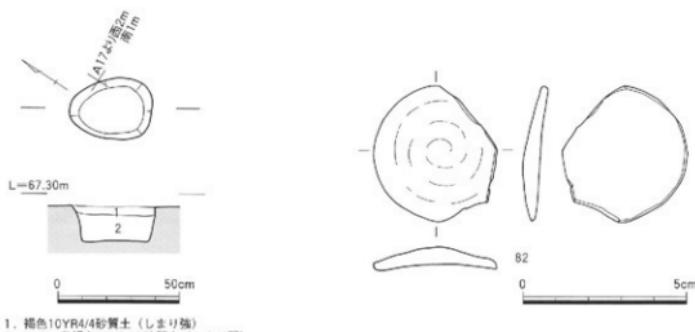
出土遺物は2点のみである。79は弥生土器壺の頭部。外面に横位の沈線2条と矢羽根状列点文が施される。80は結晶片岩製石包丁。両小口に浅い抉りを作る。下端部は使用によりわずかに摩耗する。遺構の年代は、出土遺物から弥生時代後期と考えられる。

小穴35号（1区 SP1035）（第39図）

1区西部、A15グリッドに位置する、径22cm深度14cmを測る不整円形の小穴。断面は逆台形状で、埋土は2層に分層できる。遺物は上師賈上器片、陶器壺が出土。81は僧前焼とみられる陶器壺の底部で、底径5.5cmの小型品である。底部外面に回転糸切り痕を残す。内面に鉄分が固着しており、雀口のような鉄漿容器の可能性がある。遺構の年代は、出土遺物から15~16世紀頃と考えられる。



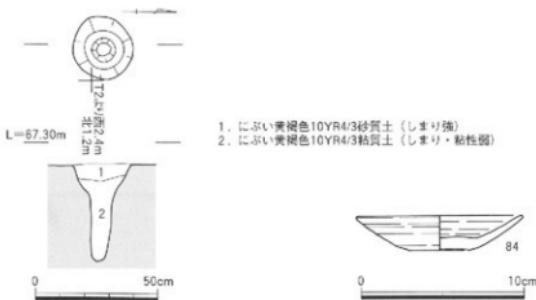
第39図 SP1035遺構・遺物実測図



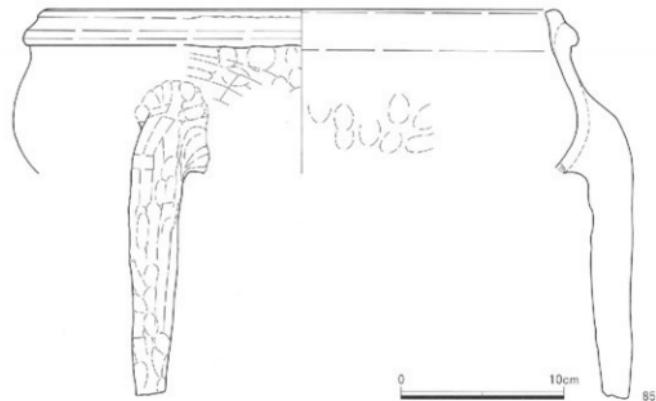
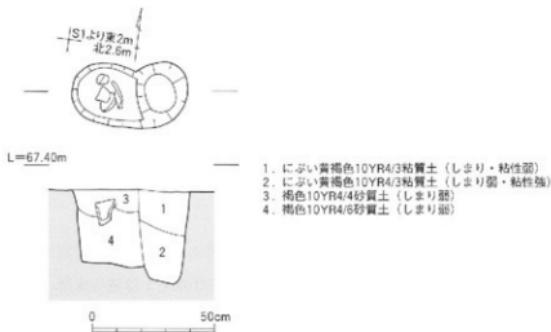
第40図 SP1056遺構・遺物実測図



第41図 SP1077遺構・遺物実測図



第42図 SP1149遺構・遺物実測図



第43図 SP1162遺構・遺物実測図



第44図 SP1199遺構・遺物実測図

小穴56号（1区 SP1056）（第40図）

1区西部、T16グリッドに位置する、径34cm深度15cmを測る不整形の小穴。断面は逆台形状で、埋土は2層に分層できる。出土遺物は1点のみで、82は土師質土器杯の底部を用いた加工円盤。糸切り痕を残し、側面は丁寧に研削調整する。

小穴77号（1区 SP1077）（第41図）

1区中央部、T18グリッドに位置する、径32cm深度19cmを測る不整円形の小穴である。断面は方形で、埋土は2層に分層できる。遺物は弥生土器壺、土師質土器片が出土。83は弥生土器壺の底部。底部を含めて外面はハケ調整される。弥生時代後期後半とみられる。

小穴149号（1区 SP1149）（第42図）

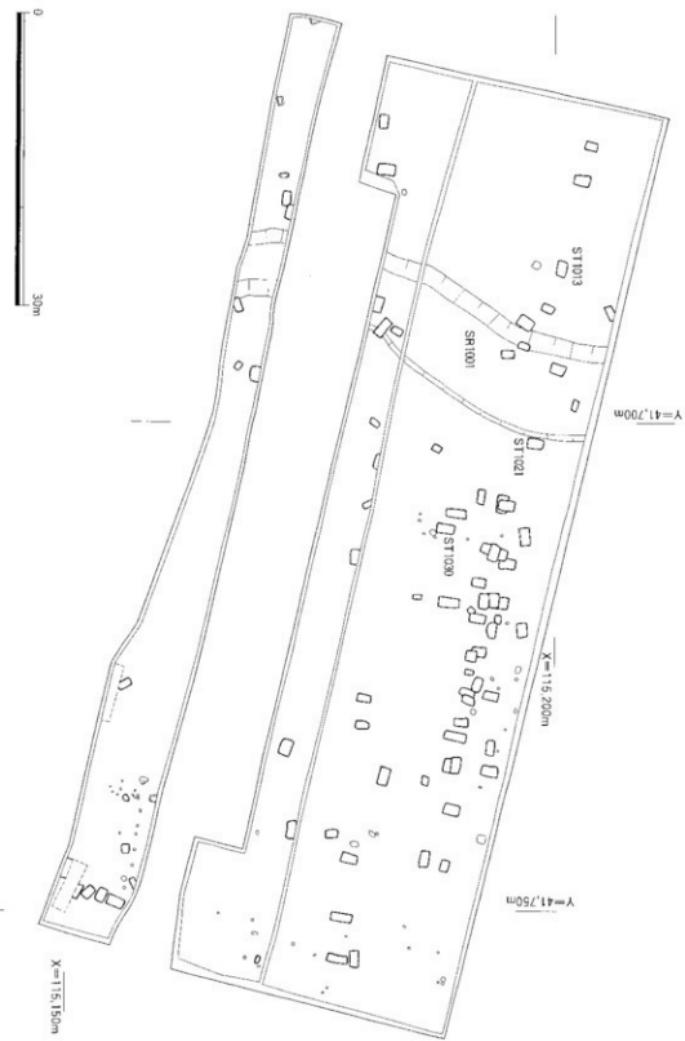
1区中央部、T1グリッドに位置する、径26cm深度40cmを測る円形の小穴。断面は逆円錐形で、埋土は2層に分層できる。遺物は土師質土器皿のみである。84は回転台成形で、底部外面に静止糸切り痕を残す。胎土に結晶片岩を含む。15~16世紀代とみられる。

小穴162号（1区 SP1162）（第43図）

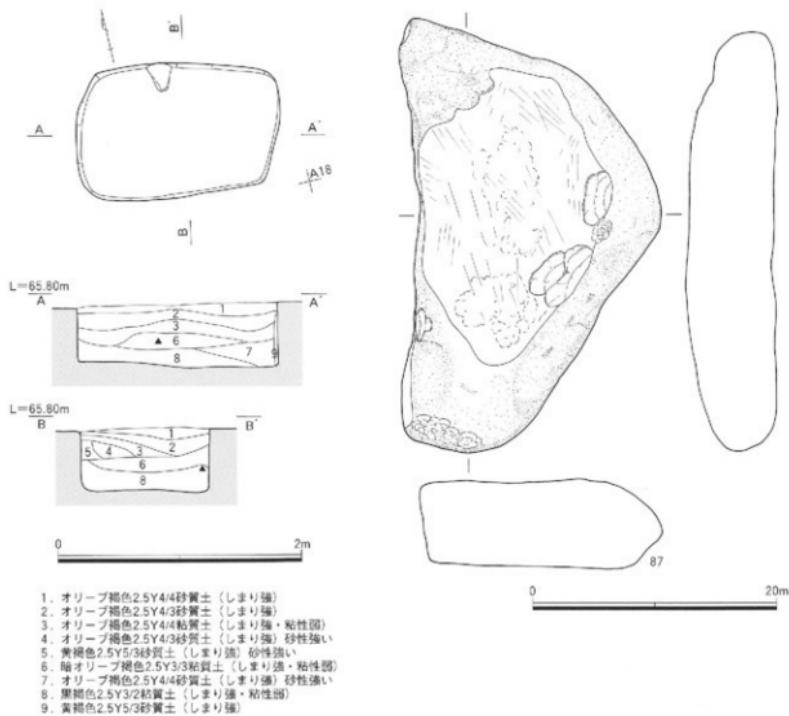
1区中央部、S1グリッドに位置する、径46cm深度39cmを測る不整形の小穴。断面は逆台形状で、埋土は4層に分層。平面形状や埋土から本来は2基の遺構であった可能性もある。遺物は土師質土器片・羽釜が出土。85は土師質土器羽釜。体部は下ぶくれで、下半に脚部が付く。底部外面にタタキは確認できなかった。鶲部・口縁とともに短く退化しつつある器形から14~15世紀代とみられる。

小穴199号（1区 SP1199）（第44図）

1区中央部、A2グリッドに位置する、径30cm深度18cmを測る円形の小穴。断面は逆台形状で、埋土は2層に分層。出土遺物は1点のみで、86は備前焼陶器壺の口縁部。口径13.0cmの小型品で、口縁端部を小さな玉縁状に作る。小片であるため時期決定の根拠に乏しいが、15~16世紀代とみられる。



第45図 2区第1遺構面遺構配置図



第46図 ST1013遺構・遺物実測図

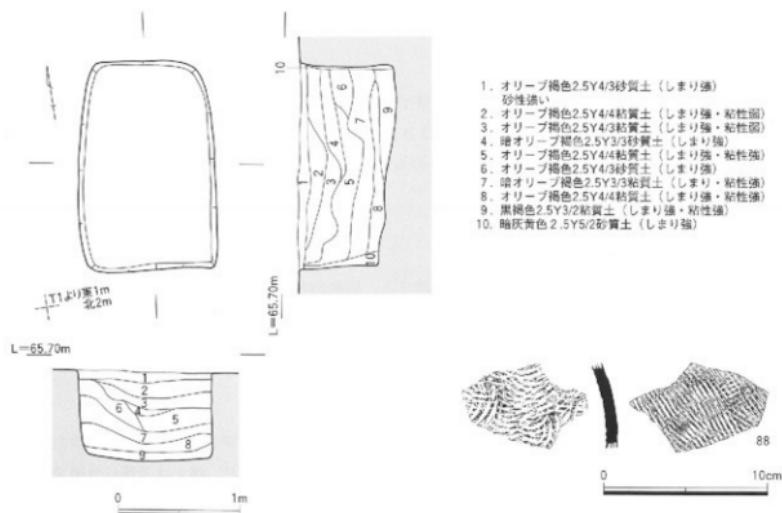
2区

土壙墓（第45図）

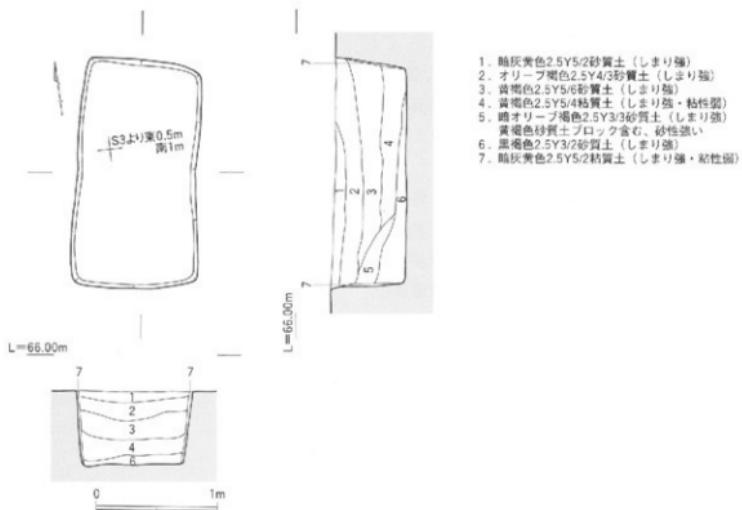
2区で検出された土壙墓は62基に上る。これらは調査区内で散在しており、一部に緩やかなまとまりが認められる。南北主軸をもつもの31基、東西主軸をもつもの29基でありほぼ同数である。出土遺物はわずかで、時期が判明するものは皆無である。これらのの中から抽出して詳述する。

土壙墓13号（2区 ST1013）（第46図）

2区北側調査区の西部、A17グリッドに位置する、長軸166cm短軸112cm深度54cmを測る隅丸長方形の土壙墓である。東西主軸をもち N10°E を向く。断面は方形で、埋土は9層に分かれ。埋土東端で縱長にのびる第9層は、これまで木棺の痕跡と認識してきた土層である。しかし埋土の取縮による亀裂に土が入り込んだ可能性もあり、今後議論の余地がある。出土遺物は1点のみで、87は砂岩製台石。埋



第47図 ST1021遺構・遺物実測図



第48図 ST1030遺構・遺物実測図

土中位から出土。片面のみを砥面として使用し、数カ所で敲打痕が集中。

土壤墓21号（2区 ST1021）（第47図）

2区北側調査区の中央部、T1グリッドに位置する、長軸174cm短軸114cm深度76cmを測る隅丸方形の土壤墓。南北主軸をもちN11°Eを向く。断面は方形で、埋土は10層に分層。向小口に位置する第10層は木棺痕跡とされる層である。出土遺物は1点のみで、88は須恵器壺の体部片。外面に細かな平行タタキを施し、内面に同心円状當て具痕が明瞭。

土壤墓30号（2区 ST1030）（第48図）

2区北側調査区の中央部、R3グリッドに位置する、長軸190cm短軸104cm深度60cmを測る長方形の土壤墓。主軸はN11°Eを向く。断面は方形で、埋土は7層に分層。第7層は木棺痕跡とされる層で蓋面に沿って全周する。出土遺物は皆無。

自然流路1号（2区 SR1001）（第49図）

2区南北両調査区の西部、N～A17～2グリッドに位置し、南北両端は調査区外に延びる。検出長39.0m幅10.6m深度48cmを測る、南北方向に走る自然流路。断面はレンズ状で、埋土は3層に分層でき、いずれもレンズ状の自然堆積層。遺物は弥生土器片・瓶、土師器片、須恵器片、瓦片が出土。実測可能な遺物は1点のみで、89は弥生土器瓶の底部である。底部に焼成前穿孔が認められる。体部外面に平行タタキがみられる。

〈第1包含層出土遺物〉（第50図）

90は弥生土器壺の口縁部。縁部は平坦に作り、強いヨコナデによって1条の擬凹線を残す。外面ハケ、内面ハケのち板ナデを施す。胎土に絹雲母と結晶片岩を含む。

91は弥生土器壺の底部。体部外間に縦位ヘラミガキ、底部内外面にヘラケズリを施す。胎土に絹雲母と結晶片岩を含む。

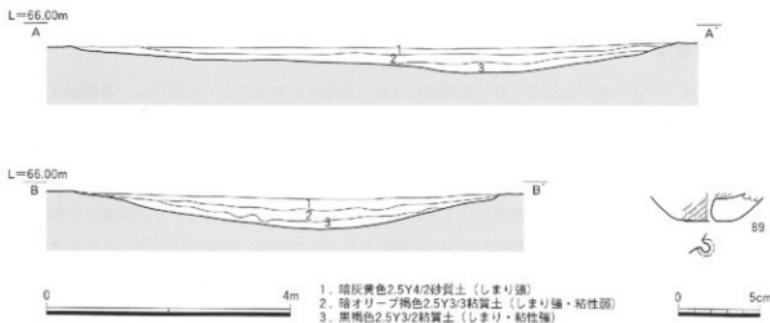
92は弥生土器壺の下半部。外面に斜位ハケ、体部内面に斜位板ナデ、底部内面ヘラケズリを施す。底部外間に焼成後穿孔がみられるが、未貫通のまま残す。

93は黒色土器B類碗の底部。外面は回転ヘラ切りのち高台貼り付け。高台は外方に大きく張り出す。内面に緻密なヘラミガキを施す。内外面炭素吸着良好。

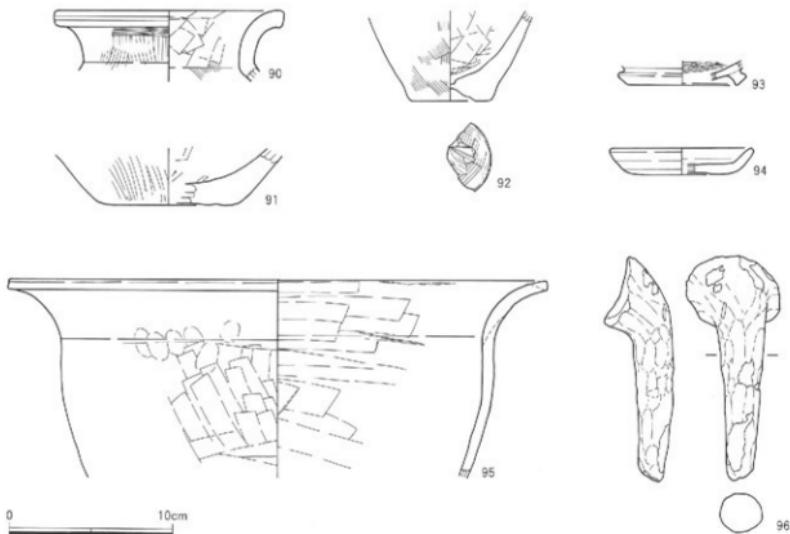
94は土師質土器皿。底部外間に回転ヘラ切り痕を残す。

95は土師質土器鍋。頸部外間に指頭圧痕を残し、体部外表面と内面は板ナデによって調整。胎土に絹雲母と結晶片岩を含む。概ね8世紀代と考えられる。

96は土師質土器煮炊具の脚部。胎土に絹雲母と結晶片岩を含む。



第49図 SR1001邊構・遺物実測図



第50図 第1包含層遺物実測図

第IV章 中庄東遺跡の調査成果

1. 基本層序（第3・4図）

本遺跡ではI地区西側が加茂谷川扇状地扇端に立地、以東は自然堤防上に立地する。遺構面は1面のみの地点では古代と中世を主体とし、2面に分離する地点では第1遺構面で中世、第2遺構面で古代がそれぞれ主体となる。調査の都合上、調査区や地区毎に遺構面が1面のみと2面確認できる部分に分けたが、実際は徐々に分離していく。

I地区は調査地西端に位置し、遺構面は1面のみ検出した。第1遺構面はI-6区西端部で標高66.1mで、砂礫を多量に含むオリーブ褐色2.5Y 4/3砂質土をベースにし、60m西に位置する末石跡2区とは異なる土層堆積を示す。遺構埋土はわずかに暗色を呈し地山との判別は困難なことから、砂礫混じりの土層直下で検出を行った。砂礫を含むベース土の層厚は、I-6区西端で60cmあるが、東に向かうにつれて厚みを減じ中央で30cm、東端ではほぼ検出されない。

II地区での遺構面は、西半部に位置するII-1～3・6区では1面のみ確認する。東半部のII-4・7区では2面検出する。II-4区では第1遺構面の標高65.5m、黄褐色2.5Y 5/3砂質土がベースとなる。遺構埋土は暗灰黄色2.5Y 5/2砂質土で判別は比較的容易である。第1包含層は暗灰黄色2.5Y 5/2砂質土である。第1遺構面のベース層が第2包含層となる。第2遺構面は標高65.3m、暗オリーブ褐色2.5Y 3/3砂質土をベースとする。本層は上下の土層と比較して黒さが際立ち、第2遺構面のベース土としてIII地区まで続く。遺構埋土も暗色で検出が困難なため、ベース土直下で検出作業を行った。以下の土層は、標高64.1mまでオリーブ褐色～黄褐色砂質上層で、以下暗灰黄色2.5Y 4/2～灰オリーブ色5Y 4/2の細砂・砂層を標高63.4m（現地表面下約2.8m）まで確認したが湧水はみられない。

III地区では、II地区から引き続き2面の遺構面を確認。第1遺構面の標高65.2m、第2遺構面の標高65.0mで、II地区からは約30cm低く。基本土層はII地区とほぼ変化ない。東半部のIII-3区では遺構面が北に向かけて下がり、北端は急激に落ち込む。北半部では床上～第1遺構面直上まで細砂やシルトを多く含む洪水砂層が出現し、18世紀代の上層と推定される。本層は東に向かうにつれ層厚を増す。

IV地区では1面のみ検出。IV-1区では第1遺構面は標高64.6m、IV-3区では65.1mとなる。オリーブ褐色2.5Y 4/3砂質土をベースとする。第1包含層は暗灰黄色2.5Y 5/2砂質土である。現地表～包含層の間で洪水砂層がみられる。遺構面は北へ大きくながり、洪水砂層は北端部では厚みを増してIV-1～3区では特に厚く堆積する。

V地区は調査区東端に位置し、V-1～4区までは2面、V-5区では1面のみ検出。V-4区では第1遺構面の標高64.8mで、オリーブ褐色2.5Y 4/3砂質土がベースとなる。第2遺構面の標高64.5mで、オリーブ褐色2.5Y 4/4砂質土がベースとなる。V-5区では第1遺構面の標高が64.1mまで低下し、シルトを多く含む黄褐色2.5Y 5/3砂質土がベースとなる。西からの近世洪水砂層は引き続き確認できるが、V-3区東半～V-5区では遺構面のベース上を含めた全層で砂性を増す。しまりも弱く安定を欠く土壤であることから遺構密度は希薄で、遺跡縁辺部の状況を示すとみられる。V-5区における遺構面以下の土層は、灰色5Y 5/1～暗灰黄色2.5Y 5/2または灰オリーブ色5Y 5/2の細砂やシルト層が主体で、しまりは弱い。中間の63.0m前後でしまりが強い黄褐色2.5Y 5/3や暗灰黄色2.5Y 5/2の砂質土層を挟むが、遺構・遺物は確認できない。標高62.3m（現地表面下約2.9m）まで掘り下げ

たが、湧水はみられない。

2. 遺構と遺物

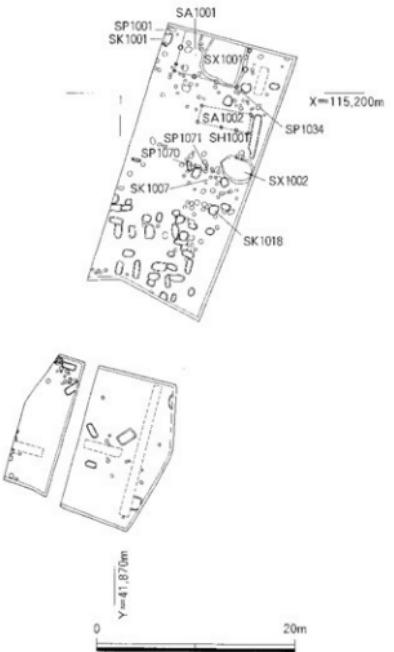
〈I 地区 第1 遺構面〉

I-1 区 (第51図)

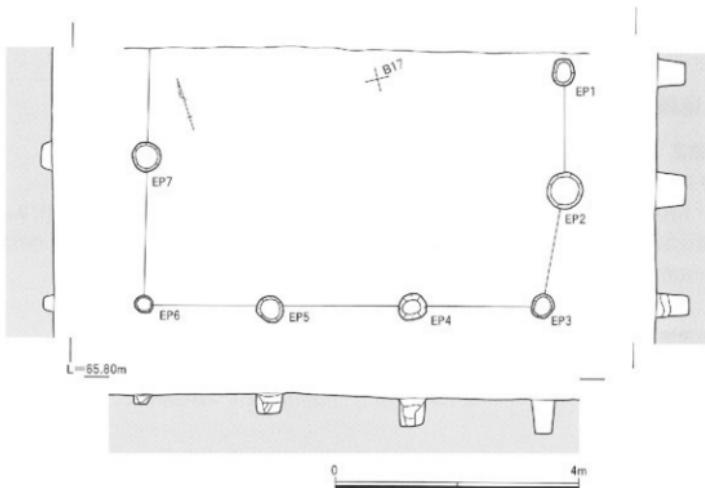
I-1 区は中庄東遺跡では最北部に位置する調査区で、現在の吉野川河道まで80mの距離にある。南北に延びる調査区で、未調査部を挟んで南北に分かれる。調査時に攪乱が多数検出されたものの遺構密度は比較的高く、SA2棟、SK41基、SH1基、ST12基、SX2基、SP164基を検出。

掘立柱建物1号 (I地区 SA1001) (第52・53図)

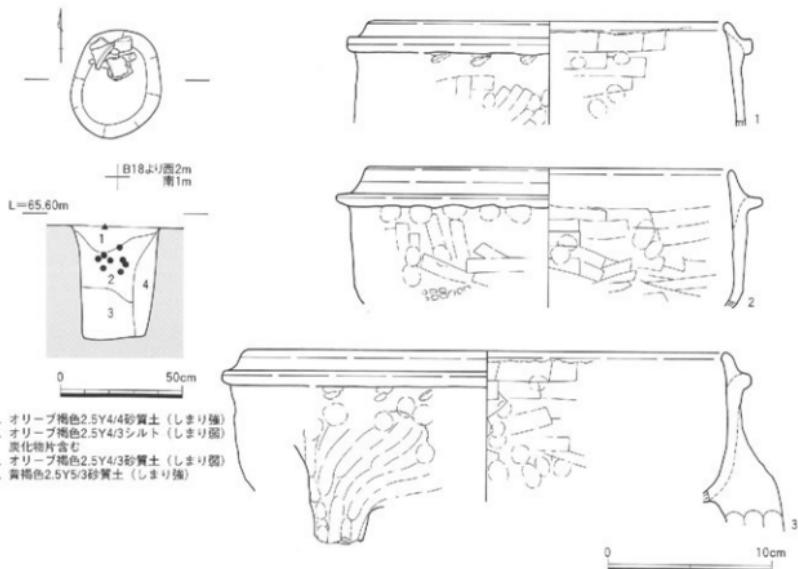
I-1 北区中央部北端、A16・17グリッドに位置し、北側は調査区外に延びる。東西3間 (6.5m) 南北推定2間以上 (3.9m以上) 床面積25.3m²以上、7基の柱穴をもつ個柱建物で、建物主軸は N73°W



第51図 I-1区第1遺構面遺構配置図



第52図 I 地区SA1001遺構実測図



1. オリーブ褐色2.5Y4/4砂質土（しまり強）
2. オリーブ褐色2.5Y4/3シルト（しまり弱）
炭化物片含む
3. オリーブ褐色2.5Y4/3砂質土（しまり弱）
4. 黄褐色2.5Y3/3砂質土（しまり強）

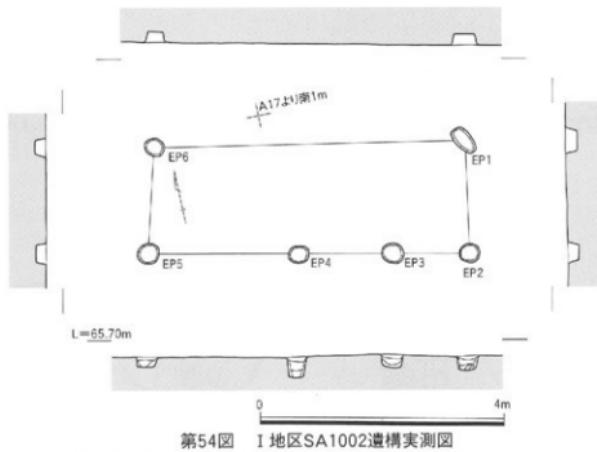
第53図 I 地区SA1001 EP1遺構・遺物実測図

を向く。柱穴の平面形は円形で、径30~60cm深度7~55cmを測る。

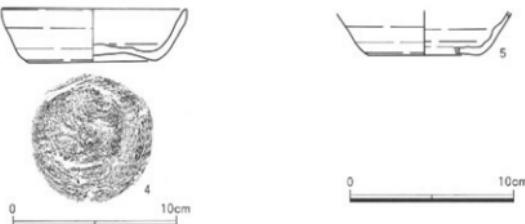
遺物はEP1・2・4・6・7から須恵器片、土師質土器片、煮炊具脚部・鍋・羽釜が出土。EP1では柱材撤去後の埋土から1~3の土師質土器羽釜が出土。いずれも残存率25%以下。1・3の両端部は方形を意識する。鍋部直下に強い指爪痕を残す。3の内面は瓦質焼成氣味で、鍋部直下から外方に張り出すことなくスムーズに脚が付く。ただし鍋部は折り曲げ技法で作るため、畿内產ではない。2は口縁が高く、両端部を丸くする。鍋部は折り曲げ。底部外面に格子タタキを施す。13世紀後半頃。

掘立柱建物2号（I地区 SA1002）（第54~56図）

I-1北区中央部北側、T16・17グリッドに位置する。東西3間（5.2m）南北1間（1.8m）床面積9.4m²、6基の柱穴をもつ個柱建物で、建物主軸N79°Wを向く。柱穴は円形か不整円形で、径35~50cm深度16~36cm。遺物はEP1・2・4~6から土師質土器片・杯（回転糸切り・回転ヘラ切りほか）、瓦器片、瓦質土器片が出土。4はEP1出土の土師質土器杯。底部外面に回転糸切り痕のち板目痕を残

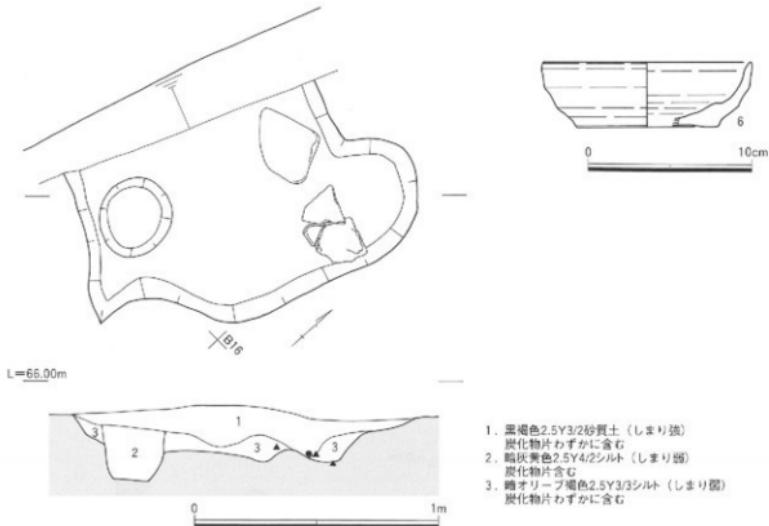


第54図 I地区SA1002遺構実測図



第55図 I地区SA1002 EP1遺物実測図

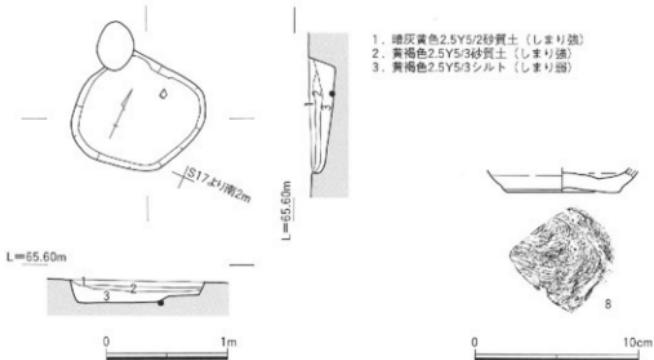
第56図 I地区SA1002 EP4遺物実測図



第57図 I地区SK1001遺構・遺物実測図



第58図 I地区SK1007遺構・遺物実測図



第59図 I地区SK1018遺構・遺物実測図

す。5はEP4出土の土師質上器杯。底部外面に回転ヘラ切り痕のち板目痕を残す。遺構の年代は、瓦器を共伴することから13世紀代と考えられる。

土坑1号（I地区 SK1001）（第57図）

I-1北区西端部北端、A・B15・16グリッドに位置し、西側は調査区外に延びる。南北長145cm東西検出長80cm深度31cmを測る不整形土坑。断面は不整な逆台形状で、底面は凹凸が激しい。埋土は3層に分層でき、全層で炭化物片を含む。遺物は須恵器片、土師質土器杯(回転糸切りほか)・脚部、瓦器碗、瓦質土器片が出土。6は土師質土器杯。北側の底部付近で20~30cm角の砂岩・片岩砾とともに出土。体部内外面は強い回転ナデによる稜が明瞭で、器壁は厚い。底部に回転糸切り痕を残す。瓦器碗の共伴から概ね13世紀代と考えられる。

土坑7号（I地区 SK1007）（第58図）

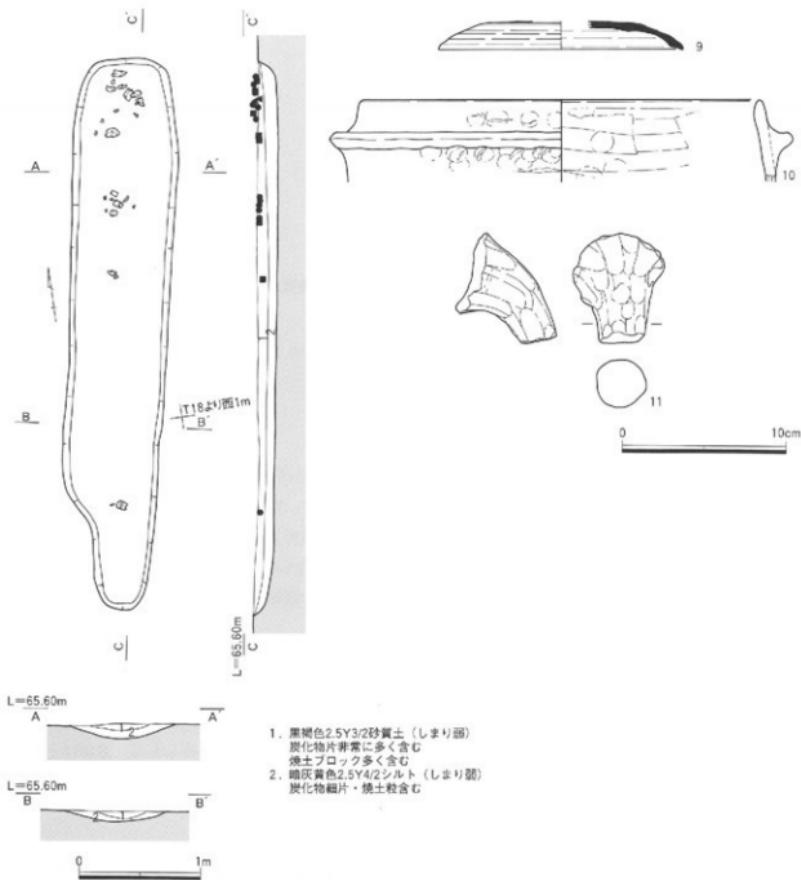
I-1北区中央部、S16グリッドに位置する、長軸120cm短軸90cm深度44cmを測る不整形土坑。断面は不整な逆台形状で、埋土は5層に分層。遺構の形状や埋土から土壙墓の可能性もある。遺物は土師質上器杯、東播系須恵器片捏鉢、凝灰岩製砥石が出土。7は凝灰岩製砥石。2面を砥面とする

土坑18号（I地区 SK1018）（第59図）

I-1北区東部中央南寄り、R17グリッドに位置する、長軸100cm短軸92cm深度22cmを測る不整円形土坑。断面は不整な逆台形状で、埋土は3層に分層。遺物は土師質土器片・杯が出土。8は土師質土器杯の底部である。底部外面に回転糸切り痕を残す。概ね13世紀前後とみられる。

焼土坑1号（I地区 SH1001）（第60図）

I-1北区東部北側、S・T17グリッドに位置する、長軸452cm短軸85cm深度18cmを測る、南北主軸の



第60図 I地区SH1001遺構・遺物実測図